

# 男女共同参画社会についての市民意識調査 報 告 書

平成 19 年 3 月

指宿市企画財政部企画課

## はじめに

人権と環境の世紀といわれる中，少子高齢化の進展，経済活動の成熟化などによる社会経済情勢の急速な変化に対応していくうえで，すべての人が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い，性別にかかわらず，その個性と能力を發揮することができる男女共同参画社会の実現は，21世紀のわが国社会を決定する最重要課題と位置づけられております。

国においては平成11年に「男女共同参画社会基本法」が制定されました。その具体的施策の内容を示す「男女共同参画基本計画」が平成12年に策定され，現在は第2次計画により法整備や取り組みが進められております。鹿児島県においても，平成11年に策定された「かごしまハーモニープラン」，平成14年に制定された「鹿児島県男女共同参画推進条例」により推進が図られております。

本市においても，急速な少子高齢化の進展や地方分権の一層の推進により，社会・経済環境の変化は加速化しています。この変化に柔軟かつ弾力的に対応し，豊かで活力ある地域社会の構築を図るために，人権の確立を基盤とした男女共同参画社会づくり政策を進めています。

今回の調査は，男女共同参画社会の実現をめざし，それを阻害する要因の改善・解決に向けた取り組みを進めるうえで，本市の実態を把握するために実施いたしました。また「指宿市男女共同参画基本計画」策定の重要な基礎資料として活用いたします。

このたび，調査結果をとりまとめた報告書を作成いたしました。男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの推進のために，皆様にご活用いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが，この調査の実施にあたりご協力いただいた市民の皆様ならびに関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成19年 3月

指宿市長 田原迫 要

---

## 目 次

---

・調査の概要	
1．調査の目的	1
2．調査の設計	1
3．回収状況	1
4．他調査との比較について	2
・回答者の属性	
1．性別	3
2．年代	3
3．就業状況	4
4．職業	5
5．職業上の区分	5
6．婚姻の状況	6
7．夫妻の働き方	6
8．家族構成	7
9．子どもの有無	8
10．子どもの人数	8
11．末子の年齢	8
12．地域活動等の参加	9
・調査結果の概要	
1．暮らし・生き方について	11
2．働くことについて	11
3．地域参画・地域づくりについて	12
4．人権について	13
・調査結果の分析	
1．暮らし・生き方について	15
(1) ワーク/ライフ・バランスの満足度	15
(2) 家庭内での事柄の役割分担	17
(3) 固定的な性別役割分担意識	21
(4) 離婚に対する考え方	30
(5) 育児の社会支援に対する考え方	32
(6) 介護の社会支援に対する考え方	34
(7) 子育ての不安・悩み	36
(8) 自分らしくいきいきと暮らすために必要なこと	38

2 . 働くことについて .....	4 0
( 1 ) 収入のある仕事の有無 .....	4 0
( 2 ) 仕事に就いている理由 .....	4 2
( 3 ) 働く場での性別による処遇の差 .....	4 5
( 4 ) 働く上での取り決めの有無 .....	4 8
( 5 ) 働く上での取り決めの実効性 .....	5 0
( 6 ) 仕事に就いていない理由 .....	5 2
( 7 ) 仕事に就いていない人の就業希望 .....	5 5
3 . 地域参画・地域づくりについて .....	5 7
( 1 ) 社会貢献の意欲 .....	5 7
( 2 ) 地域の慣習・しきたりの現状 .....	5 9
( 3 ) 地域の課題として重要だと思うこと .....	6 2
4 . 人権について .....	6 5
( 1 ) さまざまな場での平等感 .....	6 5
( 2 ) 学校教育での性別による取扱いの差に対する考え方 .....	7 0
( 3 ) セクシュアル・ハラスメントの被害 .....	7 5
( 4 ) 配偶者等からの暴力に対する認識 .....	8 0
( 5 ) 配偶者等からの暴力を受けた経験 .....	8 8
( 6 ) 配偶者等からの暴力を受けたときの相談先 .....	9 3
( 7 ) 配偶者等からの暴力を受けたときに相談しなかった(できなかった)理由 .....	9 5

参考資料

1 . 自由意見 .....	9 9
2 . 集計表 .....	1 1 0
3 . 調査票 .....	1 2 0

## . 調査の概要

---

## ・調査の概要

### 1. 調査の目的

男女共同参画社会に関する市民の意識と暮らしの実態を把握し、「指宿市男女共同参画基本計画」の見直し及び今後の施策の充実を図るための基礎資料とする。

### 2. 調査の設計

(1) 調査地域：指宿市全域

(2) 調査対象：指宿市在住の20歳以上の市民2,000人

(平成18年7月31日現在)

	女性	男性	年代別	年代別比
20歳代	133	108	241	12.1%
30歳代	109	104	213	10.7%
40歳代	149	135	284	14.2%
50歳代	193	205	398	19.9%
60歳代	157	153	310	15.5%
70歳代以上	355	199	554	27.7%
計	1,096	904	2,000	100.0%
性別比	54.8%	45.2%	100.0%	

(3) 抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

(4) 調査方法：市政事務嘱託員による配布 / 郵送・郵送回収・お礼状兼協力のお願い1回

(5) 調査期間

平成18年(2006年)9月1日から9月25日

9月1日 調査票発送

9月14日 第1回締切り

9月14日 お礼状兼協力のお願い発送

9月25日 第2回締切り

### 3. 回収状況

標本数 2,000

回収数 922 (回収率 : 46.1%)

有効回収数 914 (有効回収率 : 45.7%)

#### 4. 他調査との比較について

今回調査の分析にあたり、他調査との比較を行っている。  
使用した資料の出典は以下のとおりである。

実施主体	調査名	調査年	比較した設問 (指宿市調査)
内閣府	男女共同参画社会に関する世論調査	H12	問7
	少子社会に関する国際意識調査	H17	問3
	男女間における暴力に関する調査	H17	問22, 23, 24, 25
	社会意識に関する世論調査	H18	問1, 15
志布志市	志布志市男女共同参画に関する住民意識調査	H18	問5, 7, 18
いちき串木野市	男女共同参画に関する住民意識調査	H18	問23, 24

#### < 報告書の見方 >

- (1) 調査結果の数値は回答率(%)で示している。%の母数は、その質問項目に該当する回答者総数、あるいは分類別の回答者数である。
- (2) 百分率は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までを示した。よって、単一回答(答えが一つだけのもの)の回答比率の合計値は100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答比率は、その設問の回答者総数、あるいは分類別の回答者数を基数として算出しており、複数回答(二つ以上の回答を認めたもの)の設問の場合には、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (4) 標本誤差SEは下式によって求められる。

今回は下表のとおりであり、「ある設問の回答者数が914人で、その設問中の選択肢の回答比率が50.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.2%である」というようにみる。

$$SE = 1.96 \times \sqrt{P(100 - P) / n}$$

(P: 調査結果のパーセント, n = 調査回答者数, SE = 標本誤差)

	n	10%ないし 90%前後	20%ないし 80%前後	30%ないし 70%前後	40%ないし 60%前後	50%前後
全体	914	±1.9	±2.6	±3.0	±3.2	±3.2
女性	541	±2.5	±3.4	±3.9	±4.1	±4.2
男性	348	±3.2	±4.2	±4.8	±5.1	±5.3

性別の無回答者は含まないため、女性と男性の標本数の合計は、全体の標本数と等しくない。

- (5) 図表・数表中の「-」は、該当する選択肢の回答がないことを示す。
- (6) 図表・数表は、スペースの都合上、文言を省略している場合がある。文言の詳細は巻末の調査票を参照のこと。

## . 回答者の属性

---



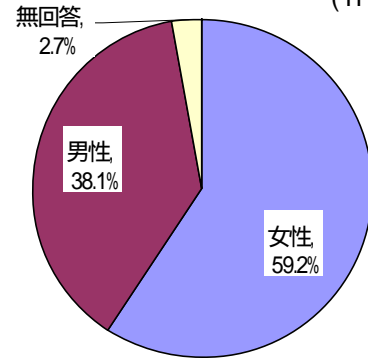
## . 回答者の属性

図表：回答者の構成（性別） - 1

(n = 914)

### 1. 性別

	人数	構成比
女性	541	59.2 %
男性	348	38.1 %
無回答	25	2.7 %
合計	914	100.0 %



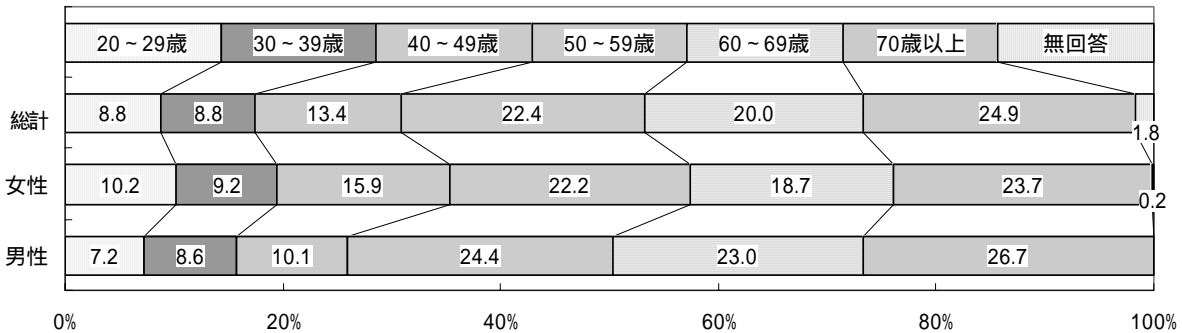
### 2. 年代

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比 (回収率)	人数	構成比 (回収率)	人数	構成比 (回収率)	人数	構成比
20～29歳	80	8.8%	55	10.2%	25	7.2%	-	-
30～39歳	80	8.8%	50	9.2%	30	8.6%	-	-
40～49歳	122	13.4%	86	15.9%	35	10.1%	1	4.0%
50～59歳	205	22.4%	120	22.2%	85	24.4%	-	-
60～69歳	183	20.0%	101	18.7%	80	23.0%	2	8.0%
70歳以上	228	24.9%	128	23.7%	93	26.7%	7	28.0%
無回答	16	1.8%	1	0.2%	-	-	15	60.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%	25	100.0%

図表：回答者の構成（年代別）

- 2

(総計n = 914, 女性n = 541, 男性n = 348)



指宿市の20歳以上の性・年齢階級別人口構成比（2006年7月31日現在）

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	性比
女性	21,348人	11.1%	10.5%	12.6%	18.4%	14.9%	32.5%	100
男性	17,460人	12.5%	11.6%	14.7%	22.8%	16.3%	22.1%	81.8

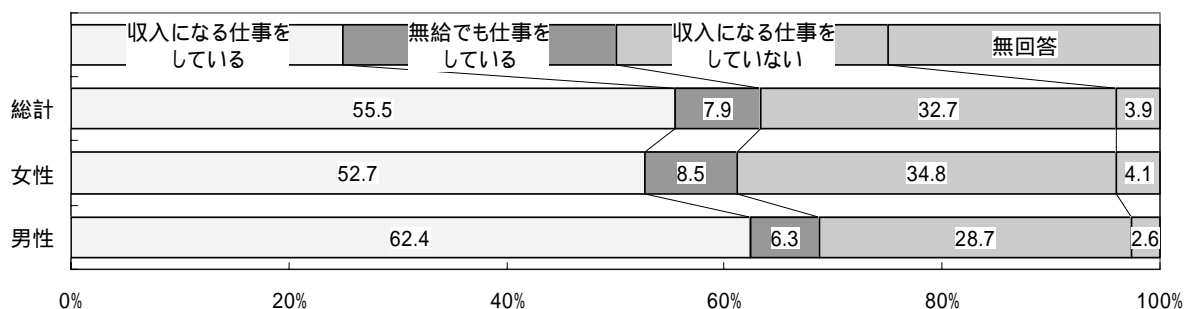
### 3. 就業状況 (問8)

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
収入になる仕事をしている	507	55.5%	285	52.7%	217	62.4%	5	20.0%
無給でも仕事をしている	72	7.9%	46	8.5%	22	6.3%	4	16.0%
収入になる仕事をしていない	299	32.7%	188	34.8%	100	28.7%	11	44.0%
無回答	36	3.9%	22	4.1%	9	2.6%	5	20.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%	25	100.0%

図表: 就業状況

- 3 - 1

(総計n=914, 女性n=541, 男性n=348)

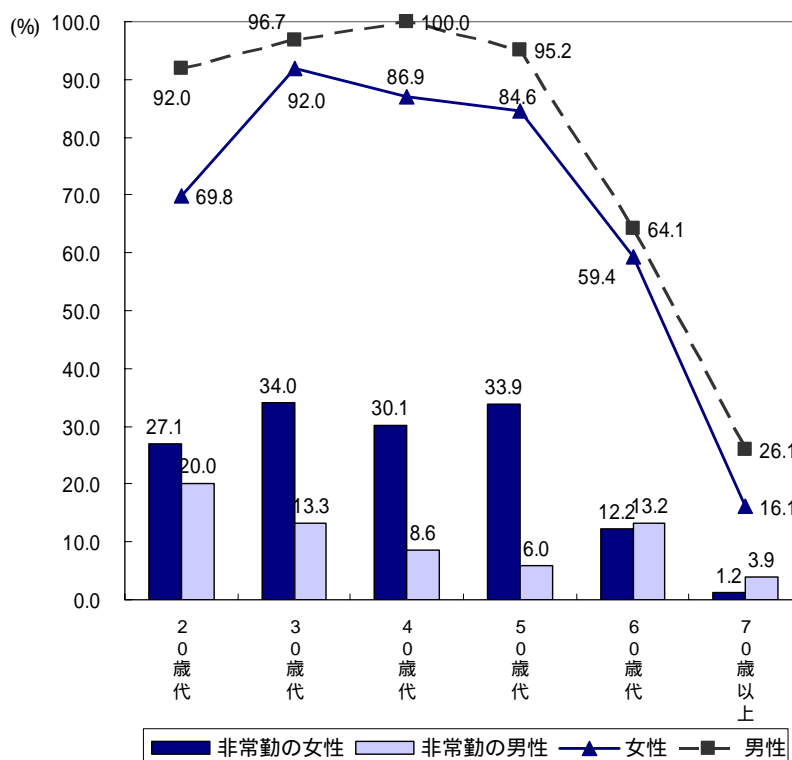


### 男女別・年齢階級別就業率

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
女性	69.8%	92.0%	86.9%	84.6%	59.4%	16.1%
男性	92.0%	96.7%	100.0%	95.2%	64.1%	26.1%
非常勤の女性	27.1%	34.0%	30.1%	33.9%	12.2%	1.2%
非常勤の男性	20.0%	13.3%	8.6%	6.0%	13.2%	3.9%

図表: 就業している人 (年代別)

- 3 - 2

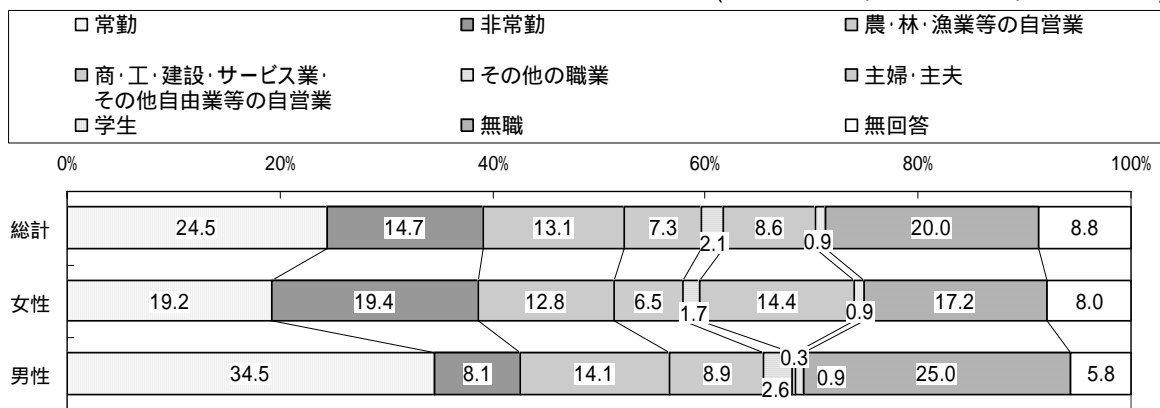


「非常勤」の数値については、各年代の就業している人のうちに占める割合である。

#### 4. 職業

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
常勤	224	24.5%	104	19.2%	120	34.5%	-	-
非常勤	134	14.7%	105	19.4%	28	8.1%	1	4.0%
農・林・漁業等の自営業	120	13.1%	69	12.8%	49	14.1%	2	8.0%
商・工・建設・サービス業・ その他自由業等の自営業	67	7.3%	35	6.5%	31	8.9%	1	4.0%
その他の職業	19	2.1%	9	1.7%	9	2.6%	1	4.0%
主婦・主夫	79	8.6%	78	14.4%	1	0.3%	-	-
学生	8	0.9%	5	0.9%	3	0.9%	-	-
無職	183	20.0%	93	17.2%	87	25.0%	3	12.0%
無回答	80	8.8%	43	8.0%	20	5.8%	17	68.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%	25	100.0%

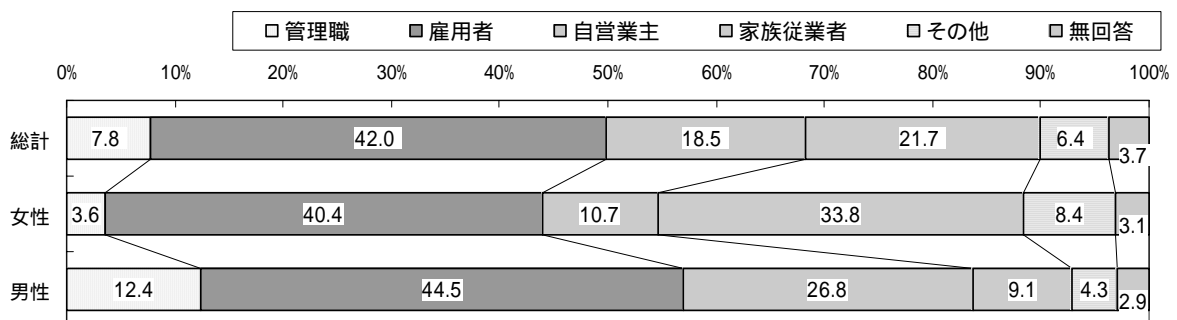
図表：職業 - 4 (総計n=914, 女性n=541, 男性n=348)



#### 5. 職業上の区分

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
管理職	34	7.8%	8	3.6%	26	12.4%	-	-
雇用者	184	42.0%	91	40.4%	93	44.5%	-	-
自営業主	81	18.5%	24	10.7%	56	26.8%	1	25.0%
家族従業者	95	21.7%	76	33.8%	19	9.1%	-	-
その他	28	6.4%	19	8.4%	9	4.3%	-	-
無回答	16	3.7%	7	3.1%	6	2.9%	3	75.0%
合計	438	100.0%	225	100.0%	209	100.0%	4	100.0%

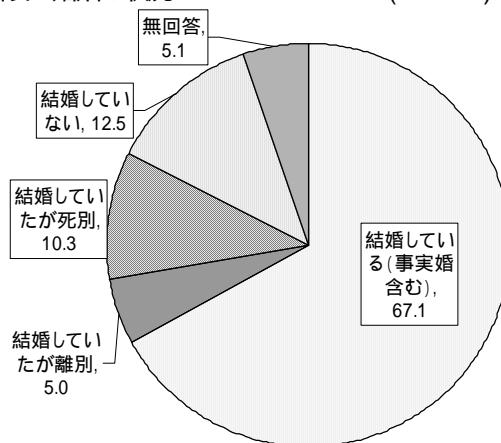
図表：職業上の区分 - 5 (総計n=438, 女性n=225, 男性n=209)



## 6. 婚姻の状況

図表：婚姻の状況 - 6 (n=914)

	総計	
	人数	構成比
結婚している(事実婚含む)	613	67.1%
結婚していたが離別	46	5.0%
結婚していたが死別	94	10.3%
結婚していない	114	12.5%
無回答	47	5.1%
合計	914	100.0%



## 7. 夫妻の働き方

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どちらも仕事をしている	316	51.6%	182	53.5%	132	49.4%	2	33.3%
自分のみ仕事をしている	72	11.8%	28	8.2%	44	16.5%	-	-
配偶者のみ仕事をしている	57	9.3%	47	13.8%	10	3.8%	-	-
どちらも仕事をしていない	120	19.6%	54	15.9%	65	24.3%	1	16.7%
無回答	48	7.8%	29	8.5%	16	6.0%	3	50.0%
合計	613	100.0%	340	100.0%	267	100.0%	6	100.0%

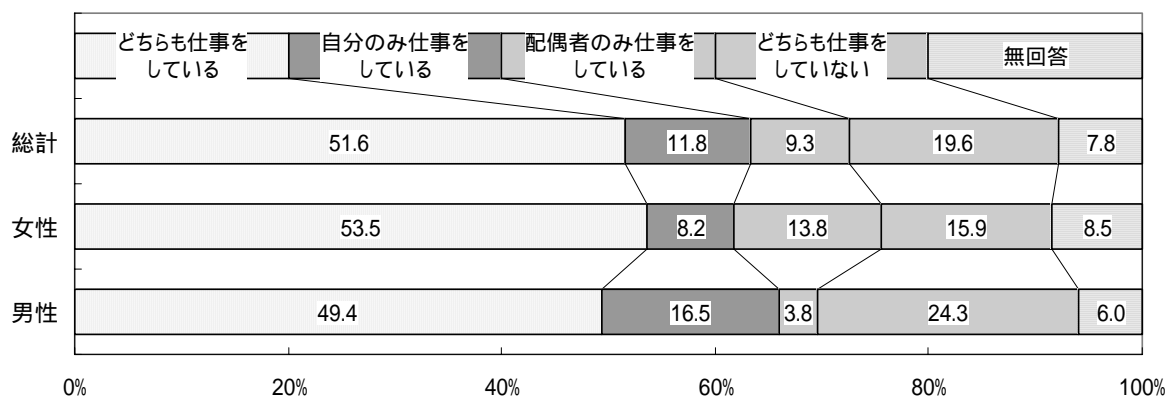
人数		20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
		どちらも仕事をしている	10	40	66	121	57	16
自分のみ仕事をしている	2	5	12	22	25	4	2	
配偶者のみ仕事をしている	9	3	9	13	13	7	3	
どちらも仕事をしていない	-	-	-	6	40	59	15	
無回答	2	1	5	4	12	17	6	
合計	23	49	92	166	147	103	31	

構成比		20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
		どちらも仕事をしている	43.5%	81.6%	71.7%	72.9%	38.8%	15.5%
自分のみ仕事をしている	8.7%	10.2%	13.0%	13.3%	17.0%	3.9%	6.5%	
配偶者のみ仕事をしている	39.1%	6.1%	9.8%	7.8%	8.8%	6.8%	9.7%	
どちらも仕事をしていない	-	-	-	3.6%	27.2%	57.3%	48.4%	
無回答	8.7%	2.0%	5.4%	2.4%	8.2%	16.5%	19.4%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

図表：夫妻の働き方

- 7

(総計n=613, 女性n=340, 男性n=267)



## 8. 家族構成

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
一人暮らし世帯	107	11.7%	75	13.9%	27	7.8%	5	20.0%
夫と妻のみの世帯	293	32.1%	160	29.6%	126	36.2%	7	28.0%
親と子などの世帯	368	40.3%	226	41.8%	142	40.8%	-	-
親と子と孫などの世帯	45	4.9%	29	5.4%	16	4.6%	-	-
その他	47	5.1%	29	5.4%	18	5.2%	-	-
無回答	54	5.9%	22	4.1%	19	5.5%	13	52.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%	25	100.0%

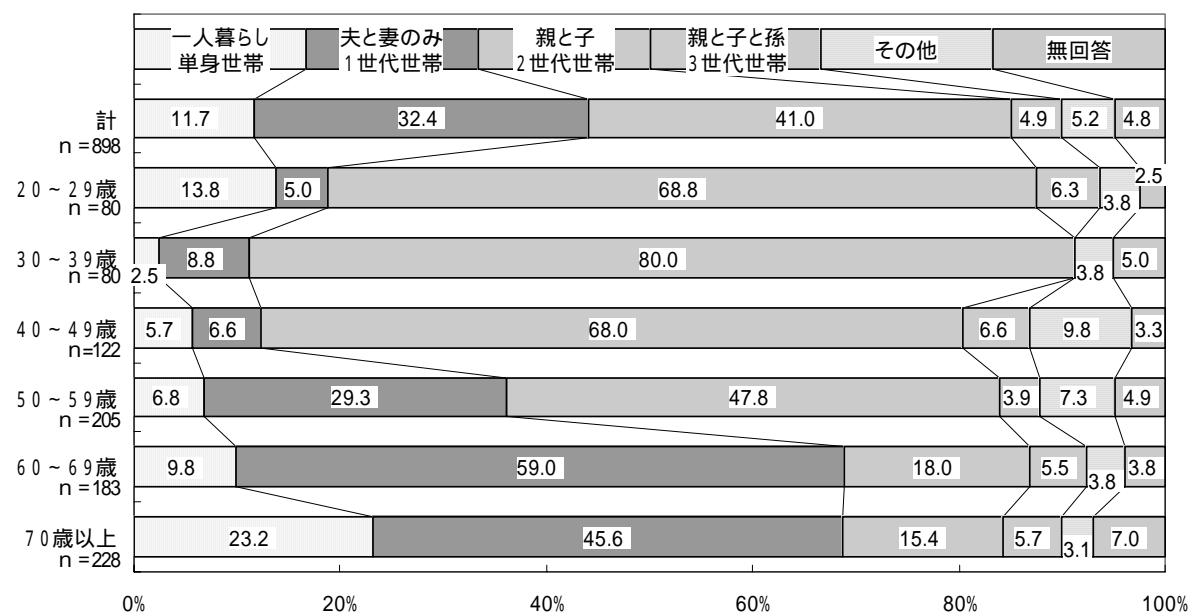
人数	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
一人暮らし世帯	105	11	2	7	14	18	53
夫と妻のみの世帯	291	4	7	8	60	108	104
親と子などの世帯	368	55	64	83	98	33	35
親と子と孫などの世帯	44	5	-	8	8	10	13
その他	47	3	3	12	15	7	7
無回答	43	2	4	4	10	7	16
合計	898	80	80	122	205	183	228

構成比	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
一人暮らし世帯	11.7%	13.8%	2.5%	5.7%	6.8%	9.8%	23.2%
夫と妻のみの世帯	32.4%	5.0%	8.8%	6.6%	29.3%	59.0%	45.6%
親と子などの世帯	41.0%	68.8%	80.0%	68.0%	47.8%	18.0%	15.4%
親と子と孫などの世帯	4.9%	6.3%	-	6.6%	3.9%	5.5%	5.7%
その他	5.2%	3.8%	3.8%	9.8%	7.3%	3.8%	3.1%
無回答	4.8%	2.5%	5.0%	3.3%	4.9%	3.8%	7.0%

図表：世帯構成（年代別）

- 8



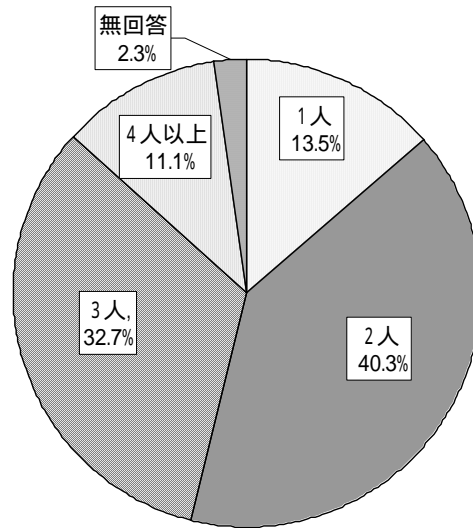
### 9. 子どもの有無

	総計	
	人数	構成比
いない	164	17.9%
いる	709	77.6%
無回答	41	4.5%
合計	914	100.0%

### 10. 子どもの人数

	総計	
	人数	構成比
1人	96	13.5%
2人	286	40.3%
3人	232	32.7%
4人以上	79	11.1%
無回答	16	2.3%
合計	709	100.0%

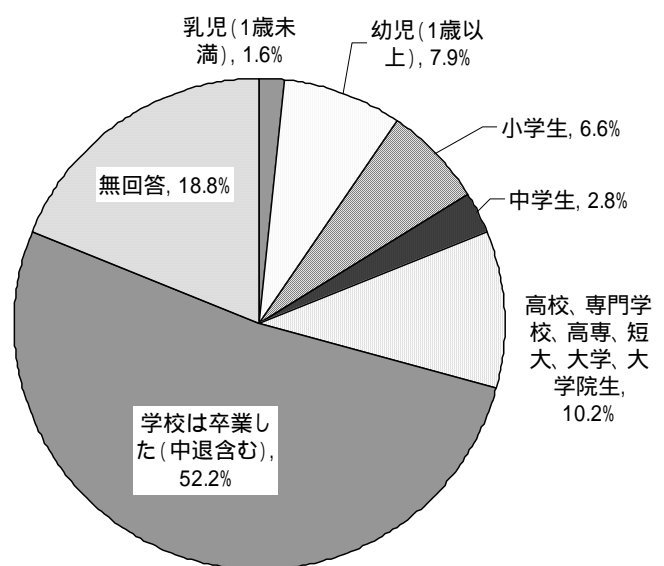
図表：子どもの人数 - 10 (n=709)



### 11. 末子の年齢

	総計	
	人数	構成比
乳児(1歳未満)	11	1.6%
幼児(1歳以上)	56	7.9%
小学生	47	6.6%
中学生	20	2.8%
高校、専門学校、高専、短大、大学、大学院生	72	10.2%
学校は卒業した(中退含む)	370	52.2%
無回答	133	18.8%
合計	709	100.0%

図表：子どもの人数 - 11 (n=709)



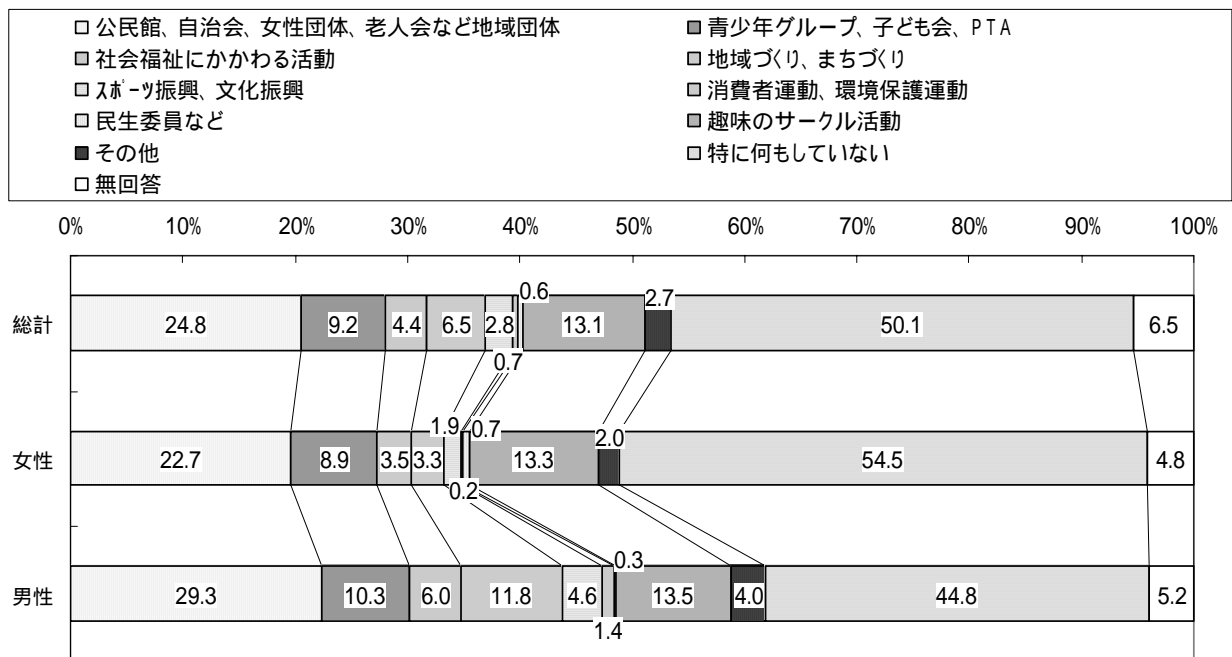
## 12. 地域活動等の参加

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
公民館、自治会、女性団体、老人会など地域団体	227	24.8%	123	22.7%	102	29.3%	2	8.0%
青少年グループ、子ども会、PTA	84	9.2%	48	8.9%	36	10.3%	-	-
社会福祉にかかわる活動	40	4.4%	19	3.5%	21	6.0%	-	-
地域づくり、まちづくり	59	6.5%	18	3.3%	41	11.8%	-	-
スポーツ振興、文化振興	26	2.8%	10	1.9%	16	4.6%	-	-
消費者運動、環境保護運動	6	0.7%	1	0.2%	5	1.4%	-	-
民生委員など	5	0.6%	4	0.7%	1	0.3%	-	-
趣味のサークル活動	120	13.1%	72	13.3%	47	13.5%	1	4.0%
その他	25	2.7%	11	2.0%	14	4.0%	-	-
特に何もしていない	458	50.1%	295	54.5%	156	44.8%	7	28.0%
無回答	59	6.5%	26	4.8%	18	5.2%	15	60.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%	25	100.0%

図表: 地域活動への参加状況

- 12

(総計 n = 914, 女性 n = 541, 男性 n = 348)



## . 調査結果の概要

---



## ・調査結果の概要

---

### 1．暮らし・生き方について

---

仕事とその他の生活との調和（ワーク/ライフ・バランス）については，4人に1人が不満感を持つ。半数程度が満足感を持つが，国の調査結果の7割よりは少ない。30歳代女性・40歳代男性では不満感が満足感を上回る。

その中で，家庭内での事柄については，「家事」「育児（子どもの世話，用事）」「介護」で「妻」が担っているとの回答が最も多い。「家事」では，夫・妻ともに働いている場合も8割以上が「妻」と回答している。また，職業別に見ると，農林漁業等の自営業で働く女性は3項目ともに「妻」と回答している割合が最も多い。仕事と家庭的責任との両立の面で，女性への負担の偏りがうかがえる。

さまざまな固定的な性別役割分担について，「『男性は仕事，女性は家事・育児』と役割を分担するほうがよい」では，肯定意見と否定意見が同程度である。しかしながら，家計を支えることは男性の役割，家事・育児など家庭的責任は女性のものという性別役割分担を示す個別の項目では肯定意見が多い。20～30歳代では，これらの項目において他の年代よりも否定意見が多い。

離婚に対する考え方については，40～50歳代女性の約7割が「子どもの有無にかかわらず，事情によっては離婚もやむをえない」と回答している。

育児については“社会支援は必要だが基本的には家族が担うもの”という意見が非常に多い一方，介護については“積極的な社会支援が必要”という意見も多い。ただし，年代が低いほど育児と介護の両方共に“積極的な社会支援が必要”との意見が多い。子育ての不安・悩みについては，“子どもとの時間が十分でない”，“急に子どもを預けられる場所がない”，“子どもの急病の対応に困る”が挙げられている。このことから，地域での子育てが注目されつつあるが，世代間での意識の違いの中で，子育て中の人の精神的な負担がうかがわれ，社会支援に対する理解をはたらきかける必要性を示唆している。

また，男性も女性も家庭生活・地域活動・仕事などに，自分の意思で積極的に関わり，いきいきと暮らすことができるようになるために必要なことについては，“家族の間で家事分担などを十分に話し合う”，“育児や介護を社会で支える制度の充実”が挙げられている。20～30歳代男性の3人に1人が“男性の家事参画について抵抗感をなくすこと”，30歳代では“労働時間の短縮，休暇制度の普及”，40歳代以上では“男性・女性ともに生活面・経済面での自立”を挙げている。

「あるべき姿」を意識し，仕事や家庭生活での役割を果たそうとしているものの，この現状に負担を感じている様子が見られる。一方，これまでの現状を変え，より多様な暮らし方が受容される社会像を望む意識もみられる。

---

### 2．働くことについて

---

就業の状況については，20～50歳代では「収入になる仕事をしている」割合が最も多い。男性では20～50歳代を通して8～9割，女性では20歳代で約6割，30～50歳代で7～8割である。これらの年代においてパート・アルバイトなどの非常勤で働く人は，男性は年代が

高いほど少なくなる傾向にあるが、女性はどの年代でも約3割である。

その中で就業理由については、「生計を維持するため」、「働くのが当然だから」は女性よりも男性のほうに多く、「家計の足しにするため」は男性よりも女性のほうに多い。

働く場での性別による差別については、回答者全体の半数が何らかの差別について回答している。具体的には「性別によって賃金に差がある」、「男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある」を挙げている。30～40歳代男性での4割が「男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある」を、商工等の自営業で働く女性の3人に1人が「女性は経営方針に対して意見を言いにくい雰囲気がある」を挙げている。若い年代では、賃金の差、能力の評価、女性の結婚・出産による退職慣行、同じ職場での夫妻共働きに対する否定的な雰囲気に対する回答が多い。また、同様の行為であっても、男性に対してよりも、女性に対して多く見られるものは、補助業務への偏り、結婚・出産による退職慣行、定年までの勤続困難、教育・訓練機会の少なさ、経営方針への発言のしにくさである。

就業規則等については、文章化に関わらず何らかの形で取り決めがあるとの回答は半数程度で、2割は取り決めはないと回答した。40～50歳代女性の7～8割が仕事に就いているが、その中の約4人に1人は取り決めはないと回答している。また、20歳代では「取り決めがあるかどうかわからない」との回答が他の年代よりも多い。

また、就業規則等の取り決めが守られていると感じている人は9割近いが、守られていないと感じている人も約1割である。男女共に20～40歳代では、守られていないと感じている人が1割を超える。なお、20歳代男性では「守られている」との回答がない。

一方、無職の理由については、「高齢だから」が56.9%と最も多いが、回答者のほとんどが60歳以上である。30～40歳代女性では、家事・育児の負担等をあげている。しかし、男性では育児負担に関する項目への回答がない。

今後の就業希望については、20歳代男女と30歳代女性は「将来的には仕事をしたい」、40歳代女性は「すぐにでも仕事をしたい」の回答が多い。

---

### 3. 地域参画・地域づくりについて

---

社会貢献の意欲については、「少しそう思っている」が51.2%と最も多い。「非常に」及び「かなり」そう思っているとの回答は26.7%である。一方、「あまり」及び「全く」そうは思わないとの回答は18.4%である。20歳代では男女共に「非常に」及び「かなり」そう思っているとの回答は少なく、30～40歳代では「非常に」及び「かなり」そう思っているとの回答は、女性では約1割、男性では約3割である。

地域の慣習・しきたりの現状については、「会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある」が45.0%と最も多い。「団体の長や代表などには男性になるほうがよい(なるものだ)」という雰囲気がある(女性22.9%、男性30.8%)は女性よりも男性のほうに多い。年代が若いほど、「女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい(従うものだ)」という雰囲気がある」との回答割合が多い。30歳代男性の3人に1人が「地域活動をするときに、子どもがいない世帯や、中高年の一人住まいの世帯、若い独身者を活動の一員として初めから期待していないような雰囲気がある」を挙げている。50歳代では「地域のために慣習を見直すなど、変革を求める人を煙たがる雰囲気がある」、「会議等で女性が自分の意見を発言することに対して批判的な雰囲気がある」を挙げている。60歳代男性の23.8%が「地元(市内)出身でない人を何年経っても「よその人」として区別する雰囲気

気がある」と回答している。なお、「地域の清掃作業などで、世帯の男性ではなく女性が参加すると負担金を払う慣習がある」については回答者数 914 人中 26 人が回答している。回答割合は少ないものの特筆すべき事項である。

地域の慣習・しきたりの現状についての結果や、女性の仕事と家庭的責任との両立による負担が大きい現状をふまえると、社会貢献の意欲について、年代が低いほど、または男性よりは女性のほうが、低い傾向にあるという結果には、これらの現状が大きく影響しているといえる。

地域の課題として重要だと思うことについては、年代や性別によって関心の高い項目が異なる。30 歳代女性では「利用しやすい公園の整備」、40 歳代男性では「地域の子どもたちへの支援や見守り」、50～70 歳代では「誰もが参加しやすい地域活動の検討」、60 歳代以上では「地域の高齢者への支援や見守り」を挙げている。方針決定過程において様々な立場の当事者が関わる必要性を示唆している。

---

## 4. 人権について

---

### 男女の平等について

「家庭生活」「働く場」「集落・公民館などの地域社会」での男女の地位の平等感については、3 項目ともに 4 人に 1 人が不平等感を持っており、30～50 歳代での不平等感を持つ割合が他の年代よりも多い。「家庭生活」では、「全く平等になっていない」との回答が 3 項目の中で最も多い。すべての項目で、「かなり平等になっている」との回答は女性よりも男性のほうに多く、「あまり平等になっていない」との回答は、男性よりも女性のほうに多い。「集落・公民館などの地域社会」では、平等になっているとする割合が 3 項目の中で最も少ない。特に 30 歳代女性では「あまり平等になっていない」との回答が 50.0%と最も多い。

学校教育における男女平等意識の醸成の妨げになることについては、半数程度が「『男らしく』『女らしく』ふるまうように言うこと」、約 4 割が「性別により進路指導をすること」、「生徒会や学級委員等の選出を性別により固定化していること」を挙げている。年代が低いほど、平等意識の醸成の妨げになると思うとの回答割合は多い傾向にある。

### セクシュアル・ハラスメントについて

セクシュアル・ハラスメントの被害経験については、「経験がある」と回答した割合は、ほとんどの項目で男性よりも女性のほうに、また年齢が若いほど多い。ほとんどの項目について「経験がある」と回答した割合が最も多いのは 30 歳代女性である。特に「容姿・年齢・結婚などについて、あれこれと話題にされた」では 56.0%が経験している。

すべての項目に被害経験があるとの回答があるものの、ほとんどの項目で「経験も、見聞きしたこともない」との回答が最も多い。セクシュアル・ハラスメントについての意識啓発が及んでいないことや、被害が潜在化しがちな傾向がうかがえる。

### 配偶者等からの暴力について

#### 暴力に対する認識について

ほとんどの項目で「どんな場合も暴力にあたると思う」の割合が多いが、最も多い項目でも 9 割を超えない。身体を著しく傷つける可能性のある行為については、暴力にあたると思う割合が多い。言葉などによる行為については、暴力に当たると思う割合が少なく、暴力に

あたるとは思わない割合が多い。国調査の結果と比較すると、「どんな場合も暴力にあたると思う」については、ほとんどの項目で、国よりも少なく、特に身体に対する行為でこの傾向がある。

#### 暴力被害について

配偶者・パートナー・恋人（元配偶者・元パートナー・元恋人も含む）からの身体的な暴力は約4人に1人、精神的な暴力は約6人に1人、性的な暴力は約8人に1人が経験している。全ての項目で男性よりも女性のほうに被害経験が多く、身体的な暴力は女性の3人に1人が経験している。被害経験が多い年代は、身体的な暴力と性的な暴力では50歳代女性、精神的な暴力では30歳代女性である。50歳代女性では、すべての項目で「何度もあった」経験が各年代の中で最も多い。また、すべての項目において結婚していない女性の被害経験は1割を超え、すべて20歳代である。若年層におけるデートDVによる被害を示唆している。

なお、被害経験を持つ人は「女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである」「女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児もきちんとすべきである」という考え方について、被害経験がない人よりも肯定意見が少なく、また、家庭生活において平等でないと感じている割合が多い傾向にある。

#### 暴力を受けたときの相談先

「家族や親戚」、「友人、知人」が多く、私的な範囲での相談にとどめていることがうかがえる。その中で「どこにも、だれにも相談しなかった(できなかった)」との回答も44.7%と半数近く、被害経験の多い50歳代でも4割を超える。その理由としては、「相談するほどのことではないと思ったから」、「自分にも悪いところがあったから」、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」、「相談してもむだだと思ったから」との回答が挙がっている。これらの暴力行為が社会の問題であるとの意識啓発をはじめ、暴力の防止や被害者の支援について公的機関の取組みが及んでいないことを示唆している。

## . 調査結果の分析

---

## ・調査結果の分析

### 1.暮らし・生き方について

#### (1) ワーク/ライフ・バランスの満足度

仕事（家事労働）・家庭生活・趣味・社会活動・余暇などのバランス（使っている時間など）について、「やや満足している」が32.5%と最も多く、「満足している」19.7%、「どちらともいえない」18.3%、「あまり満足していない」17.8%、「満足していない」9.1%と続く。「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足」とする意見は52.2%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「不満」とする意見は26.9%である。

男女別に見ても、男女共に「やや満足している」（女性31.1%、男性35.3%）が最も多く、「満足」が「不満」を上回る。

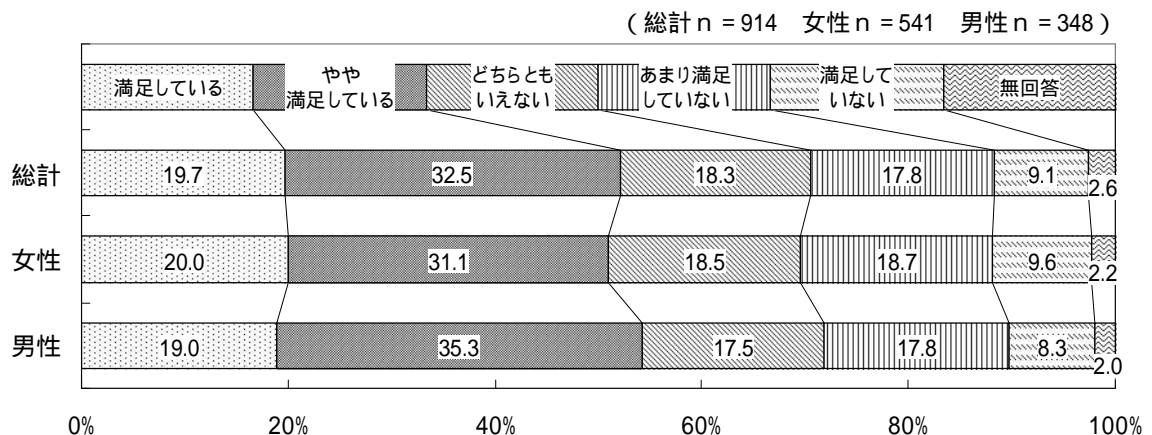
年代別に見ると、ほとんどの年代で「やや満足している」が最も多い。「満足」が多い年代は、60歳代以上の男女で6割を超える。また20歳代では男女共に「満足している」が30～50歳代よりも多く、5割程度である。

「不満」が多い年代は30～50歳代の男女で、30歳代女性・40～50歳代男性で4割を超える、20・40～50歳代女性・30歳代男性でも3割程度と他の年代よりも多い。

30歳代女性・40歳代男性では「不満」が「満足」を上回る。それ以外の年代では、「満足」が「不満」を上回る。ただし、30・50歳代男性では「満足」と「不満」の差は5ポイント未満と大きくない。

国と比較すると、「満足」とする意見は52.2%と国の71.9%より少なく、「不満」とする意見は同程度である。また「どちらともいえない」は18.3%と、国の2.8%より多い。

図表：ワーク/ライフ・バランスの満足度 1 - (1)



図表：国との比較（国 = 内閣府（H18）社会意識に関する世論調査）

	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答
指宿市	19.7%	32.5%	18.3%	17.8%	9.1%	2.6%
国	31.1%	40.8%	2.8%	17.5%	6.7%	

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上
満足している	5	9	9	24	26	27	8
	9.1%	18.0%	10.5%	20.0%	25.7%	27.6%	26.7%
やや満足している	23	9	28	31	32	34	11
	41.8%	18.0%	32.6%	25.8%	31.7%	34.7%	36.7%
どちらともいえない	9	7	18	21	17	22	6
	16.4%	14.0%	20.9%	17.5%	16.8%	22.5%	20.0%
あまり満足していない	12	17	21	24	14	9	3
	21.8%	34.0%	24.4%	20.0%	13.9%	9.2%	10.0%
満足していない	6	6	9	19	8	4	-
	10.9%	12.0%	10.5%	15.8%	7.9%	4.1%	-
無回答	-	2	1	1	4	2	2
	-	4.0%	1.2%	0.8%	4.0%	2.0%	6.7%
合計	55	50	86	120	101	98	30
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上
満足している	1	2	3	13	22	16	9
	4.0%	6.7%	8.6%	15.3%	27.5%	26.7%	27.3%
やや満足している	12	9	10	26	29	24	13
	48.0%	30.0%	28.6%	30.6%	36.3%	40.0%	39.4%
どちらともいえない	7	9	6	10	14	11	4
	28.0%	30.0%	17.1%	11.8%	17.5%	18.3%	12.1%
あまり満足していない	2	7	13	24	8	5	3
	8.0%	23.3%	37.1%	28.2%	10.0%	8.3%	9.1%
満足していない	2	3	3	10	6	2	3
	8.0%	10.0%	8.6%	11.8%	7.5%	3.3%	9.1%
無回答	1	-	-	2	1	2	1
	4.0%	-	-	2.4%	1.3%	3.3%	3.0%
合計	25	30	35	85	80	60	33
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

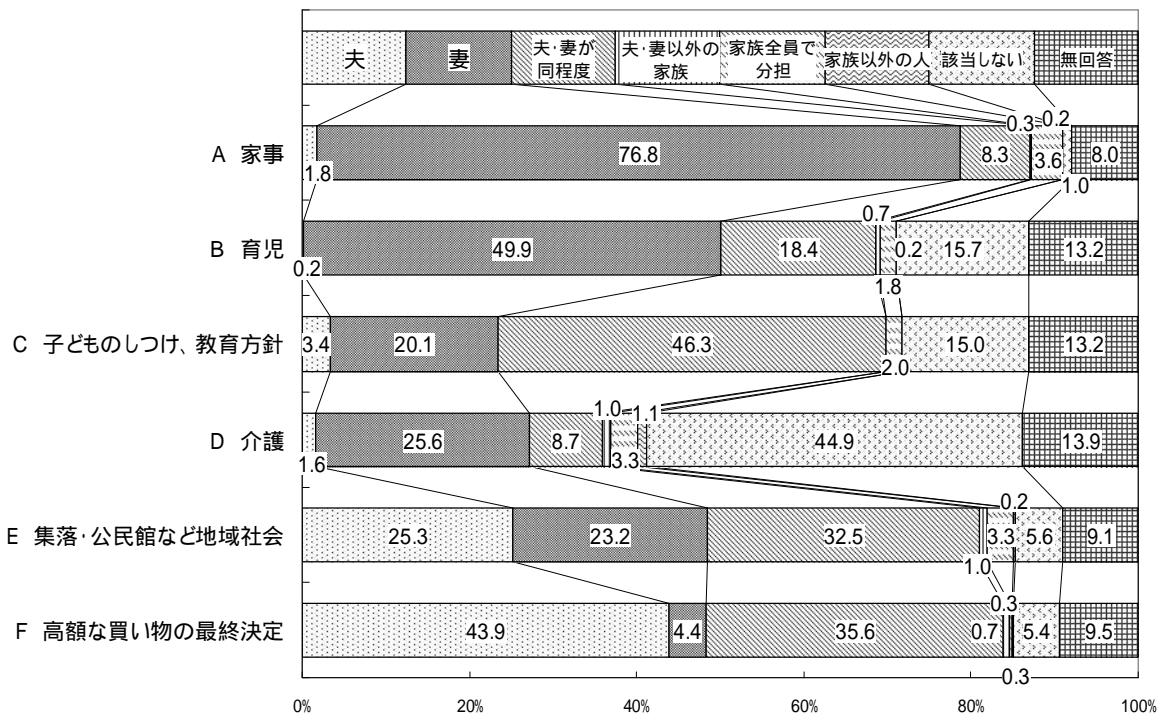
( 2 ) 家庭内での事柄の役割分担

家庭内での事柄を主に誰が分担しているかについては、「家事」は「妻」の役割と回答した割合が 76.8%と最も多い。「育児(子どもの世話,用事)」「介護」でも「妻」の役割が多い。「子どものしつけ,教育方針」「集落・公民館など地域活動への参加」は「夫と妻が同程度」の役割が多い。「高額な商品や土地・家屋の購入の最終決定」は「夫」の役割が多い。

年代別に見ると、「集落や公民館などの地域活動への参加」では 60～70 歳代で「夫」の役割が多い。また、「高額な商品や土地・家屋の購入の最終決定」では 20～30 歳代で「夫と妻が同程度」の役割が多い。

図表：家庭内での事柄の役割分担 1 - ( 2 )

( n = 613 )





#### A 家事

「妻」の役割が 76.8%と、すべての項目の中で最も多い。この割合は 20 歳代で最も多く 95.7%で、この年代では無回答以外は「妻」の役割という回答のみである。また 30 歳代では、「夫と妻が同程度」の役割が 16.3%と他の年代よりも多い。

#### B 育児（子どもの世話，用事）

「妻」の役割が 49.9%と多い。20～50 歳代では「妻」の役割が 5 割を超え，30 歳代で最も多く 59.2%である。また，年代が低いほど，「夫と妻が同程度」の割合が多く，20 歳代で 30.4%である。「夫」の役割との回答は 0.2%と，すべての項目の中で最も少ない。

#### C 子どものしつけ，教育方針

「夫と妻が同程度」の役割が 46.3%と，すべての項目の中で最も多い。また「妻」の役割が 20.1%であるのに対し，「夫」の役割が 3.4%である。

年代が低いほど「夫と妻が同程度」の役割が多いが，20～50 歳代では「妻」の役割も 25%前後である。

#### D 介護

「妻」の役割が 25.6%である。年代別に見ると，80 歳以上で 35.5%，60 歳代で 34.0%，50 歳代で 33.7%である。

#### E 集落や公民館などの地域活動への参加

「夫と妻が同程度」の役割が 32.5%と多いが，「夫」の役割 25.3%，「妻」の役割 23.2%と大きな差はない。

年代別に見ると，30～40 歳代では「夫と妻が同程度」の役割が多い。60～70 歳代では「夫」の役割が多い。なお，20～30 歳代では「該当しない」の割合が多く，20 歳代で 30.4%，30 歳代で 16.3%である。

#### F 高額な商品や土地・家屋の購入の最終決定

「夫」の役割が 43.9%と多く，次いで「夫と妻が同程度」の役割が 35.6%である。他の項目と比べると「夫」の役割が最も多い一方で，「妻」の役割は 4.4%と最も少ない。

年代別に見ると，20～30 歳代では「夫と妻が同程度」の役割が多く，40 歳代以上では「夫」の役割が多い。中でも 60 歳代，80 歳以上では「夫」のほうが「夫と妻が同程度」よりも 20 ポイント前後多い。

A. 家事

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上
夫	-	-	-	2	3	6	-
	-	-	-	1.2%	2.0%	5.8%	-
妻	22	39	80	142	108	63	17
	95.7%	79.6%	87.0%	85.5%	73.5%	61.2%	54.8%
夫と妻が同程度	-	8	7	9	12	10	4
	-	16.3%	7.6%	5.4%	8.2%	9.7%	12.9%
夫・妻以外の家族	-	-	-	1	-	1	-
	-	-	-	0.6%	-	1.0%	-
家族全員で分担	-	1	4	8	6	1	2
	-	2.0%	4.4%	4.8%	4.1%	1.0%	6.5%
家族以外の人	-	-	-	1	-	-	-
	-	-	-	0.6%	-	-	-
該当しない	-	-	-	-	4	2	-
	-	-	-	-	2.7%	1.9%	-
無回答	1	1	1	3	14	20	8
	4.4%	2.0%	1.1%	1.8%	9.5%	19.4%	25.8%
合計	23	49	92	166	147	103	31
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

B. 育児（子どもの世話，用事）

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上
夫	-	-	-	-	1	-	-
	-	-	-	-	0.7%	-	-
妻	12	29	51	97	69	37	11
	52.2%	59.2%	55.4%	58.4%	46.9%	35.9%	35.5%
夫と妻が同程度	7	13	25	30	17	12	8
	30.4%	26.5%	27.2%	18.1%	11.6%	11.7%	25.8%
夫・妻以外の家族	-	-	-	2	-	2	-
	-	-	-	1.2%	-	1.9%	-
家族全員で分担	-	-	4	3	4	-	-
	-	-	4.4%	1.8%	2.7%	-	-
家族以外の人	-	-	1	-	-	-	-
	-	-	1.1%	-	-	-	-
該当しない	3	6	8	27	24	23	5
	13.0%	12.2%	8.7%	16.3%	16.3%	22.3%	16.1%
無回答	1	1	3	7	32	29	7
	4.4%	2.0%	3.3%	4.2%	21.8%	28.2%	22.6%
合計	23	49	92	166	147	103	31
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

C. 子どものしつけ，教育方針

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上
夫	-	2	4	4	6	2	3
	-	4.1%	4.4%	2.4%	4.1%	1.9%	9.7%
妻	6	12	23	42	29	7	4
	26.1%	24.5%	25.0%	25.3%	19.7%	6.8%	12.9%
夫と妻が同程度	13	28	52	83	57	41	9
	56.5%	57.1%	56.5%	50.0%	38.8%	39.8%	29.0%
夫・妻以外の家族	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
家族全員で分担	-	-	3	4	4	1	-
	-	-	3.3%	2.4%	2.7%	1.0%	-
家族以外の人	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
該当しない	3	6	7	25	21	24	6
	13.0%	12.2%	7.6%	15.1%	14.3%	23.3%	19.4%
無回答	1	1	3	8	30	28	9
	4.4%	2.0%	3.3%	4.8%	20.4%	27.2%	29.0%
合計	23	49	92	166	147	103	31
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

D．介護

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上
夫	-	1 2.0%	-	3 1.8%	2 1.4%	3 2.9%	1 3.2%
妻	-	2 4.1%	15 16.3%	56 33.7%	50 34.0%	23 22.3%	11 35.5%
夫と妻が同程度	2 8.7%	-	4 4.4%	20 12.1%	14 9.5%	13 12.6%	-
夫・妻以外の家族	-	-	-	3 1.8%	1 0.7%	2 1.9%	-
家族全員で分担	-	2 4.1%	1 1.1%	4 2.4%	9 6.1%	3 2.9%	1 3.2%
家族以外の人	-	-	-	-	5 3.4%	1 1.0%	1 3.2%
該当しない	20 87.0%	40 81.6%	64 69.6%	69 41.6%	44 29.9%	28 27.2%	9 29.0%
無回答	1 4.4%	4 8.2%	8 8.7%	11 6.6%	22 15.0%	30 29.1%	8 25.8%
合計	23 100.0%	49 100.0%	92 100.0%	166 100.0%	147 100.0%	103 100.0%	31 100.0%

E．集落や公民館などの地域活動への参加

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上
夫	4 17.4%	7 14.3%	22 23.9%	33 19.9%	47 32.0%	34 33.0%	7 22.6%
妻	3 13.0%	9 18.4%	25 27.2%	47 28.3%	35 23.8%	18 17.5%	5 16.1%
夫と妻が同程度	6 26.1%	18 36.7%	40 43.5%	72 43.4%	35 23.8%	20 19.4%	8 25.8%
夫・妻以外の家族	1 4.4%	1 2.0%	-	-	1 0.7%	-	3 9.7%
家族全員で分担	1 4.4%	4 8.2%	3 3.3%	5 3.0%	5 3.4%	1 1.0%	1 3.2%
家族以外の人	-	1 2.0%	-	-	-	-	-
該当しない	7 30.4%	8 16.3%	1 1.1%	5 3.0%	5 3.4%	7 6.8%	1 3.2%
無回答	1 4.4%	1 2.0%	1 1.1%	4 2.4%	19 12.9%	23 22.3%	6 19.4%
合計	23 100.0%	49 100.0%	92 100.0%	166 100.0%	147 100.0%	103 100.0%	31 100.0%

F．高額な商品や土地・家屋の購入の最終決定

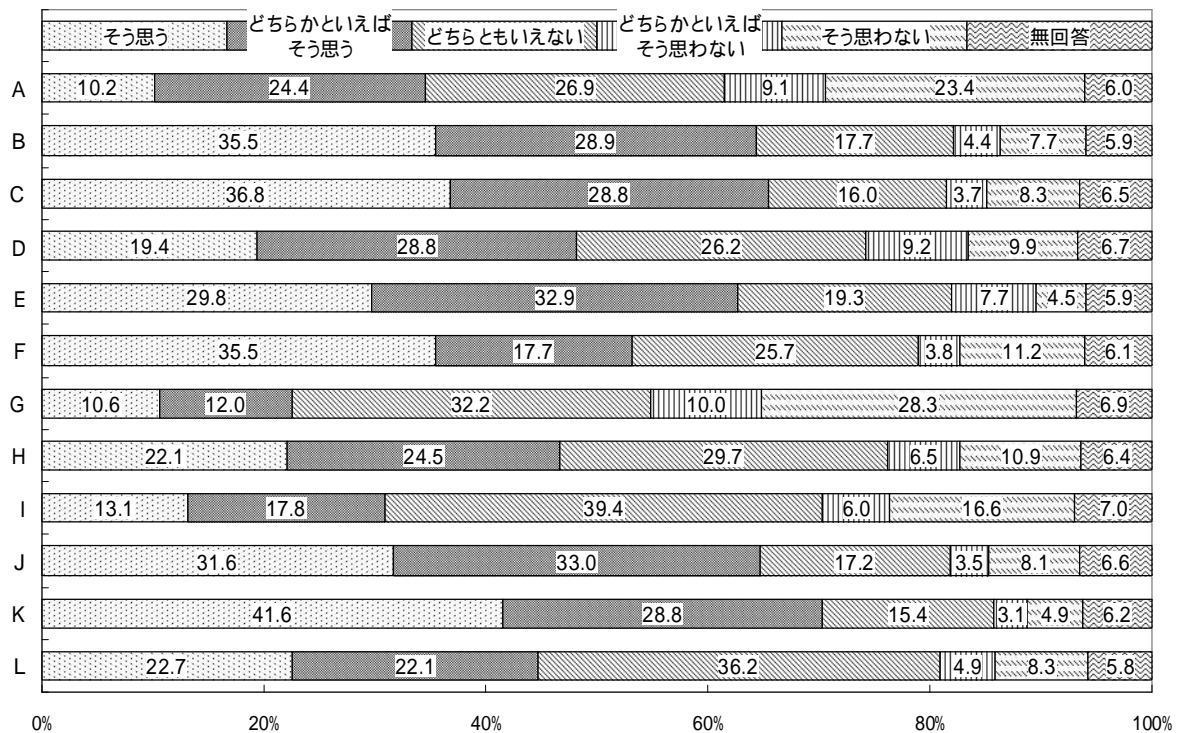
上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上
夫	7 30.4%	17 34.7%	45 48.9%	80 48.2%	72 49.0%	35 34.0%	13 41.9%
妻	1 4.4%	3 6.1%	3 3.3%	9 5.4%	6 4.1%	3 2.9%	2 6.5%
夫と妻が同程度	10 43.5%	22 44.9%	36 39.1%	68 41.0%	43 29.3%	32 31.1%	6 19.4%
夫・妻以外の家族	-	-	2 2.2%	-	-	-	2 6.5%
家族全員で分担	-	-	1 1.1%	1 0.6%	-	-	-
家族以外の人	-	-	-	-	-	1 1.0%	1 3.2%
該当なし	4 17.4%	6 12.2%	2 2.2%	4 2.4%	7 4.8%	9 8.7%	1 3.2%
無回答	1 4.4%	1 2.0%	3 3.3%	4 2.4%	19 12.9%	23 22.3%	6 19.4%
合計	23 100.0%	49 100.0%	92 100.0%	166 100.0%	147 100.0%	103 100.0%	31 100.0%

(3) 固定的な性別役割分担意識

さまざまな固定的な性別役割分担について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定意見は、「K 育児休業は、男性より女性がとったほうがよい」で70.4%と最も多い。次いで、「C 妻や子どもを養うのは、男性の責任である」65.6%、「J 職場で来客にお茶を出すのは女性がしたほうがよい」64.6%、「B 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい」64.4%、「E 女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである」62.7%と続く。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定意見は、「G 冠婚葬祭の『のし袋』などに、夫だけではなく妻の氏名も連名で書いたほうがよい」で38.3%と最も多い。次いで、「A 『男性は仕事、女性は家事・育児』と役割を分担するほうがよい」32.5%と続く。「どちらともいえない」は、「I 男性の方が女性より、管理職としての素質がある」で39.4%と最も多く、「L 介護休業は、男性より女性がとった方がよい」36.2%と続く。

男女別に見ると、肯定意見が最も多い項目は、女性では「K 育児休業は、男性より女性がとったほうがよい」、男性では「C 妻や子どもを養うのは、男性の責任である」である。年代別に見ると、ほとんどの項目で、「そう思う」と回答した割合は60歳代以上で多い。一方、「そう思わない」と回答した割合は20～30歳代で多い。

図表：それぞれの項目について、どのように思うか 1 - (3) (n = 914)



- A 「男性は仕事、女性は家事・育児」と役割を分担するほうがよい
- B 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい
- C 妻や子どもを養うのは、男性の責任である
- D 女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである
- E 女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである
- F 結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う
- G 冠婚葬祭の「のし袋」などに、夫だけではなく妻の氏名も連名で書くほうがよい
- H 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う
- I 男性の方が女性より、管理職としての素質がある
- J 職場で来客にお茶を出すのは女性がしたほうがよい
- K 育児休業は、男性より女性がとった方がよい
- L 介護休業は、男性より女性がとった方がよい

**A 「男性は仕事，女性は家事・育児」と役割を分担するほうがよい**

女性では否定意見の方が多く，男性では肯定意見の方が多い。女性の否定意見は 36.5%と，「冠婚葬祭の『のし袋』などに，夫だけではなく妻の氏名も連名で書いたほうがよい」以外の項目の中で最も多い。

20～50 歳代女性では否定意見が肯定意見を大きく上回る。30 歳代女性では否定意見 58.0%，肯定意見は 8.0%である。ただし，20 歳代女性の肯定意見は 30～40 歳代女性よりも多い。20～30 歳代の男性でも否定意見は 4 割，肯定意見は 3 割と，否定意見が肯定意見を上回る。

**B 男の子は男らしく，女の子は女らしく育てるほうがよい**

男女共に肯定意見が多い。女性 59.7%，男性 73.3%と男性のほうに多い。

どの年代でも肯定意見が否定意見を上回る。60～70 歳代女性と 40 歳代以上男性では肯定意見が 7 割を超え，否定意見は 1 割に満たない。20～40 歳代女性・20 歳代男性では否定意見が他の年代よりも多く，20 歳代男性で 36.0%である。70 歳代男性では否定意見の回答がない。

**C 妻や子どもを養うのは，男性の責任である**

男女共に肯定意見が，否定意見と「どちらともいえない」を上回る。男性では「そう思う」が 51.4%と半数を超え，全項目中で最も多い。否定意見は，女性 16.0%，男性 6.7%と女性のほうに多い。

どの年代でも肯定意見が否定意見を上回る。男性では，30 歳代以外の年代で肯定意見が 7 割を超える。否定意見は 40 歳代以上では多くても 8%程度で，40 歳代男性では「そうわない」の回答がない。女性では，40～70 歳代で肯定意見が 6～7 割である。否定意見は 70 歳代で最も少なく 7%程度である一方，20～30 歳代では 20%を超える。

**D 女性は結婚したら自分自身のことより，家族を中心に考えるべきである**

肯定意見は，女性 51.6%，男性 44.2%である。

年代別に見ると，肯定意見は，女性では年代が高くなるほど多い傾向にある。否定意見は，男女共に年代が低いほど多い傾向にある。20 歳代男女では否定意見が肯定意見を上回り，否定意見と「どちらともいえない」が同程度である。40 歳代男性では，「どちらともいえない」が 48.6%と多く，肯定意見と否定意見の差は他の年代よりも少ない。否定意見は 20 歳代男女と 30 歳代男性では 3 割を超える。

**E 女性は仕事を持つのはよいが，家事，育児もきちんとすべきである**

男女共に肯定意見が否定意見を上回る。

30 歳代女性・40 歳代男女では，肯定意見は他の年代よりも少なく 5 割前後で，「どちらともいえない」が約 3 割と他の年代よりも多い。否定意見は 30 歳代女性で 22.0%と最も多い。また 20 歳代女性の否定意見は，30～50 歳代女性よりも少ない。

肯定意見は，女性の 20 歳代・60 歳代以上，男性の 40 歳代以外の年代で 6 割を超え，70 歳代女性で 79.6%と 8 割近い。

**F 結婚したら，妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う**

男女共に肯定意見が否定意見を上回る。

60 歳代以上では肯定意見が 6 割以上と多い。一方，20～40 歳代女性・40 歳代男性では，肯定意見と「どちらともいえない」の差が他の年代よりも小さい。20～30 歳代では男女間で肯定意見に差があり，女性では 35%前後であるが男性では半数を超える。

否定意見は 20 歳代女性・30 歳代男女で 25%を超え，他の年代よりも多い。

**G 冠婚葬祭の「のし袋」などに、夫だけではなく妻の氏名も連名で書くほうがよい**  
肯定意見は22.6%，否定意見は38.3%である。否定意見が肯定意見を上回るが、「どちらともいえない」は32.2%である。年代別に見ると、30歳代以上の女性と、50歳代以上の男性は否定意見が肯定意見を上回る。一方、20歳代女性・20～40歳代男性では肯定意見が否定意見を上回るか同程度である。肯定意見は、20歳代男性で52.0%と最も多く、30歳代男性36.7%，20歳代女性32.7%と続く。

**H 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う**

肯定意見が否定意見を上回る。女性では「どちらともいえない」が最も多く、男性は「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」が同程度である。

年代が高いほど肯定意見が多く、女性では年代が低いほど否定意見が多い。20～30歳代男女では否定意見が3割を超え、肯定意見を上回るか同程度である。40歳代では肯定意見が否定意見を上回るが、「どちらともいえない」が最も多い。50歳代以上男女では肯定意見が否定意見を上回る。

**I 男性の方が女性より、管理職としての素質がある**

肯定意見が否定意見を上回るが、「どちらともいえない」が39.4%と最も多い。

女性は、年代が高いほど肯定意見が多く、否定意見が少ない傾向にある。20～30歳代男女・50歳代男性では否定意見が肯定意見を上回る。特に30歳代男性では肯定意見6.6%に対して否定意見43.4%である。その他の年代では肯定意見が否定意見を上回る。否定意見は20歳代女性と30歳代男性で4割前後と他の年代よりも多い。

**J 職場で来客にお茶を出すのは女性がしたほうがよい**

どの年代でも肯定意見が否定意見を上回る。肯定意見は、20歳代男性・50歳代男性・60～70歳代男女で約7割と多い。特に、60歳代男女では「そう思う」が4割と他の年代よりも多い。否定意見は、20～30歳代男女で2割を超え、30歳代男性で30.0%と多い。「どちらともいえない」は、30～50歳代女性で2～3割と他の年代よりも多い。

**K 育児休業は、男性より女性がとった方がよい**

肯定意見が70.4%と、すべての項目の中で最も多く、否定意見は8.0%と最も少ない。

どの年代でも肯定意見が否定意見を上回る。女性では、年代が高いほど肯定意見が多く、60～70歳代女性で8割を超える。また、年代が低いほど「どちらともいえない」と否定意見が多い傾向にある。男性では、20歳代男性の肯定意見が30歳代男性よりも多い。

否定意見は、20歳代女性21.8%，30歳代女性18.0%，20歳代男性16.0%の順で多い。「どちらともいえない」は、20歳代女性と30歳代男女で3割前後と他の年代よりも多い。

**L 介護休業は、男性より女性がとった方がよい**

肯定意見が否定意見を上回るが、「どちらともいえない」は36.2%である。「どちらともいえない」は、女性40.1%，男性32.2%と女性のほうに多い。

20～30歳代女性・20歳代男性では否定意見が肯定意見を上回り、40～50歳代女性・30～40歳代男性では肯定意見が否定意見を上回るが、これらの年代では「どちらともいえない」が最も多く、30歳代女性では66.0%である。一方、60歳代以上女性・50歳代以上男性では肯定意見が最も多い。

否定意見は、20歳代男性32.0%，30歳代男性26.7%，20歳代女性25.5%，30歳代女性22.0%の順で多い。

A 「男性は仕事，女性は家事・育児」と役割分担するほうがよい

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	2 3.6%	1 2.0%	3 3.5%	5 4.2%	13 12.9%	18 18.4%	6 20.0%
どちらかといえば思う	8 14.6%	3 6.0%	8 9.3%	25 20.8%	29 28.7%	28 28.6%	4 13.3%
どちらともいえない	17 30.9%	16 32.0%	32 37.2%	32 26.7%	34 33.7%	27 27.6%	10 33.3%
どちらかといえば思わない	5 9.1%	5 10.0%	13 15.1%	18 15.0%	4 4.0%	8 8.2%	3 10.0%
そう思わない	23 41.8%	24 48.0%	29 33.7%	37 30.8%	19 18.8%	7 7.1%	2 6.7%
無回答	-	1 2.0%	1 1.2%	3 2.5%	2 2.0%	10 10.2%	5 16.7%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	4 16.0%	2 6.7%	4 11.4%	14 16.5%	8 10.0%	9 15.0%	2 6.1%
どちらかといえば思う	4 16.0%	9 30.0%	9 25.7%	26 30.6%	26 32.5%	26 43.3%	11 33.3%
どちらともいえない	6 24.0%	5 16.7%	10 28.6%	19 22.4%	18 22.5%	7 11.7%	11 33.3%
どちらかといえば思わない	1 4.0%	3 10.0%	7 20.0%	7 8.2%	3 3.8%	3 5.0%	3 9.1%
そう思わない	10 40.0%	11 36.7%	5 14.3%	19 22.4%	22 27.5%	3 5.0%	1 3.0%
無回答	-	-	-	-	3 3.8%	12 20.0%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

B 男の子は男らしく，女の子は女らしく育てるほうがよい

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	5 9.1%	7 14.0%	15 17.4%	29 24.2%	43 42.6%	51 52.0%	10 33.3%
どちらかといえば思う	21 38.2%	12 24.0%	26 30.2%	39 32.5%	31 30.7%	25 25.5%	9 30.0%
どちらともいえない	16 29.1%	17 34.0%	24 27.9%	35 29.2%	14 13.9%	11 11.2%	4 13.3%
どちらかといえば思わない	7 12.7%	3 6.0%	5 5.8%	5 4.2%	5 5.0%	-	1 3.3%
そう思わない	6 10.9%	10 20.0%	15 17.4%	11 9.2%	3 3.0%	2 2.0%	2 6.7%
無回答	-	1 2.0%	1 1.2%	1 0.8%	5 5.0%	9 9.2%	4 13.3%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	6 24.0%	9 30.0%	15 42.9%	43 50.6%	41 51.3%	34 56.7%	12 36.4%
どちらかといえば思う	7 28.0%	11 36.7%	12 34.3%	22 25.9%	20 25.0%	12 20.0%	11 33.3%
どちらともいえない	3 12.0%	7 23.3%	6 17.1%	11 12.9%	10 12.5%	3 5.0%	1 3.0%
どちらかといえば思わない	2 8.0%	1 3.3%	1 2.9%	2 2.4%	4 5.0%	-	3 9.1%
そう思わない	7 28.0%	2 6.7%	1 2.9%	6 7.1%	4 5.0%	-	1 3.0%
無回答	-	-	-	1 1.2%	1 1.3%	11 18.3%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

C 妻や子どもを養うのは、男性の責任である

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	14 25.5%	7 14.0%	22 25.6%	27 22.5%	35 34.7%	42 42.9%	7 23.3%
どちらかといえば思う	14 25.5%	14 28.0%	35 40.7%	44 36.7%	37 36.6%	22 22.5%	6 20.0%
どちらともいえない	15 27.3%	14 28.0%	14 16.3%	29 24.2%	9 8.9%	15 15.3%	6 20.0%
どちらかといえば思わない	6 10.9%	2 4.0%	4 4.7%	3 2.5%	4 4.0%	2 2.0%	2 6.7%
そう思わない	6 10.9%	12 24.0%	10 11.6%	15 12.5%	12 11.9%	5 5.1%	3 10.0%
無回答	-	1 2.0%	1 1.2%	2 1.7%	4 4.0%	12 12.2%	6 20.0%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	11 44.0%	14 46.7%	11 31.4%	49 57.7%	45 56.3%	32 53.3%	17 51.5%
どちらかといえば思う	8 32.0%	5 16.7%	16 45.7%	18 21.2%	21 26.3%	13 21.7%	7 21.2%
どちらともいえない	-	6 20.0%	6 17.1%	10 11.8%	8 10.0%	3 5.0%	5 15.2%
どちらかといえば思わない	3 12.0%	2 6.7%	1 2.9%	4 4.7%	1 1.3%	-	-
そう思わない	3 12.0%	3 10.0%	-	3 3.5%	2 2.5%	1 1.7%	-
無回答	-	-	1 2.9%	1 1.2%	3 3.8%	11 18.3%	4 12.1%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

D 女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	5 9.1%	5 10.0%	7 8.1%	18 15.0%	31 30.7%	43 43.9%	9 30.0%
どちらかといえば思う	11 20.0%	14 28.0%	30 34.9%	42 35.0%	33 32.7%	24 24.5%	7 23.3%
どちらともいえない	19 34.6%	16 32.0%	28 32.6%	30 25.0%	21 20.8%	9 9.2%	6 20.0%
どちらかといえば思わない	12 21.8%	4 8.0%	11 12.8%	12 10.0%	3 3.0%	6 6.1%	1 3.3%
そう思わない	8 14.6%	10 20.0%	8 9.3%	15 12.5%	10 9.9%	2 2.0%	2 6.7%
無回答	-	1 2.0%	2 2.3%	3 2.5%	3 3.0%	14 14.3%	5 16.7%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	1 4.0%	4 13.3%	2 5.7%	11 12.9%	10 12.5%	16 26.7%	10 30.3%
どちらかといえば思う	3 12.0%	8 26.7%	8 22.9%	28 32.9%	29 36.3%	16 26.7%	8 24.2%
どちらともいえない	11 44.0%	8 26.7%	17 48.6%	26 30.6%	24 30.0%	11 18.3%	7 21.2%
どちらかといえば思わない	5 20.0%	4 13.3%	5 14.3%	11 12.9%	5 6.3%	3 5.0%	2 6.1%
そう思わない	5 20.0%	6 20.0%	2 5.7%	9 10.6%	9 11.3%	2 3.3%	1 3.0%
無回答	-	-	1 2.9%	-	3 3.8%	12 20.0%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%



E 女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	16 29.1%	13 26.0%	10 11.6%	32 26.7%	40 39.6%	43 43.9%	15 50.0%
どちらかといえば思う	19 34.6%	11 22.0%	33 38.4%	38 31.7%	34 33.7%	35 35.7%	5 16.7%
どちらともいえない	14 25.5%	14 28.0%	27 31.4%	28 23.3%	14 13.9%	8 8.2%	6 20.0%
どちらかといえば思わない	5 9.1%	8 16.0%	6 7.0%	13 10.8%	8 7.9%	3 3.1%	-
そう思わない	1 1.8%	3 6.0%	8 9.3%	6 5.0%	2 2.0%	2 2.0%	-
無回答	-	1 2.0%	2 2.3%	3 2.5%	3 3.0%	7 7.1%	4 13.3%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	3 12.0%	8 26.7%	8 22.9%	24 28.2%	22 27.5%	19 31.7%	12 36.4%
どちらかといえば思う	12 48.0%	10 33.3%	10 28.6%	33 38.8%	26 32.5%	20 33.3%	11 33.3%
どちらともいえない	6 24.0%	9 30.0%	12 34.3%	13 15.3%	16 20.0%	7 11.7%	1 3.0%
どちらかといえば思わない	2 8.0%	2 6.7%	1 2.9%	9 10.6%	8 10.0%	2 3.3%	2 6.1%
そう思わない	2 8.0%	1 3.3%	3 8.6%	5 5.9%	5 6.3%	-	2 6.1%
無回答	-	-	1 2.9%	1 1.2%	3 3.8%	12 20.0%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

F 結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	10 18.2%	11 22.0%	17 19.8%	32 26.7%	49 48.5%	49 50.0%	16 53.3%
どちらかといえば思う	9 16.4%	7 14.0%	18 20.9%	23 19.2%	21 20.8%	14 14.3%	2 6.7%
どちらともいえない	21 38.2%	15 30.0%	34 39.5%	42 35.0%	20 19.8%	17 17.4%	3 10.0%
どちらかといえば思わない	6 10.9%	5 10.0%	3 3.5%	5 4.2%	3 3.0%	3 3.1%	1 3.3%
そう思わない	8 14.6%	11 22.0%	13 15.1%	17 14.2%	4 4.0%	5 5.1%	2 6.7%
無回答	1 1.8%	1 2.0%	1 1.2%	1 0.8%	4 4.0%	10 10.2%	6 20.0%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	6 24.0%	8 26.7%	9 25.7%	28 32.9%	35 43.8%	29 48.3%	18 54.6%
どちらかといえば思う	7 28.0%	7 23.3%	4 11.4%	18 21.2%	19 23.8%	6 10.0%	5 15.2%
どちらともいえない	8 32.0%	7 23.3%	15 42.9%	28 32.9%	12 15.0%	9 15.0%	3 9.1%
どちらかといえば思わない	-	-	1 2.9%	2 2.4%	2 2.5%	2 3.3%	1 3.0%
そう思わない	4 16.0%	8 26.7%	5 14.3%	9 10.6%	9 11.3%	4 6.7%	2 6.1%
無回答	-	-	1 2.9%	-	3 3.8%	10 16.7%	4 12.1%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

G 冠婚葬祭の「のし袋」などに、夫だけではなく妻の氏名も連名で書いたほうがよい

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	7 12.7%	6 12.0%	4 4.7%	4 3.3%	9 8.9%	11 11.2%	3 10.0%
どちらかといえば思う	11 20.0%	5 10.0%	7 8.1%	11 9.2%	13 12.9%	12 12.2%	1 3.3%
どちらともいえない	20 36.4%	21 42.0%	39 45.4%	34 28.3%	29 28.7%	30 30.6%	9 30.0%
どちらかといえば思わない	7 12.7%	3 6.0%	7 8.1%	16 13.3%	11 10.9%	6 6.1%	2 6.7%
そう思わない	10 18.2%	13 26.0%	28 32.6%	52 43.3%	34 33.7%	29 29.6%	8 26.7%
無回答	-	2 4.0%	1 1.2%	3 2.5%	5 5.0%	10 10.2%	7 23.3%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	6 24.0%	11 36.7%	4 11.4%	7 8.2%	13 16.3%	7 11.7%	4 12.1%
どちらかといえば思う	7 28.0%	-	7 20.0%	12 14.1%	13 16.3%	6 10.0%	2 6.1%
どちらともいえない	7 28.0%	9 30.0%	15 42.9%	31 36.5%	20 25.0%	13 21.7%	11 33.3%
どちらかといえば思わない	3 12.0%	3 10.0%	1 2.9%	9 10.6%	13 16.3%	6 10.0%	4 12.1%
そう思わない	2 8.0%	7 23.3%	7 20.0%	26 30.6%	18 22.5%	16 26.7%	7 21.2%
無回答	-	-	1 2.9%	-	3 3.8%	12 20.0%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

H 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	6 10.9%	5 10.0%	10 11.6%	29 24.2%	33 32.7%	40 40.8%	9 30.0%
どちらかといえば思う	6 10.9%	11 22.0%	19 22.1%	28 23.3%	24 23.8%	22 22.5%	8 26.7%
どちらともいえない	25 45.5%	16 32.0%	33 38.4%	40 33.3%	29 28.7%	20 20.4%	7 23.3%
どちらかといえば思わない	8 14.6%	5 10.0%	6 7.0%	7 5.8%	8 7.9%	4 4.1%	-
そう思わない	10 18.2%	11 22.0%	17 19.8%	15 12.5%	5 5.0%	3 3.1%	-
無回答	-	2 4.0%	1 1.2%	1 0.8%	2 2.0%	9 9.2%	6 20.0%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	3 12.0%	2 6.7%	3 8.6%	16 18.8%	13 16.3%	17 28.3%	13 39.4%
どちらかといえば思う	4 16.0%	8 26.7%	11 31.4%	25 29.4%	25 31.3%	18 30.0%	10 30.3%
どちらともいえない	9 36.0%	9 30.0%	17 48.6%	29 34.1%	20 25.0%	10 16.7%	3 9.1%
どちらかといえば思わない	2 8.0%	3 10.0%	-	6 7.1%	8 10.0%	2 3.3%	-
そう思わない	7 28.0%	8 26.7%	3 8.6%	9 10.6%	7 8.8%	2 3.3%	2 6.1%
無回答	-	-	1 2.9%	-	7 8.8%	11 18.3%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

I 男性のほうが女性より，管理職としての素質がある

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	2 3.6%	3 6.0%	7 8.1%	16 13.3%	15 14.9%	25 25.5%	9 30.0%
どちらかといえば思う	10 18.2%	8 16.0%	18 20.9%	24 20.0%	17 16.8%	18 18.4%	2 6.7%
どちらともいえない	22 40.0%	26 52.0%	41 47.7%	51 42.5%	45 44.6%	27 27.6%	10 33.3%
どちらかといえば思わない	7 12.7%	1 2.0%	3 3.5%	10 8.3%	8 7.9%	3 3.1%	- -
そう思わない	14 25.5%	11 22.0%	14 16.3%	17 14.2%	12 11.9%	13 13.3%	3 10.0%
無回答	- -	1 2.0%	3 3.5%	2 1.7%	4 4.0%	12 12.2%	6 20.0%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	2 8.0%	1 3.3%	1 2.9%	8 9.4%	15 18.8%	11 18.3%	4 12.1%
どちらかといえば思う	4 16.0%	1 3.3%	8 22.9%	11 12.9%	16 20.0%	15 25.0%	9 27.3%
どちらともいえない	12 48.0%	15 50.0%	17 48.6%	41 48.2%	27 33.8%	13 21.7%	7 21.2%
どちらかといえば思わない	4 16.0%	2 6.7%	1 2.9%	7 8.2%	5 6.3%	3 5.0%	1 3.0%
そう思わない	3 12.0%	11 36.7%	7 20.0%	17 20.0%	15 18.8%	5 8.3%	6 18.2%
無回答	- -	- -	1 2.9%	1 1.2%	2 2.5%	13 21.7%	6 18.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

J 職場で来客にお茶を出すのは女性がしたほうがよい

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	10 18.2%	14 28.0%	21 24.4%	34 28.3%	48 47.5%	36 36.7%	10 33.3%
どちらかといえば思う	22 40.0%	14 28.0%	34 39.5%	40 33.3%	22 21.8%	35 35.7%	7 23.3%
どちらともいえない	10 18.2%	11 22.0%	21 24.4%	37 30.8%	16 15.8%	12 12.2%	5 16.7%
どちらかといえば思わない	5 9.1%	2 4.0%	4 4.7%	1 0.8%	4 4.0%	2 2.0%	- -
そう思わない	8 14.6%	8 16.0%	5 5.8%	7 5.8%	7 6.9%	3 3.1%	1 3.3%
無回答	- -	1 2.0%	1 1.2%	1 0.8%	4 4.0%	10 10.2%	7 23.3%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	9 36.0%	5 16.7%	7 20.0%	26 30.6%	32 40.0%	20 33.3%	9 27.3%
どちらかといえば思う	9 36.0%	11 36.7%	15 42.9%	36 42.4%	22 27.5%	21 35.0%	12 36.4%
どちらともいえない	2 8.0%	5 16.7%	6 17.1%	11 12.9%	12 15.0%	4 6.7%	3 9.1%
どちらかといえば思わない	- -	1 3.3%	1 2.9%	5 5.9%	2 2.5%	3 5.0%	2 6.1%
そう思わない	5 20.0%	8 26.7%	5 14.3%	7 8.2%	8 10.0%	1 1.7%	- -
無回答	- -	- -	1 2.9%	- -	4 5.0%	11 18.3%	7 21.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

K 育児休業は、男性より女性がとったほうがよい

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	10 18.2%	9 18.0%	27 31.4%	51 42.5%	54 53.5%	61 62.2%	12 40.0%
どちらかといえば思う	17 30.9%	14 28.0%	29 33.7%	40 33.3%	29 28.7%	21 21.4%	6 20.0%
どちらともいえない	16 29.1%	17 34.0%	21 24.4%	17 14.2%	11 10.9%	5 5.1%	5 16.7%
どちらかといえば思わない	6 10.9%	4 8.0%	1 1.2%	4 3.3%	2 2.0%	-	-
そう思わない	6 10.9%	5 10.0%	6 7.0%	6 5.0%	2 2.0%	2 2.0%	1 3.3%
無回答	-	1 2.0%	2 2.3%	2 1.7%	3 3.0%	9 9.2%	6 20.0%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	11 44.0%	11 36.7%	11 31.4%	37 43.5%	35 43.8%	32 53.3%	11 33.3%
どちらかといえば思う	5 20.0%	6 20.0%	15 42.9%	30 35.3%	26 32.5%	13 21.7%	10 30.3%
どちらともいえない	5 20.0%	10 33.3%	6 17.1%	12 14.1%	6 7.5%	3 5.0%	5 15.2%
どちらかといえば思わない	-	1 3.3%	-	3 3.5%	5 6.3%	-	1 3.0%
そう思わない	4 16.0%	2 6.7%	2 5.7%	3 3.5%	5 6.3%	-	1 3.0%
無回答	-	-	1 2.9%	-	3 3.8%	12 20.0%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

L 介護休業は、男性より女性がとったほうがよい

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	2 3.6%	5 10.0%	13 15.1%	22 18.3%	39 38.6%	38 38.8%	7 23.3%
どちらかといえば思う	9 16.4%	-	16 18.6%	23 19.2%	23 22.8%	29 29.6%	8 26.7%
どちらともいえない	30 54.6%	33 66.0%	43 50.0%	53 44.2%	29 28.7%	19 19.4%	9 30.0%
どちらかといえば思わない	8 14.6%	3 6.0%	3 3.5%	6 5.0%	3 3.0%	1 1.0%	-
そう思わない	6 10.9%	8 16.0%	10 11.6%	16 13.3%	5 5.0%	2 2.0%	-
無回答	-	1 2.0%	1 1.2%	-	2 2.0%	9 9.2%	6 20.0%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
そう思う	4 16.0%	3 10.0%	4 11.4%	22 25.9%	19 23.8%	17 28.3%	8 24.2%
どちらかといえば思う	3 12.0%	6 20.0%	7 20.0%	24 28.2%	21 26.3%	19 31.7%	9 27.3%
どちらともいえない	10 40.0%	13 43.3%	15 42.9%	28 32.9%	26 32.5%	11 18.3%	9 27.3%
どちらかといえば思わない	2 8.0%	3 10.0%	3 8.6%	7 8.2%	3 3.8%	1 1.7%	1 3.0%
そう思わない	6 24.0%	5 16.7%	5 14.3%	4 4.7%	8 10.0%	-	1 3.0%
無回答	-	-	1 2.9%	-	3 3.8%	12 20.0%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

#### (4) 離婚に対する考え方

離婚に対する考え方については、「子どもの有無にかかわらず、事情によっては離婚もやむをえない」が46.9%で最も多い。次いで、「いったん結婚したら、いかなる理由があっても離婚すべきではない」が20.4%、「子どもがいれば離婚すべきではないが、いなければ事情によってはやむをえない」が18.2%と同程度である。「互いに愛情がなくなれば、離婚すべきである」は5.0%と最も少ない。

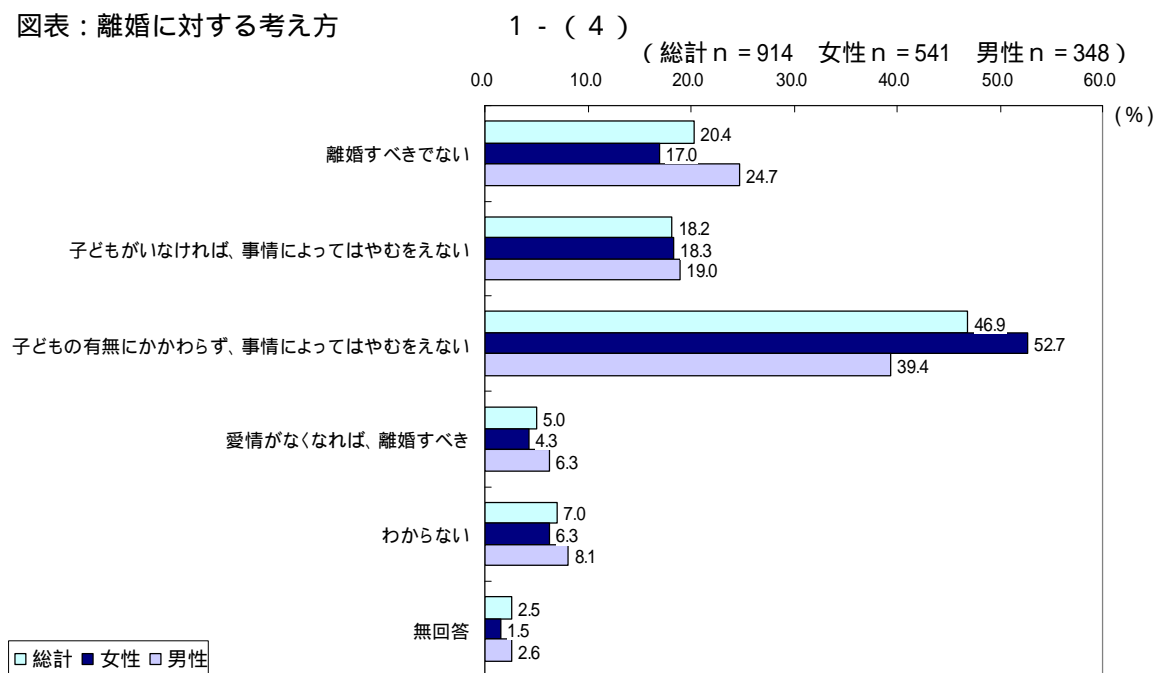
男女別に見ると、男女共に「子どもの有無にかかわらず、事情によっては離婚もやむをえない」が最も多いが、女性52.7%、男性39.4%と13ポイントの差がある。また「いったん結婚したら、いかなる理由があっても離婚すべきではない」でも女性17.0%、男性24.7%と差がある。

年代別に見ると、20～60歳代では男女共に「子どもの有無にかかわらず、事情によっては離婚もやむをえない」が多い。40歳代女性で75.6%、50歳代女性で66.7%と多い。また、70歳代以上では男女共に「いったん結婚したら、いかなる理由があっても離婚すべきではない」が多い。80歳以上男性では51.5%である。

「子どもがいれば離婚すべきではないが、いなければ事情によってはやむをえない」は、20～30歳代男女・40歳代男性で他の年代よりも多い。また、「いったん結婚したら、いかなる理由があっても離婚すべきではない」は、全体で20.4%であるのに対し、20歳代女性・30～40歳代男女では10%未満である。

国と比較すると、「いったん結婚したら、いかなる理由があっても離婚すべきではない」は国よりも多く、「子どもがいれば離婚すべきではないが、いなければ事情によってはやむをえない」は、国よりも少ない。

図表：離婚に対する考え方



図表：国との比較 (国 = 内閣府 (H17) 少子社会に関する国際意識調査 n = 1115)

	離婚すべきでない	子どもがいなければ事情によってはやむをえない	子どもの有無にかかわらず、事情によってはやむをえない	愛情がなくなれば、離婚すべき	わからない	無回答
指宿市	20.4%	18.2%	46.9%	5.0%	7.0%	2.5%
国	10.8%	32.9%	46.3%	8.1%	2.0%	

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
離婚すべきでない	3	1	2	15	21	36	14
	5.5%	2.0%	2.3%	12.5%	20.8%	36.7%	46.7%
子どもがいなければ,事情 によってはやむをえない	14	14	8	15	21	21	6
	25.5%	28.0%	9.3%	12.5%	20.8%	21.4%	20.0%
子どもの有無にかかわら ず,事情によってはやむを えない	32	28	65	80	45	26	8
	58.2%	56.0%	75.6%	66.7%	44.6%	26.5%	26.7%
愛情がなくなれば,離婚す べき	2	1	4	4	3	8	1
	3.6%	2.0%	4.7%	3.3%	3.0%	8.2%	3.3%
わからない	3	6	5	5	8	6	1
	5.5%	12.0%	5.8%	4.2%	7.9%	6.1%	3.3%
無回答	1	-	2	1	3	1	-
	1.8%	-	2.3%	0.8%	3.0%	1.0%	-
合計	55	50	86	120	101	98	30
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
離婚すべきでない	3	1	3	16	21	25	17
	12.0%	3.3%	8.6%	18.8%	26.3%	41.7%	51.5%
子どもがいなければ,事情 によってはやむをえない	6	9	13	14	14	8	2
	24.0%	30.0%	37.1%	16.5%	17.5%	13.3%	6.1%
子どもの有無にかかわら ず,事情によってはやむを えない	12	14	15	41	33	12	10
	48.0%	46.7%	42.9%	48.2%	41.3%	20.0%	30.3%
愛情がなくなれば,離婚す べき	2	1	1	5	7	5	1
	8.0%	3.3%	2.9%	5.9%	8.8%	8.3%	3.0%
わからない	2	4	3	8	4	6	1
	8.0%	13.3%	8.6%	9.4%	5.0%	10.0%	3.0%
無回答	-	1	-	1	1	4	2
	-	3.3%	-	1.2%	1.3%	6.7%	6.1%
合計	25	30	35	85	80	60	33
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

( 5 ) 育児の社会支援に対する考え方

育児の社会支援に対する考え方については、「基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある」が66.2%と最も多く、次いで「家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある」14.0%である。「家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである」が3.4%と最も少ない。

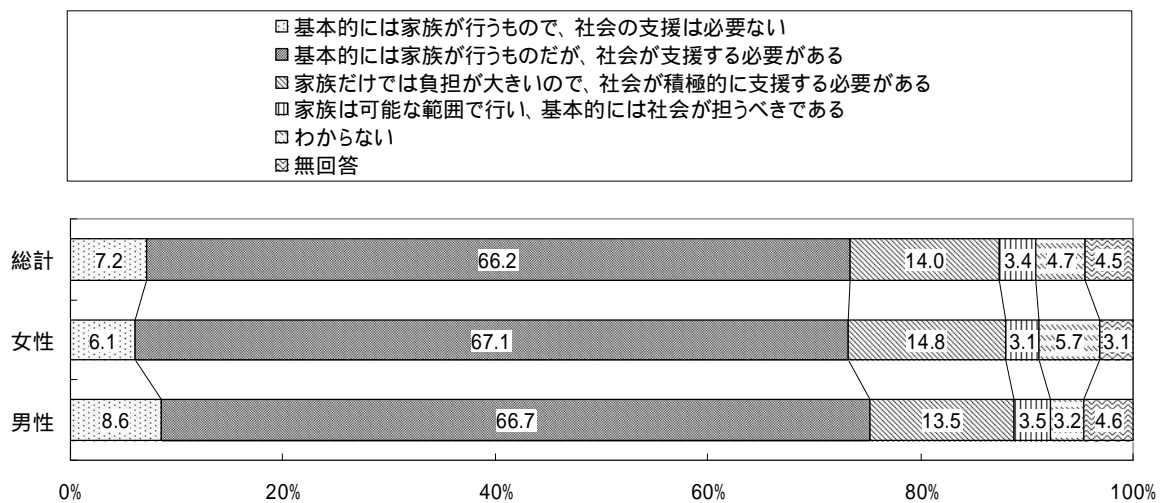
年代別に見ると、「基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある」では、20歳代男性と30～60歳代男女で7割前後と多い。

20歳代女性では「基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある」では半数程度と他の年代よりも少ないが、「家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある」では36.4%と他の年代よりも多い。

同様の調査を行った志布志市の結果と比較すると、「家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある」では本市14.0%、志布志市20.1%と志布志市よりも少ない。

図表：育児の社会支援に対する考え方 1 - ( 5 )

( 総計 n=914 女性 n=541 男性 n=348 )



図表：他自治体との比較（志布志市（H18）住民意識調査 n = 1216）

	基本的には家族が行うもので、社会の支援は必要ない	基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある	家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある	家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである	わからない	無回答
指宿市	7.2%	66.2%	14.0%	3.4%	4.7%	4.5%
志布志市	6.3%	59.0%	20.1%	2.3%	6.0%	5.5%

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
基本的に家族。社会支援必要 ない	3 5.5%	1 2.0%	4 4.7%	7 5.8%	6 5.9%	9 9.2%	3 10.0%
基本的に家族。社会支援必要	28 50.9%	38 76.0%	61 70.9%	87 72.5%	69 68.3%	61 62.2%	18 60.0%
家族だけでは負担大。積極 的な社会支援必要	20 36.4%	8 16.0%	15 17.4%	14 11.7%	12 11.9%	7 7.1%	4 13.3%
家族は可能な範囲で、基本 的には社会が担うべき	2 3.6%	1 2.0%	3 3.5%	3 2.5%	2 2.0%	6 6.1%	- -
わからない	1 1.8%	2 4.0%	3 3.5%	4 3.3%	9 8.9%	9 9.2%	3 10.0%
無回答	1 1.8%	-	-	5 4.2%	3 3.0%	6 6.1%	2 6.7%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
基本的に家族。社会支援必 要ない	- -	2 6.7%	1 2.9%	11 12.9%	7 8.8%	7 11.7%	2 6.1%
基本的に家族。社会支援必 要	21 84.0%	22 73.3%	24 68.6%	55 64.7%	58 72.5%	34 56.7%	18 54.6%
家族だけでは負担大。積極 的な社会支援必要	3 12.0%	4 13.3%	8 22.9%	16 18.8%	8 10.0%	6 10.0%	2 6.1%
家族は可能な範囲で、基本 的には社会が担うべき	- -	-	2 5.7%	1 1.2%	3 3.8%	3 5.0%	3 9.1%
わからない	1 4.0%	2 6.7%	-	-	2 2.5%	3 5.0%	3 9.1%
無回答	- -	-	-	2 2.4%	2 2.5%	7 11.7%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%



(6) 介護の社会支援に対する考え方

介護の社会支援に対する考え方については、「家族だけでは負担が大きいので、社会が積極的に支援する必要がある」44.4%、「基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある」43.1%、「基本的には家族が行うもので、社会の支援は必要ない」2.5%である。

男女別に見ても、男女共に全体の傾向と同様である。

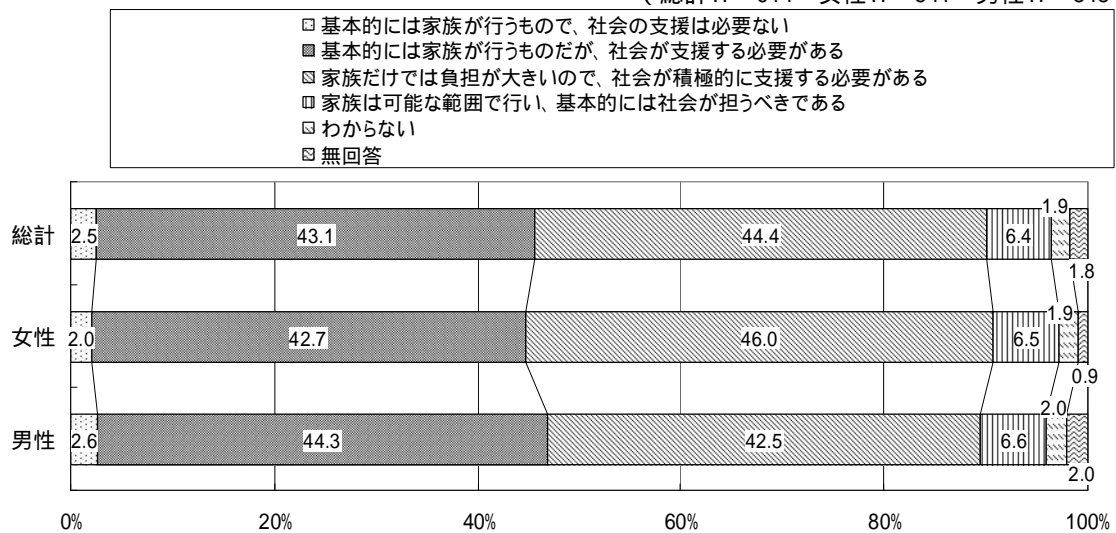
年代別に見ると、年代が高いほど「基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある」が多く、60歳代以上では5割前後となる。一方、年代が低いほど「家族だけでは負担が大きいので、社会が積極的に支援する必要がある」が多く、20歳代女性74.6%、30歳代女性60.0%である。

また、「基本的には家族が行うもので、社会の支援は必要ない」は80歳以上男女で他の年代よりも多い。一方で、「家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである」は70歳代男女で他の年代よりも多い。

同様の調査を行った国や志布志市の結果と比較すると、「家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである」では、国の12.2%よりも少ない。

図表：介護の社会支援に対する考え方 1 - (6)

(総計 n = 914 女性 n = 541 男性 n = 348)



国・他自治体との比較 (志布志市 (H18) 住民意識調査 n = 1216, 内閣府 (H12) 世論調査 n = 3378)

	基本的には家族が行うもので、社会の支援は必要ない	基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある	家族だけでは負担が大きいので、社会が積極的に支援する必要がある	家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである	わからない	無回答
指宿市	2.5%	43.1%	44.4%	6.4%	1.9%	1.8%
志布志市	1.8%	37.7%	47.2%	8.1%	2.4%	2.4%
国	2.4%	43.7%	39.0%	12.2%	2.5%	

**女性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
基本的には家族。社会支援必要ない	1 1.8%	2 4.0%	1 1.2%	- -	2 2.0%	3 3.1%	2 6.7%
基本的には家族。社会支援必要	12 21.8%	11 22.0%	32 37.2%	58 48.3%	52 51.5%	48 49.0%	17 56.7%
家族だけでは負担大。積極的な社会支援必要	41 74.6%	30 60.0%	45 52.3%	55 45.8%	39 38.6%	29 29.6%	10 33.3%
家族は可能な範囲で、基本的には社会が担うべき	- -	5 10.0%	5 5.8%	6 5.0%	5 5.0%	14 14.3%	- -
わからない	1 1.8%	1 2.0%	1 1.2%	1 0.8%	3 3.0%	2 2.0%	1 3.3%
無回答	- -	1 2.0%	2 2.3%	- -	- -	2 2.0%	- -
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

**男性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
基本的には家族。社会支援必要ない	- -	- -	- -	2 2.4%	2 2.5%	3 5.0%	2 6.1%
基本的には家族。社会支援必要	14 56.0%	12 40.0%	14 40.0%	34 40.0%	38 47.5%	27 45.0%	15 45.5%
家族だけでは負担大。積極的な社会支援必要	9 36.0%	16 53.3%	18 51.4%	43 50.6%	35 43.8%	18 30.0%	9 27.3%
家族は可能な範囲で、基本的には社会が担うべき	1 4.0%	1 3.3%	3 8.6%	4 4.7%	4 5.0%	7 11.7%	3 9.1%
わからない	1 4.0%	1 3.3%	- -	- -	1 1.3%	3 5.0%	1 3.0%
無回答	- -	- -	- -	2 2.4%	- -	2 3.3%	3 9.1%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

(7) 子育ての不安・悩み

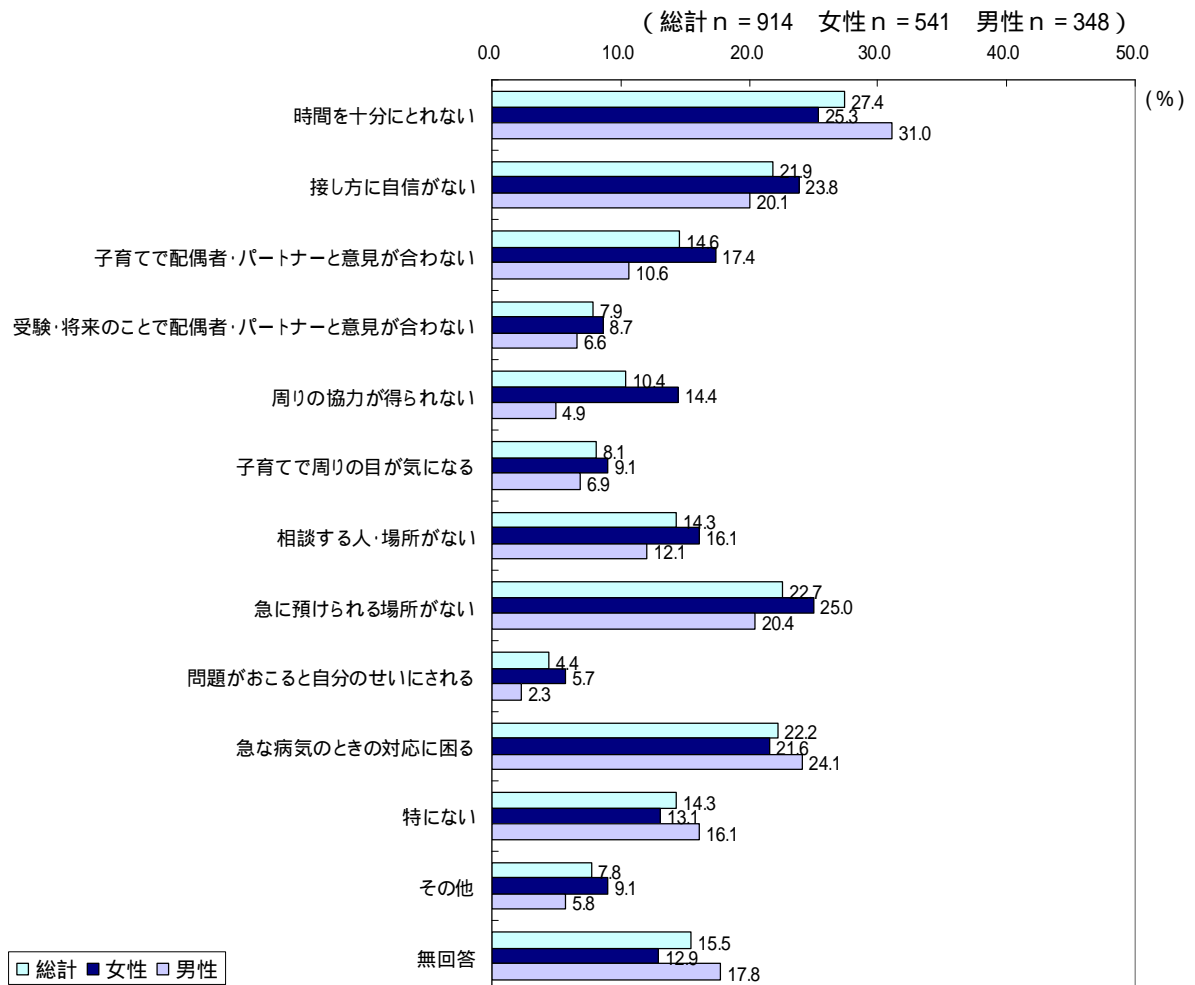
子育ての不安・悩みについて、回答割合が多い項目は、「子どもとの時間を十分にとれない」27.4%、「急な用事で子どもを預けられる場所がない」22.7%、「急な子どもの病気などのときの対応に困る」22.2%、「子どもとの接し方に自信がなくなることもある」21.9%である。

男女別に見ると、男女共に上位の4項目は全体と同様の傾向である。

男女間の回答割合に差がある項目は、「配偶者・パートナーなど周りの協力が得られない」で、女性14.4%に対し男性4.9%である。また、「子どもの病気など何か問題がおこったとき、自分のせいにされる」では、男性2.3%に対し女性5.7%で、女性の回答割合は男性の約2倍である。

年代別に見ると、20歳代女性では「配偶者・パートナーなど周りの協力が得られない」34.6%、「子育てについて相談できる人や場所がない」30.9%と他の年代よりも多い。30歳代女性では「急な用事で子どもを預けられる場所がない」40.0%と他の年代よりも多い。

図表：子育ての不安・悩み（複数回答） 1 - (7)



女性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
時間を十分にとれない	18 32.7%	17 34.0%	21 24.4%	30 25.0%	20 19.8%	24 24.5%	7 23.3%
接し方に自信がない	14 25.5%	17 34.0%	31 36.1%	29 24.2%	23 22.8%	11 11.2%	4 13.3%
子育てで配偶者・パートナーと意見が合わない	12 21.8%	4 8.0%	20 23.3%	27 22.5%	18 17.8%	11 11.2%	2 6.7%
受験・将来のことで配偶者・パートナーと意見が合わない	6 10.9%	1 2.0%	9 10.5%	15 12.5%	6 5.9%	10 10.2%	-
周りの協力が得られない	19 34.6%	12 24.0%	16 18.6%	16 13.3%	8 7.9%	6 6.1%	-
子育てで周りの目が気になる	5 9.1%	6 12.0%	12 14.0%	10 8.3%	8 7.9%	6 6.1%	2 6.7%
相談する人・場所がない	17 30.9%	9 18.0%	20 23.3%	12 10.0%	14 13.9%	12 12.2%	3 10.0%
急に預けられる場所がない	20 36.4%	20 40.0%	25 29.1%	32 26.7%	12 11.9%	21 21.4%	4 13.3%
問題がおこると自分のせいにされる	4 7.3%	4 8.0%	10 11.6%	6 5.0%	4 4.0%	3 3.1%	-
急な病気のとときの対応に困る	14 25.5%	17 34.0%	21 24.4%	26 21.7%	18 17.8%	17 17.4%	3 10.0%
特にない	9 16.4%	3 6.0%	5 5.8%	14 11.7%	17 16.8%	16 16.3%	7 23.3%
その他	2 3.6%	13 26.0%	6 7.0%	10 8.3%	8 7.9%	8 8.2%	2 6.7%
無回答	2 3.6%	1 2.0%	2 2.3%	10 8.3%	23 22.8%	24 24.5%	8 26.7%
回答者数	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
時間を十分にとれない	13 52.0%	11 36.7%	12 34.3%	31 36.5%	27 33.8%	8 13.3%	6 18.2%
接し方に自信がない	2 8.0%	7 23.3%	7 20.0%	24 28.2%	15 18.8%	9 15.0%	6 18.2%
子育てで配偶者・パートナーと意見が合わない	4 16.0%	2 6.7%	2 5.7%	14 16.5%	9 11.3%	6 10.0%	-
受験・将来のことで配偶者・パートナーと意見が合わない	2 8.0%	2 6.7%	2 5.7%	5 5.9%	7 8.8%	4 6.7%	1 3.0%
周りの協力が得られない	2 8.0%	3 10.0%	3 8.6%	5 5.9%	3 3.8%	1 1.7%	-
子育てで周りの目が気になる	3 12.0%	1 3.3%	1 2.9%	9 10.6%	4 5.0%	5 8.3%	1 3.0%
相談する人・場所がない	1 4.0%	5 16.7%	4 11.4%	11 12.9%	13 16.3%	7 11.7%	1 3.0%
急に預けられる場所がない	9 36.0%	8 26.7%	6 17.1%	18 21.2%	20 25.0%	7 11.7%	3 9.1%
問題がおこると自分のせいにされる	1 4.0%	-	1 2.9%	4 4.7%	2 2.5%	-	-
急な病気のとときの対応に困る	11 44.0%	7 23.3%	12 34.3%	23 27.1%	19 23.8%	8 13.3%	4 12.1%
特にない	4 16.0%	2 6.7%	6 17.1%	19 22.4%	10 12.5%	8 13.3%	7 21.2%
その他	1 4.0%	2 6.7%	2 5.7%	4 4.7%	5 6.3%	4 6.7%	2 6.1%
無回答	1 4.0%	4 13.3%	4 11.4%	3 3.5%	14 17.5%	26 43.3%	10 30.3%
回答者数	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

( 8 ) 自分らしくいきいきと暮らすために必要なこと

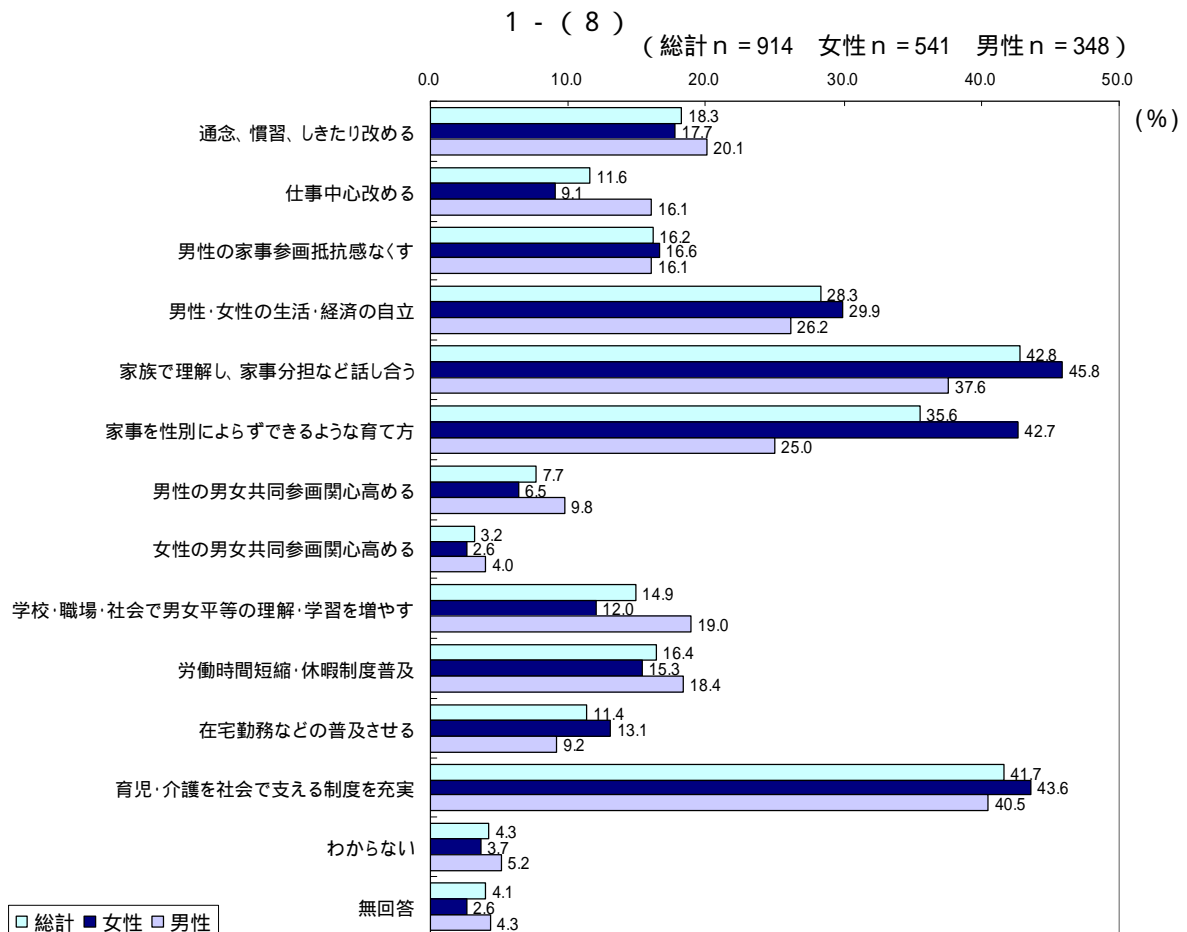
男性も女性も家事・子育て・介護・地域活動・仕事などに、自分の意思で積極的に関わり、いきいきと暮らすことができるようになるために必要なことについては、「家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分に話し合うこと」42.8%、「育児や介護支援の充実など、育児や介護を社会で支える制度を充実させること」41.7%、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」35.6%、「男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること」28.3%と続く。

男女別に見ると、女性は上位4位まで全体と同様の傾向だが、男性は3位に「男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること」26.2%、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」25.0%となっている。この項目では、女性は42.7%と男女間で17ポイントの差がある。

年代別に見ると、20歳代男女では、「家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分に話し合うこと」「育児や介護支援の充実など、育児や介護を社会で支える制度を充実させること」の2項目を半数以上が必要であると回答している。

「仕事に生活を合わせるという、仕事中心の社会全体の仕組みを改めること」「男性が家事に参画するライフスタイルについて抵抗感をなくすこと」では、30歳代での回答割合が多い。「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させること」では、20～30歳代男女・40歳代男性での回答割合が多く、30歳代女性では40.0%である。「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」では、30～40歳代男性と50・70歳代男女で約2割と他の年代よりも多い。「男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること」では、40～70歳代女性と50・70歳代男性で3割を超える。

図表：自分らしくいきいきと暮らすために必要なこと（複数回答）



上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
通念，慣習，しきたり改める	女性	8 14.6%	5 10.0%	14 16.3%	25 20.8%	16 15.8%	20 20.4%	8 26.7%
	男性	2 8.0%	6 20.0%	8 22.9%	19 22.4%	12 15.0%	15 25.0%	8 24.2%
仕事中心改める	女性	7 12.7%	11 22.0%	12 14.0%	6 5.0%	3 3.0%	8 8.2%	2 6.7%
	男性	5 20.0%	7 23.3%	8 22.9%	16 18.8%	9 11.3%	5 8.3%	6 18.2%
男性の家事参画抵抗感なくす	女性	7 12.7%	9 18.0%	14 16.3%	20 16.7%	19 18.8%	16 16.3%	5 16.7%
	男性	7 28.0%	9 30.0%	5 14.3%	10 11.8%	11 13.8%	8 13.3%	6 18.2%
男性・女性の生活・経済の自立	女性	13 23.6%	4 8.0%	29 33.7%	42 35.0%	33 32.7%	35 35.7%	6 20.0%
	男性	2 8.0%	5 16.7%	5 14.3%	28 32.9%	21 26.3%	21 35.0%	9 27.3%
家族で理解し，家事分担など話し合う	女性	28 50.9%	24 48.0%	33 38.4%	53 44.2%	48 47.5%	49 50.0%	13 43.3%
	男性	13 52.0%	12 40.0%	13 37.1%	28 32.9%	37 46.3%	18 30.0%	10 30.3%
家事を性別によらずできるような育て方	女性	20 36.4%	19 38.0%	37 43.0%	64 53.3%	41 40.6%	35 35.7%	14 46.7%
	男性	5 20.0%	8 26.7%	10 28.6%	29 34.1%	18 22.5%	13 21.7%	4 12.1%
男性の男女共同参画関心高める	女性	3 5.5%	1 2.0%	5 5.8%	4 3.3%	9 8.9%	8 8.2%	5 16.7%
	男性	-	3 10.0%	3 8.6%	7 8.2%	9 11.3%	8 13.3%	4 12.1%
女性の男女共同参画関心高める	女性	-	1 2.0%	1 1.2%	3 2.5%	3 3.0%	6 6.1%	-
	男性	-	1 3.3%	-	1 1.2%	5 6.3%	6 10.0%	1 3.0%
学校・職場・社会で男女平等の理解・学習を増やす	女性	7 12.7%	5 10.0%	12 14.0%	16 13.3%	12 11.9%	7 7.1%	5 16.7%
	男性	3 12.0%	3 10.0%	5 14.3%	19 22.4%	22 27.5%	12 20.0%	2 6.1%
労働時間短縮・休暇制度普及	女性	15 27.3%	20 40.0%	15 17.4%	12 10.0%	11 10.9%	8 8.2%	2 6.7%
	男性	8 32.0%	7 23.3%	10 28.6%	18 21.2%	12 15.0%	6 10.0%	3 9.1%
在宅勤務などの普及させる	女性	9 16.4%	6 12.0%	15 17.4%	13 10.8%	16 15.8%	9 9.2%	3 10.0%
	男性	3 12.0%	5 16.7%	2 5.7%	9 10.6%	7 8.8%	6 10.0%	-
育児・介護を社会で支える制度を充実	女性	28 50.9%	24 48.0%	43 50.0%	51 42.5%	47 46.5%	33 33.7%	9 30.0%
	男性	14 56.0%	7 23.3%	14 40.0%	41 48.2%	34 42.5%	16 26.7%	15 45.5%
わからない	女性	1 1.8%	2 4.0%	2 2.3%	4 3.3%	2 2.0%	5 5.1%	4 13.3%
	男性	-	3 10.0%	1 2.9%	1 1.2%	7 8.8%	4 6.7%	2 6.1%
無回答	女性	1 1.8%	1 2.0%	2 2.3%	3 2.5%	2 2.0%	5 5.1%	-
	男性	-	-	1 2.9%	3 3.5%	2 2.5%	4 6.7%	5 15.2%
回答者数	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

## 2. 働くことについて

### (1) 収入のある仕事の有無

収入のある仕事の有無については、「収入になる仕事をしている」が55.5%と最も多く、次いで「収入になる仕事をしていない」32.7%、「無給であるが、仕事をしている」7.9%である。

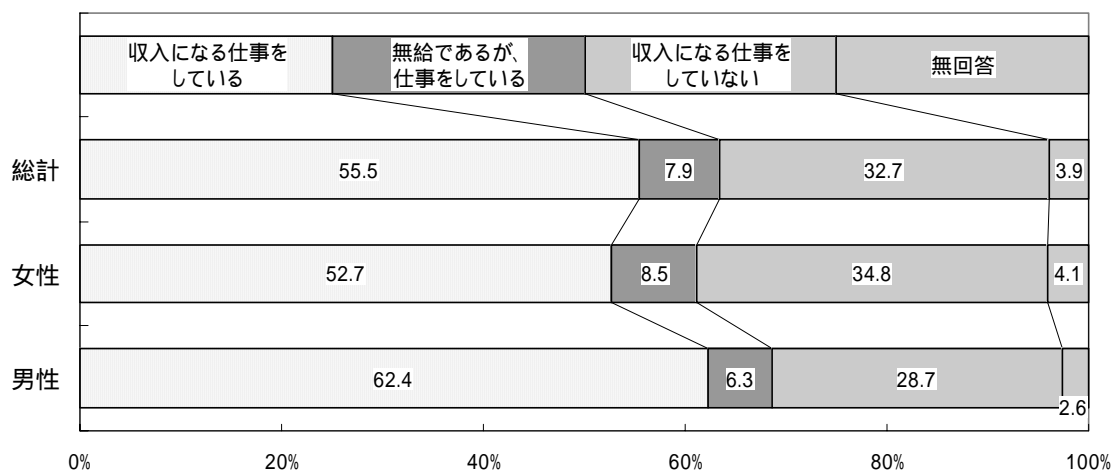
男女別に見ると、「収入になる仕事をしている」では女性52.7%、男性62.4%と男性のほうに多く、「収入になる仕事をしていない」では女性34.8%、男性28.7%と女性のほうに多い。

年代別に見ると、20～50歳代では男女共に「収入になる仕事をしている」が最も多い。この割合は、女性では、30～50歳代では7～8割であるのに対し、20歳代では約6割である。男性では、20～40歳代で9割以上、50歳代で約8割である。

一方、70歳代以上では「収入になる仕事をしていない」が最も多く7～8割である。

また、20～50歳代の中で「収入になる仕事をしていない」が最も多いのは男女共に20歳代で、女性29.1%、男性8.0%である。

図表：収入のある仕事の有無 2 - (1) (総計 n = 914 女性 n = 541 男性 n = 348)



**女性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
収入になる仕事している	34	42	69	90	38	9	3
	61.8%	84.0%	80.2%	75.0%	37.6%	9.2%	10.0%
無給でも仕事をしている	3	4	4	9	19	4	3
	5.5%	8.0%	4.7%	7.5%	18.8%	4.1%	10.0%
収入になる仕事をしていない	16	4	11	18	39	78	21
	29.1%	8.0%	12.8%	15.0%	38.6%	79.6%	70.0%
無回答	2	-	2	3	5	7	3
	3.6%	-	2.3%	2.5%	5.0%	7.1%	10.0%
合計	55	50	86	120	101	98	30
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

**男性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
収入になる仕事している	23	27	33	73	46	11	4
	92.0%	90.0%	94.3%	85.9%	57.5%	18.3%	12.1%
無給でも仕事をしている	-	2	2	6	4	6	2
	-	6.7%	5.7%	7.1%	5.0%	10.0%	6.1%
収入になる仕事をしていない	2	1	-	4	28	40	25
	8.0%	3.3%	-	4.7%	35.0%	66.7%	75.8%
無回答	-	-	-	2	2	3	2
	-	-	-	2.4%	2.5%	5.0%	6.1%
合計	25	30	35	85	80	60	33
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



## (2) 仕事に就いている理由

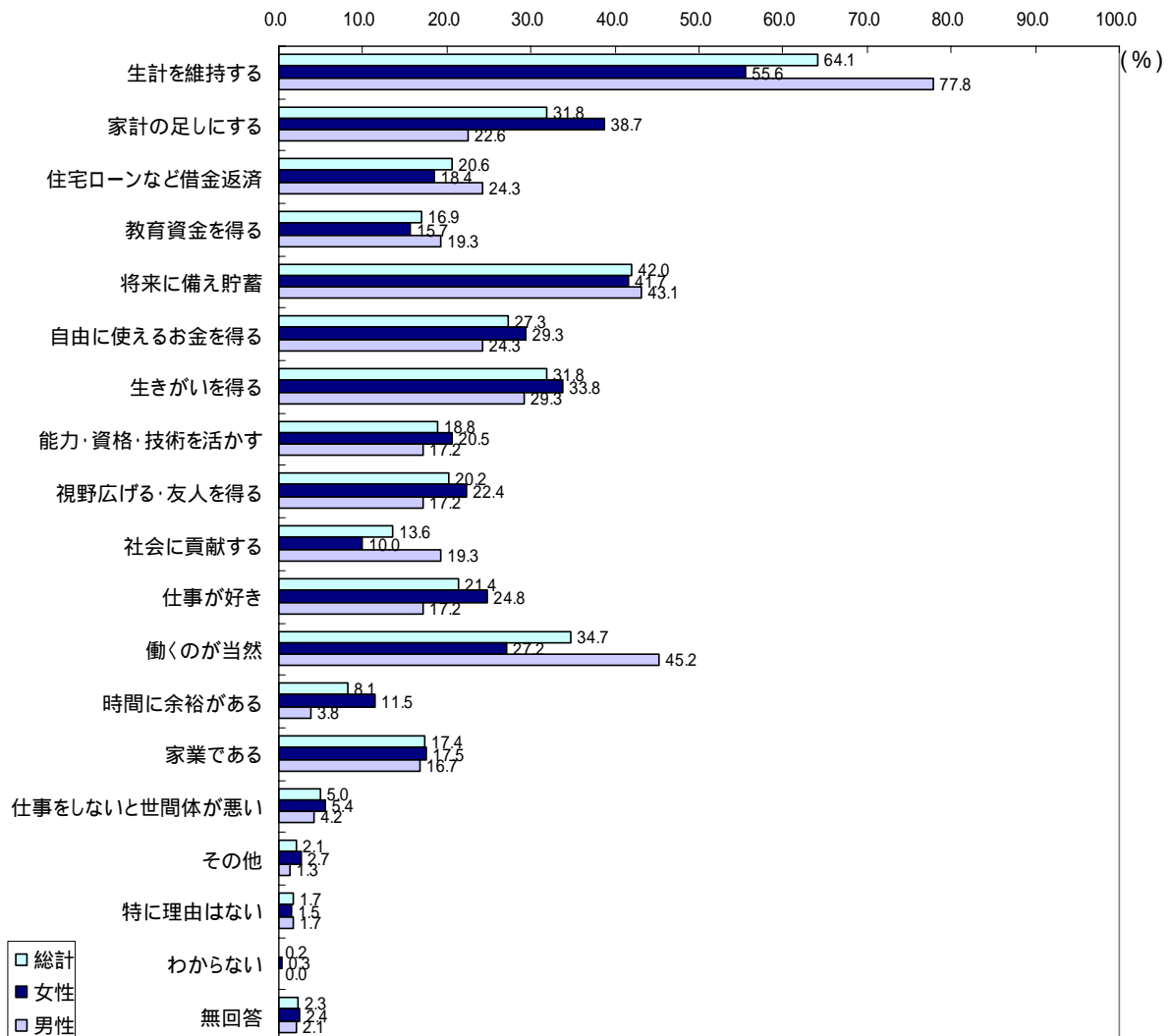
仕事に就いている理由については、「生計を維持するため」が64.1%と最も多く、次いで「将来に備えて貯蓄するため」42.0%となっている。また「働くのが当然だから」34.7%、「家計の足しにするため」31.8%、「生きがいを得るため」31.8%が同程度で続く。

男女別で見ると、「生計を維持するため」では、女性55.6%、男性77.8%と男性のほうに多い。2位以降について見ると、女性では「将来に備えて貯蓄するため」41.7%、「家計の足しにするため」38.7%となっている。男性では「働くのが当然だから」45.2%、「将来に備えて貯蓄するため」43.1%となっている。また「働くのが当然だから」では、女性27.2%、男性45.2%と男性のほうに多く、「家計の足しにするため」では、女性38.7%、男性22.6%と女性のほうに多い。

年代別に見ると、20歳代では「将来に備えて貯蓄するため」「自分で自由に使えるお金の得るため」が多い。30～60歳代では「生計を維持するため」、70歳代では「家計の足しにするため」「働くのが当然だから」が最も多い。

「生計を維持するため」は20～50歳代男性では9割前後と他の年代よりも多い。「自分で自由に使えるお金の得るため」は年代が高くなるにつれて少なくなる。「住宅ローンなどの借金返済のため」「教育資金を得るため」は40歳代に多い。70歳以上の女性では「家業であるから」が他の年代よりも多い。

図表：仕事に就いている理由（複数回答） 2 - (2)  
(総計n=579 女性n=331 男性n=239)



上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
生計を維持する	女性	17	32	47	59	23	4	2
		45.9%	69.6%	64.4%	59.6%	40.4%	30.8%	33.3%
	男性	20	28	32	70	27	6	3
		87.0%	96.6%	91.4%	88.6%	54.0%	35.3%	50.0%
家計の足しにする	女性	8	18	29	43	19	9	2
		21.6%	39.1%	39.7%	43.4%	33.3%	69.2%	33.3%
	男性	2	8	11	17	9	7	-
		8.7%	27.6%	31.4%	21.5%	18.0%	41.2%	-
借金返済	女性	4	7	20	24	5	1	-
		10.8%	15.2%	27.4%	24.2%	8.8%	7.7%	-
	男性	4	5	16	27	6	-	-
		17.4%	17.2%	45.7%	34.2%	12.0%	-	-
教育資金を得る	女性	3	11	23	13	2	-	-
		8.1%	23.9%	31.5%	13.1%	3.5%	-	-
	男性	3	8	16	19	-	-	-
		13.0%	27.6%	45.7%	24.1%	-	-	-
将来に備え貯蓄	女性	23	21	30	41	17	5	1
		62.2%	45.7%	41.1%	41.4%	29.8%	38.5%	16.7%
	男性	14	16	21	35	13	3	1
		60.9%	55.2%	60.0%	44.3%	26.0%	17.6%	16.7%
自由に使えるお金を得る	女性	24	16	21	24	10	1	1
		64.9%	34.8%	28.8%	24.2%	17.5%	7.7%	16.7%
	男性	12	9	13	14	7	3	-
		52.2%	31.0%	37.1%	17.7%	14.0%	17.6%	-
生きがいを得る	女性	11	14	18	38	21	5	5
		29.7%	30.4%	24.7%	38.4%	36.8%	38.5%	83.3%
	男性	4	9	12	21	18	4	2
		17.4%	31.0%	34.3%	26.6%	36.0%	23.5%	33.3%
能力・資格・技術を活かす	女性	11	10	15	25	4	1	2
		29.7%	21.7%	20.5%	25.3%	7.0%	7.7%	33.3%
	男性	3	7	9	10	11	1	-
		13.0%	24.1%	25.7%	12.7%	22.0%	5.9%	-
視野広げる・友人を得る	女性	9	11	13	31	7	2	1
		24.3%	23.9%	17.8%	31.3%	12.3%	15.4%	16.7%
	男性	4	4	9	9	12	3	-
		17.4%	13.8%	25.7%	11.4%	24.0%	17.6%	-
社会に貢献する	女性	4	6	4	12	4	2	1
		10.8%	13.0%	5.5%	12.1%	7.0%	15.4%	16.7%
	男性	1	8	10	13	11	3	-
		4.3%	27.6%	28.6%	16.5%	22.0%	17.6%	-
仕事が好き	女性	7	8	15	24	18	4	6
		18.9%	17.4%	20.5%	24.2%	31.6%	30.8%	100.0%
	男性	1	3	6	9	14	6	2
		4.3%	10.3%	17.1%	11.4%	28.0%	35.3%	33.3%
働くのが当然	女性	8	16	15	27	17	6	1
		21.6%	34.8%	20.5%	27.3%	29.8%	46.2%	16.7%
	男性	13	15	14	40	15	9	2
		56.5%	51.7%	40.0%	50.6%	30.0%	52.9%	33.3%
時間に余裕がある	女性	1	2	4	18	9	2	2
		2.7%	4.3%	5.5%	18.2%	15.8%	15.4%	33.3%
	男性	-	2	-	1	6	-	-
		-	6.9%	-	1.3%	12.0%	-	-

上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
家業である	女性	4	6	13	14	12	6	3
		10.8%	13.0%	17.8%	14.1%	21.1%	46.2%	50.0%
	男性	-	4	5	12	12	5	2
		-	13.8%	14.3%	15.2%	24.0%	29.4%	33.3%
世間体が悪い	女性	3	3	3	5	4	-	-
		8.1%	6.5%	4.1%	5.1%	7.0%	-	-
	男性	2	2	2	4	-	-	-
		8.7%	6.9%	5.7%	5.1%	-	-	-
その他	女性	1	-	2	4	1	-	1
		2.7%	-	2.7%	4.0%	1.8%	-	16.7%
	男性	1	1	-	-	-	1	-
		4.3%	3.4%	-	-	-	5.9%	-
特に理由はない	女性	-	2	-	1	1	1	-
		-	4.3%	-	1.0%	1.8%	7.7%	-
	男性	-	-	-	1	1	1	1
		-	-	-	1.3%	2.0%	5.9%	16.7%
わからない	女性	-	-	1	-	-	-	-
		-	-	1.4%	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
無回答	女性	-	-	1	1	6	0	-
		-	-	1.4%	1.0%	10.5%	0.0%	-
	男性	0	-	2	1	1	1	-
		0.0%	-	5.7%	1.3%	2.0%	5.9%	-
回答者数	女性	37	46	73	99	57	13	6
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	男性	23	29	35	79	50	17	6
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### (3) 働く場での性別による処遇の差

働く場での性別による処遇の差については、「性別による処遇の差はない」が38.0%で最も多い。次いで「性別によって賃金に差がある」17.3%、「男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある」14.2%と続く。

男女別に見ると、「性別による処遇の差はない」は、女性41.7%、男性33.9%と女性のほうに多い。「男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある」は、女性6.3%、男性24.7%と男性のほうに多い。また、「女性は経営方針に対して意見を言いにくい雰囲気がある」は、女性12.7%、男性5.9%と女性は男性の約2倍である。

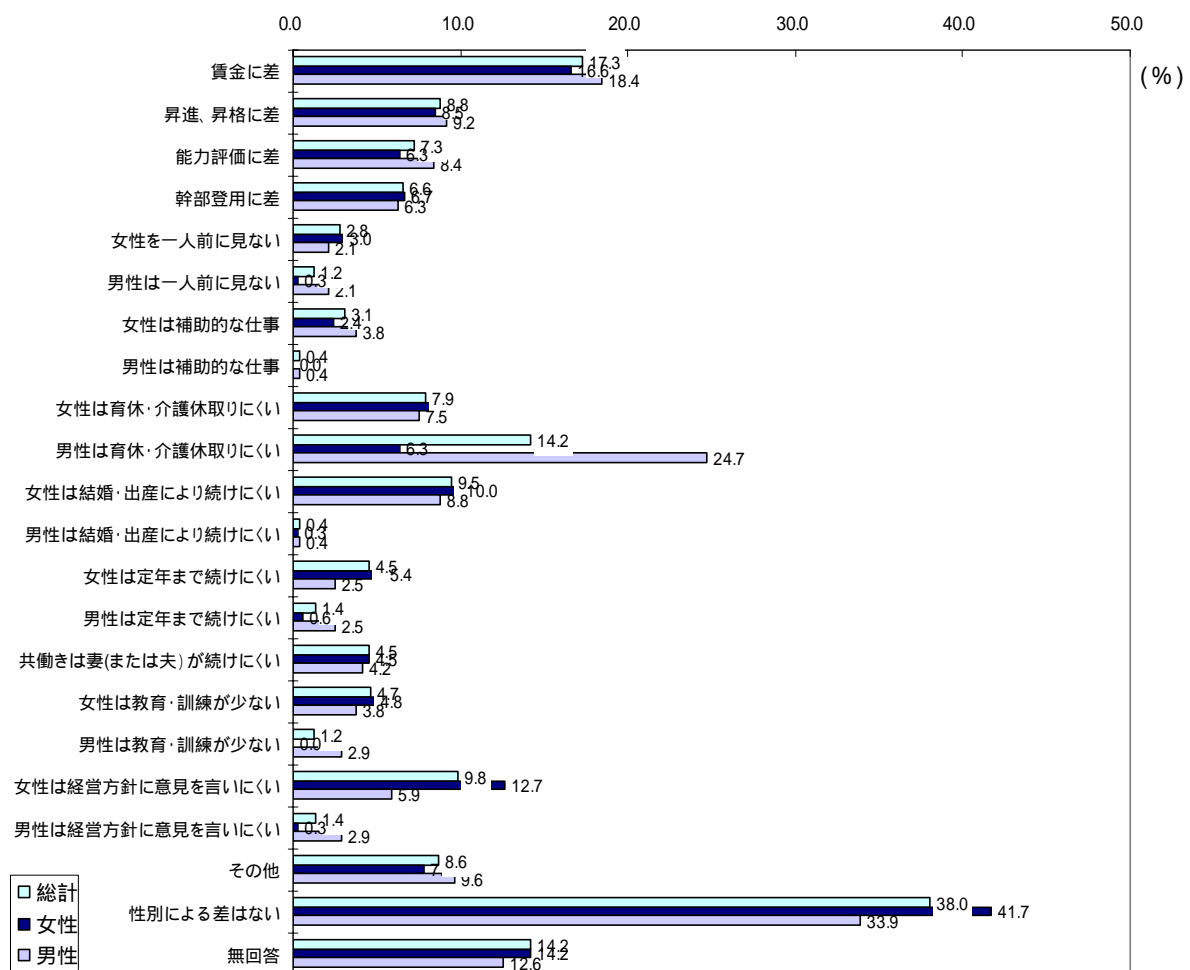
年代別に見ると、どの年代でも「性別による処遇の差はない」が多く、20～50歳代では年代が高くなるほど少ない傾向にある。30～40歳代男性では、「男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある」が4割程度で最も多い。

「性別によって賃金に差がある」は40歳代女性で約25%と多い。「性別によって能力の評価に差がある」は20歳代女性・40歳代男性に多い。「女性は結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある」は20歳代男女・30歳代女性に多い。「同じ職場で夫と妻が共に働いている場合、妻(または夫)のほうが働き続けにくい雰囲気がある」は30歳代女性に多い。

また、同様の行為であっても、男性に対してよりも、女性に対して多く見られるものは、補助業務への偏り、結婚・出産による退職慣行、定年までの勤続困難、教育・訓練機会の少なさ、経営方針への発言のしにくさである。

図表：働く場での性別による処遇の差（複数回答）

2 - (3) (総計 n = 579 女性 n = 331 男性 n = 239)



上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
賃金に差	女性	6 16.2%	5 10.9%	18 24.7%	16 16.2%	8 14.0%	2 15.4%	-
	男性	2 8.7%	5 17.2%	5 14.3%	15 19.0%	11 22.0%	5 29.4%	1 16.7%
昇進、昇格に差	女性	6 16.2%	1 2.2%	8 11.0%	12 12.1%	1 1.8%	-	-
	男性	1 4.3%	3 10.3%	6 17.1%	5 6.3%	6 12.0%	1 5.9%	-
能力評価に差	女性	6 16.2%	4 8.7%	4 5.5%	5 5.1%	1 1.8%	1 7.7%	-
	男性	2 8.7%	2 6.9%	6 17.1%	5 6.3%	3 6.0%	1 5.9%	1 16.7%
幹部登用に差	女性	2 5.4%	2 4.3%	7 9.6%	9 9.1%	2 3.5%	-	-
	男性	1 4.3%	2 6.9%	4 11.4%	5 6.3%	3 6.0%	-	-
女性を一人前に見ない	女性	2 5.4%	1 2.2%	3 4.1%	2 2.0%	1 1.8%	-	1 16.7%
	男性	-	2 6.9%	2 5.7%	-	-	1 5.9%	-
男性は一人前に見ない	女性	-	-	-	1 1.0%	-	-	-
	男性	-	1 3.4%	-	1 1.3%	2 4.0%	1 5.9%	-
女性は補助的な仕事	女性	3 8.1%	2 4.3%	1 1.4%	1 1.0%	1 1.8%	-	-
	男性	-	1 3.4%	1 2.9%	5 6.3%	1 2.0%	-	1 16.7%
男性は補助的な仕事	女性	-	-	-	-	-	-	-
	男性	1 4.3%	-	-	-	-	-	-
女性は育休・介護休取りにくい	女性	3 8.1%	3 6.5%	7 9.6%	11 11.1%	2 3.5%	-	1 16.7%
	男性	1 4.3%	3 10.3%	2 5.7%	7 8.9%	4 8.0%	1 5.9%	-
男性は育休・介護休取りにくい	女性	6 16.2%	6 13.0%	6 8.2%	3 3.0%	-	-	-
	男性	3 13.0%	11 37.9%	15 42.9%	22 27.8%	6 12.0%	2 11.8%	-
女性は結婚・出産により続けにくい	女性	8 21.6%	9 19.6%	5 6.8%	8 8.1%	2 3.5%	-	1 16.7%
	男性	4 17.4%	3 10.3%	5 14.3%	5 6.3%	4 8.0%	-	-
男性は結婚・出産により続けにくい	女性	-	-	-	-	1 1.8%	-	-
	男性	-	-	-	-	-	1 5.9%	-
女性は定年まで続けにくい	女性	4 10.8%	4 8.7%	2 2.7%	6 6.1%	1 1.8%	-	1 16.7%
	男性	-	3 10.3%	-	1 1.3%	1 2.0%	1 5.9%	-

上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
男性は定年まで続けにくい	女性	-	-	1	-	1	-	-
		-	-	1.4%	-	1.8%	-	-
	男性	1	-	1	3	1	-	-
		4.3%	-	2.9%	3.8%	2.0%	-	-
共働きは妻(または夫)が 続けにくい	女性	3	7	1	2	2	-	-
		8.1%	15.2%	1.4%	2.0%	3.5%	-	-
	男性	2	3	-	3	1	1	-
		8.7%	10.3%	-	3.8%	2.0%	5.9%	-
女性は教育・訓練が少ない	女性	3	5	-	3	4	1	-
		8.1%	10.9%	-	3.0%	7.0%	7.7%	-
	男性	1	1	3	-	2	2	-
		4.3%	3.4%	8.6%	-	4.0%	11.8%	-
男性は教育・訓練が少ない	女性	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
	男性	1	-	1	3	1	1	-
		4.3%	-	2.9%	3.8%	2.0%	5.9%	-
女性は経営方針に意見を 言いにくい	女性	4	7	12	12	6	-	1
		10.8%	15.2%	16.4%	12.1%	10.5%	-	16.7%
	男性	1	1	3	5	3	1	-
		4.3%	3.4%	8.6%	6.3%	6.0%	5.9%	-
男性は経営方針に意見を 言いにくい	女性	-	-	-	1	-	-	-
		-	-	-	1.0%	-	-	-
	男性	-	-	-	3	3	1	-
		-	-	-	3.8%	6.0%	5.9%	-
その他	女性	-	1	3	11	6	3	2
		-	2.2%	4.1%	11.1%	10.5%	23.1%	33.3%
	男性	1	1	-	10	6	2	3
		4.3%	3.4%	-	12.7%	12.0%	11.8%	50.0%
性別による差はない	女性	19	22	35	40	16	5	1
		51.4%	47.8%	47.9%	40.4%	28.1%	38.5%	16.7%
	男性	11	9	12	28	16	3	2
		47.8%	31.0%	34.3%	35.4%	32.0%	17.6%	33.3%
無回答	女性	1	1	8	13	19	3	2
		2.7%	2.2%	11.0%	13.1%	33.3%	23.1%	33.3%
	男性	2	3	5	5	9	6	-
		8.7%	10.3%	14.3%	6.3%	18.0%	35.3%	-
回答者数	女性	37	46	73	99	57	13	6
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	男性	23	29	35	79	50	17	6
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 働く上での取り決めの有無

働く上での取り決めの有無については、「文章化された取り決めがある」が39.0%で最も多い。「取り決めはない」23.7%、「文章化されていないが、合意している取り決めがある」15.2%、「取り決めがあるかどうか分からない」6.2%である。

「文章化された取り決めがある」と「文章化されていないが、合意している取り決めがある」を合わせた、取り決めがある割合は54.2%と半数程度である。

男女別に見ると、明文化に関わらず取り決めがある割合は、女性50.8%、男性60.6%と男性に多い。

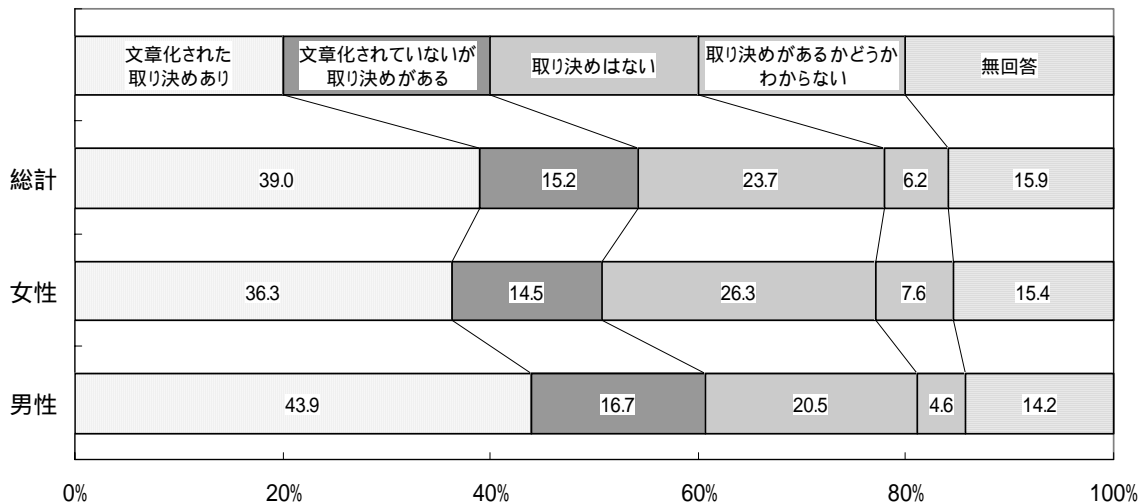
年代別に見ると、20～50歳代では「文章化された取り決めがある」が最も多い。40～50歳代女性は全体の7～8割が仕事に就いているが、その中の約4人に1人が「取り決めはない」と回答している。

明文化に関わらず取り決めがある割合は、男女共に30歳代で最も多い。20～30歳代女性と30～50歳代男性では7割前後であるが、40～50歳代女性と20歳代・60歳代男性は5割程度である。

また、20歳代では「取り決めがあるかどうか分からない」が男女共に他の年代よりも多い。

図表：働く上での取り決めの有無

2 - (4) (総計 n = 579 女性 n = 331 男性 n = 239)



**女性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
文章化された取り決めあり	18	25	32	35	9	1	1
	48.6%	54.3%	43.8%	35.4%	15.8%	7.7%	14.3%
文章化していないが、合意の取り 決めあり	9	9	8	18	4	-	-
	24.3%	19.6%	11.0%	18.2%	7.0%	-	-
取り決めなし	4	6	19	23	24	8	3
	10.8%	13.0%	26.0%	23.2%	42.1%	61.5%	42.9%
取り決めあるかわからない	6	2	5	8	3	-	1
	16.2%	4.3%	6.8%	8.1%	5.3%	-	14.3%
無回答	-	4	9	15	17	4	2
	-	8.7%	12.3%	15.2%	29.8%	30.8%	28.6%
合計	37	46	73	99	57	13	7
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

**男性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
文章化された取り決めあり	8	17	19	40	21	-	-
	34.8%	58.6%	54.3%	50.6%	42.0%	-	-
文章化していないが、合意の取り 決めあり	3	7	6	14	7	3	-
	13.0%	24.1%	17.1%	17.7%	14.0%	17.6%	-
取り決めなし	4	3	4	15	12	6	5
	17.4%	10.3%	11.4%	19.0%	24.0%	35.3%	83.3%
取り決めあるかわからない	6	1	1	3	-	-	-
	26.1%	3.4%	2.9%	3.8%	-	-	-
無回答	2	1	5	7	10	8	1
	8.7%	3.4%	14.3%	8.9%	20.0%	47.1%	16.7%
合計	23	29	35	79	50	17	6
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(5) 働く上での取り決めの実効性

働く上での取り決めの実効性については、「守られている」が47.5%で最も多く、「どちらかというを守られている」40.8%、「どちらかというを守られていない」9.6%、「守られていない」2.2%となっている。

「守られている」と「どちらかというを守られている」を合わせると88.3%と9割近い。一方で「どちらかというを守られていない」と「守られていない」を合わせると11.8%である。

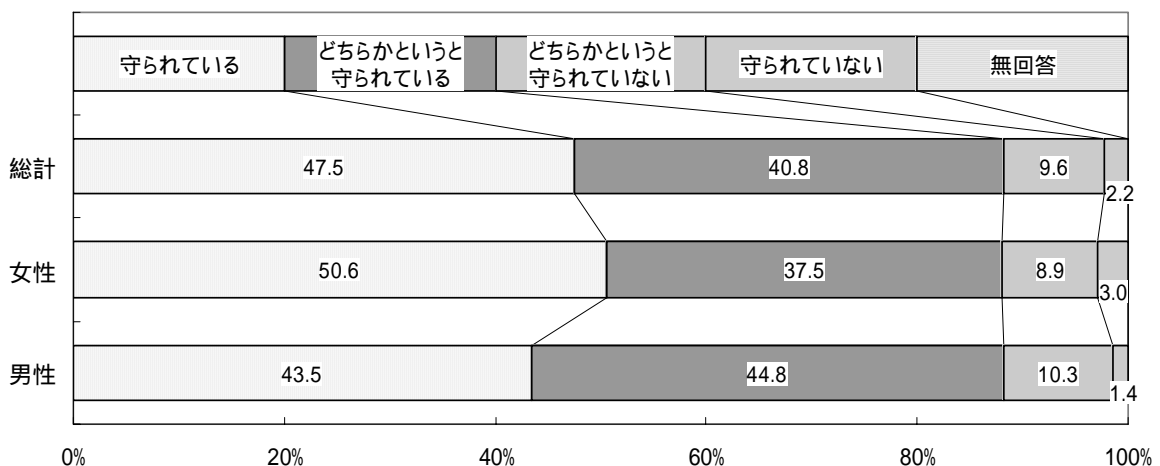
男女別に見ると、女性では「守られている」が多く、男性では「守られている」と「どちらかというを守られている」が約4割で同程度である。「どちらかというを守られていない」と「守られていない」を合わせると、男女共に約1割である。

年代別に見ると、男女共に20～30歳代では「どちらかというを守られている」が多く、50～60歳代では「守られている」が多い。40歳代では、女性は「守られている」が多く、男性は「どちらかというを守られている」が多い。30歳代男女と40歳代男性では、「どちらかというを守られている」が「守られている」よりも多い。

また、20歳代では男女共に「守られていない」が約1割と他の年代よりも多い。20歳代男性では「守られている」の回答がない。

図表：働く上での取り決めの実効性

2 - (5) (総計 n = 314 女性 n = 168 男性 n = 145)



**女性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
守られている	11	12	20	32	9	1	-
	40.7%	35.3%	50.0%	60.4%	69.2%	100.0%	-
どちらかという と守られている	11	18	13	18	3	-	-
	40.7%	52.9%	32.5%	34.0%	23.1%	-	-
どちらかという と守られてい ない	2	3	7	2	1	-	-
	7.4%	8.8%	17.5%	3.8%	7.7%	-	-
守られていない	3	1	-	1	-	-	-
	11.1%	2.9%	-	1.9%	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
合計	27	34	40	53	13	1	0
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

**男性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
守られている	-	7	10	30	16	-	-
	-	29.2%	40.0%	55.6%	57.1%	-	-
どちらかという と守られている	8	14	12	20	8	3	-
	72.7%	58.3%	48.0%	37.0%	28.6%	100.0%	-
どちらかという と守られてい ない	2	3	3	3	4	-	-
	18.2%	12.5%	12.0%	5.6%	14.3%	-	-
守られていない	1	-	-	1	-	-	-
	9.1%	-	-	1.9%	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
合計	11	24	25	54	28	3	0
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

## (6) 仕事に就いていない理由

仕事に就いていない理由については、「高齢だから」が56.9%と最も多いが、回答者のほとんどが60歳以上である。次いで「健康や体力に自信がないから」が27.4%、「経済的に働く必要がないから」が11.4%と続く。

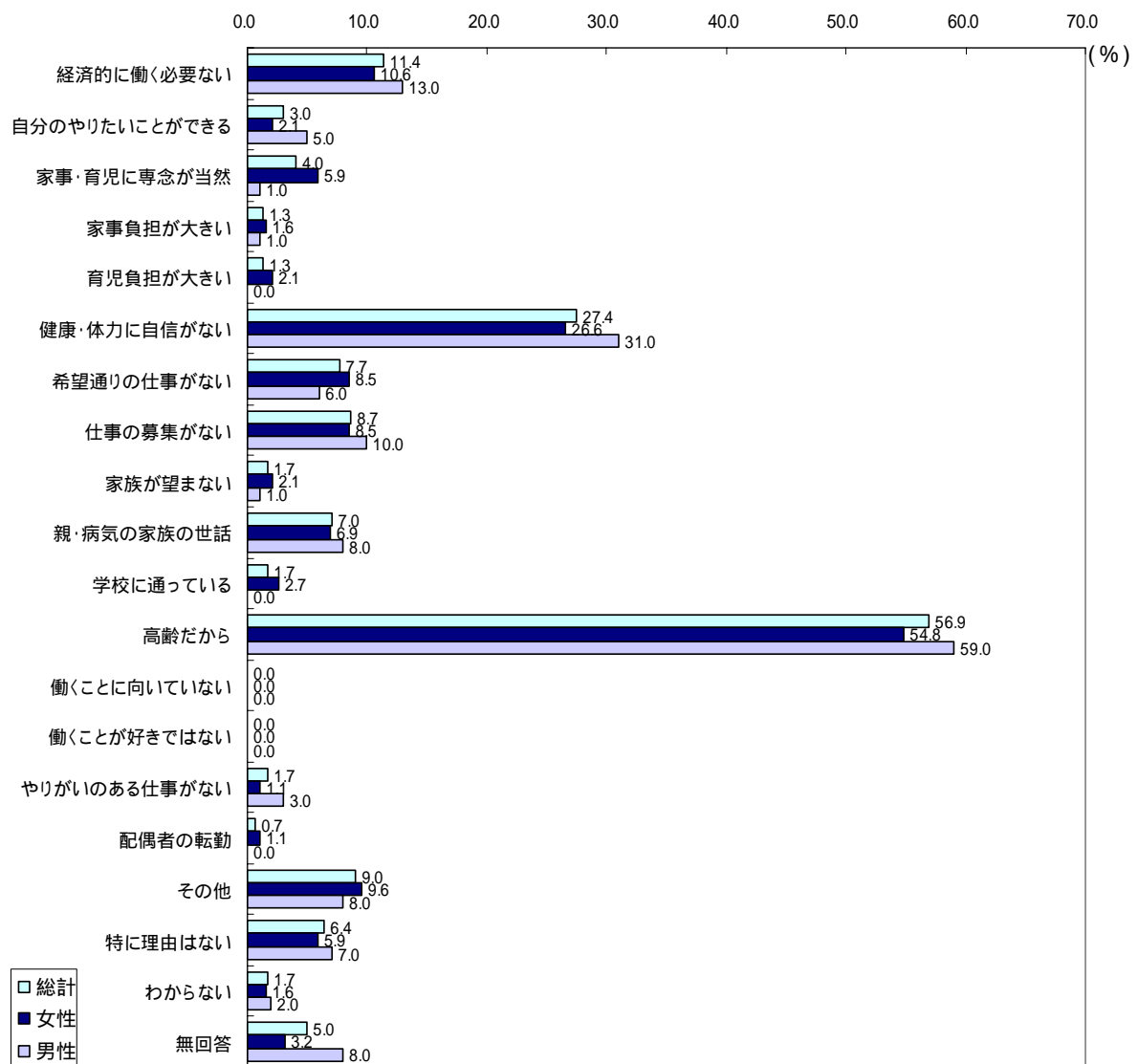
男女別に見ても特に違いは見られない。

年代別に見ると、20歳代は「現在学校に通っているから」、30～40歳代は「希望通りの仕事を得られないから」、50歳代は「健康や体力に自信がないから」、50歳以上は「高齢だから」が最も多い。30歳代女性は「家事・育児に専念するのが当然」という理由が他の年代よりも多い。また、30～40歳代女性は「育児負担が大きいから」という理由が他の年代よりも多いが、男性ではこの項目の回答がない。

図表：仕事に就いていない理由（複数回答）

2 - (6)

(総計 n = 299 女性 n = 188 男性 n = 100)



上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
経済的に働く必要ない	女性	-	-	1	5	3	10	1
		-	-	9.1%	27.8%	7.7%	12.8%	4.8%
	男性	1	-	-	-	3	7	2
		50.0%	-	-	-	10.7%	17.5%	8.0%
自分のやりたいことができる	女性	-	-	-	-	1	2	1
		-	-	-	-	2.6%	2.6%	4.8%
	男性	-	-	-	1	1	3	-
		-	-	-	25.0%	3.6%	7.5%	-
家事・育児に専念が当然	女性	1	1	1	-	1	7	-
		6.3%	25.0%	9.1%	-	2.6%	9.0%	-
	男性	-	-	-	-	-	1	-
		-	-	-	-	-	2.5%	-
家事負担が大きい	女性	-	-	1	-	1	1	-
		-	-	9.1%	-	2.6%	1.3%	-
	男性	-	-	-	-	-	1	-
		-	-	-	-	-	2.5%	-
育児負担が大きい	女性	1	1	2	-	-	-	-
		6.3%	25.0%	18.2%	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
健康・体力に自信がない	女性	2	-	2	9	15	19	2
		12.5%	-	18.2%	50.0%	38.5%	24.4%	9.5%
	男性	1	-	-	2	13	10	5
		50.0%	-	-	50.0%	46.4%	25.0%	20.0%
希望通りの仕事がない	女性	4	3	3	1	2	3	-
		25.0%	75.0%	27.3%	5.6%	5.1%	3.8%	-
	男性	-	1	-	-	5	-	-
		-	100.0%	-	-	17.9%	-	-
仕事の募集がない	女性	1	-	2	2	6	5	-
		6.3%	-	18.2%	11.1%	15.4%	6.4%	-
	男性	-	-	-	1	7	1	1
		-	-	-	25.0%	25.0%	2.5%	4.0%
家族が望まない	女性	-	-	-	-	2	2	-
		-	-	-	-	5.1%	2.6%	-
	男性	-	-	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	4.0%
親・病気の家族の世話	女性	-	-	-	3	6	3	1
		-	-	-	16.7%	15.4%	3.8%	4.8%
	男性	-	-	-	-	6	2	-
		-	-	-	-	21.4%	5.0%	-
学校に通っている	女性	5	-	-	-	-	-	-
		31.3%	-	-	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
高齢だから	女性	-	-	-	1	21	61	19
		-	-	-	5.6%	53.8%	78.2%	90.5%
	男性	-	-	-	-	11	27	21
		-	-	-	-	39.3%	67.5%	84.0%
働くことに向いていない	女性	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-

上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
働くことが好きではない	女性	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
やりがいのある仕事がない	女性	1	1	-	-	-	-	-
		6.3%	25.0%	-	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	2	-	1
		-	-	-	-	7.1%	-	4.0%
配偶者の転勤	女性	1	-	-	1	-	-	-
		6.3%	-	-	5.6%	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
その他	女性	6	-	2	1	5	2	1
		37.5%	-	18.2%	5.6%	12.8%	2.6%	4.8%
	男性	-	-	-	-	4	2	2
		-	-	-	-	14.3%	5.0%	8.0%
特に理由はない	女性	-	-	2	3	3	2	1
		-	-	18.2%	16.7%	7.7%	2.6%	4.8%
	男性	-	-	-	1	4	-	2
		-	-	-	-	14.3%	-	8.0%
わからない	女性	-	-	1	-	-	1	1
		-	-	9.1%	-	-	1.3%	4.8%
	男性	-	-	-	-	1	1	-
		-	-	-	-	3.6%	2.5%	-
無回答	女性	-	-	-	-	-	6	-
		-	-	-	-	-	7.7%	-
	男性	-	-	-	-	1	5	2
		-	-	-	-	3.6%	12.5%	8.0%
回答者数	女性	16	4	11	18	39	78	21
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	男性	2	1	0	4	28	40	25
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(7) 仕事に就いていない人の就業希望

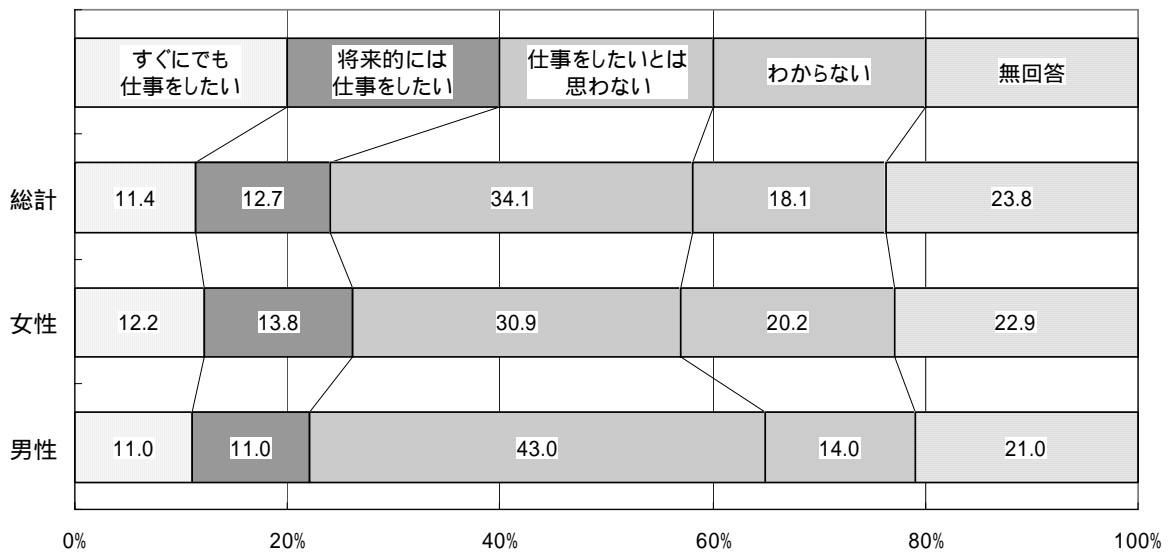
仕事に就いていない人の就業希望については、「仕事をしたいとは思わない」が 34.1%と最も多い。「すぐにでも仕事をしたい」11.4%、「将来的には仕事をしたい」12.7%、「わからない」18.1%となっている。

男女別に見ると、「仕事をしたいとは思わない」は、女性 30.9%、男性 43.0%と男性に多い。

年代別に見ると、20歳代男女と30歳代女性は「将来的には仕事をしたい」、40歳代女性は「すぐにでも仕事をしたい」、50歳代以上は「仕事をしたいとは思わない」が最も多い。

図表：仕事に就いていない人の就業希望

2 - (7) (総計 n=299 女性 n=188 男性 n=100)



**女性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
すぐにでも仕事をしたい	2	1	5	3	6	6	-
	12.5%	25.0%	45.5%	16.7%	15.4%	7.7%	-
将来的には仕事をしたい	12	2	2	2	5	3	-
	75.0%	50.0%	18.2%	11.1%	12.8%	3.8%	-
仕事をしたいと思わない	-	-	1	7	11	30	8
	-	-	9.1%	38.9%	28.2%	38.5%	38.1%
わからない	-	-	2	2	9	21	4
	-	-	18.2%	11.1%	23.1%	26.9%	19.0%
無回答	2	1	1	4	8	18	9
	12.5%	25.0%	9.1%	22.2%	20.5%	23.1%	42.9%
合計	16	4	11	18	39	78	21
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

**男性**

上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
すぐにでも仕事をしたい	-	1	-	-	7	3	-
	-	100.0%	-	-	25.0%	7.5%	-
将来的には仕事をしたい	1	-	-	1	7	2	-
	50.0%	-	-	25.0%	25.0%	5.0%	-
仕事をしたいと思わない	-	-	-	1	9	19	14
	-	-	-	25.0%	32.1%	47.5%	56.0%
わからない	-	-	-	2	3	5	4
	-	-	-	50.0%	10.7%	12.5%	16.0%
無回答	1	-	-	-	2	11	7
	50.0%	-	-	-	7.1%	27.5%	28.0%
合計	2	1	0	4	28	40	25
	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 3 . 地域参画・地域づくりについて

#### ( 1 ) 社会貢献の意欲

社会貢献の意欲については、「少しそう思っている」が51.2%と最も多い。「非常にそう思っている」8.9%、「かなりそう思っている」17.8%、「あまりそうは思わない」16.2%、「全くそうは思わない」2.2%である。

「非常にそう思っている」と「かなりそう思っている」を合わせると26.7%である。一方、「あまりそうは思わない」と「全くそうは思わない」を合わせると18.4%である。

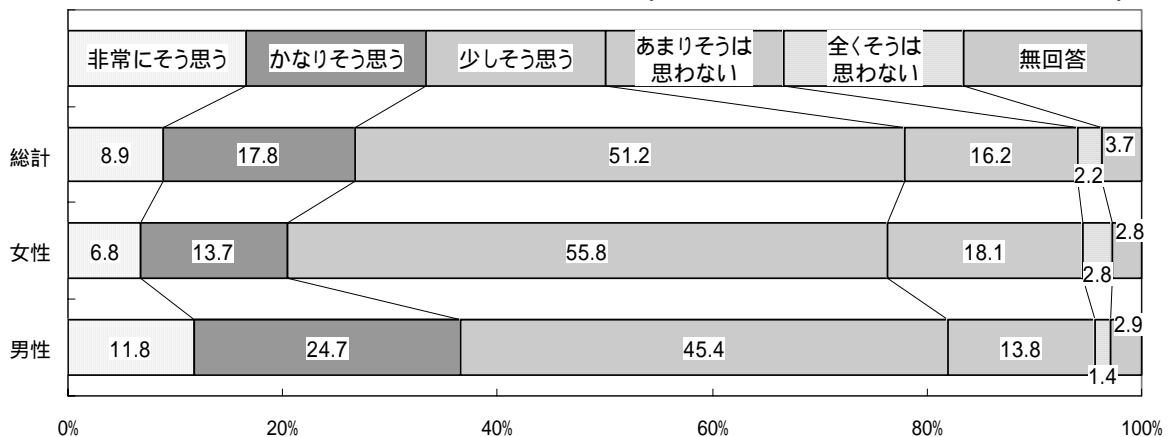
男女別に見ると、「少しそう思っている」は女性55.8%、男性45.4%と女性のほうに多い。「かなりそう思っている」は女性13.7%、男性24.7%と男性のほうに多い。「非常にそう思っている」と「かなりそう思っている」を合わせると、女性20.5%、男性36.5%と男性に多い。一方、「あまりそう思わない」と「全くそうは思わない」を合わせると、女性20.9%、男性15.2%と女性に多い。

年代別に見ると、全ての年代で「少しそう思っている」が最も多い。「非常にそう思っている」と「かなりそう思っている」は年代が高いほど多い。20歳代では、男女共に「非常にそう思っている」「かなりそう思っている」の割合は少ない。30～40歳代では、「非常にそう思っている」と「かなりそう思っている」を合わせると、女性で1割程度であるのに対し、男性では3割程度と男性の方が多い。一方、「あまりそうは思わない」と「全くそうは思わない」を合わせると、女性と男性であまり差はない。

図表：日ごろ、何か地域のために役立ちたいと思うか

3 - ( 1 )

( 総計 n = 914 女性 n = 541 男性 n = 348 )



図表：参考（国＝内閣府（H18）社会意識に関する世論調査 n = 5071）

指宿市	非常にそう思う	かなりそう思う	少しそう思う	あまりそうは思わない	全くそう思わない	無回答
	8.9%	17.8%	51.2%	16.2%	2.2%	3.7%
国	思っている			あまり考えていない		
	61.1%			35.8%		



**女性**

上段：度数 下段：構成比	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
非常にそう思う	1	2	1	11	11	8	3
	1.8%	4.0%	1.2%	9.2%	10.9%	8.2%	10.0%
かなりそう思う	4	4	8	16	13	24	5
	7.3%	8.0%	9.3%	13.3%	12.9%	24.5%	16.7%
少しそう思う	32	26	55	69	61	45	13
	58.2%	52.0%	64.0%	57.5%	60.4%	45.9%	43.3%
あまり思わない	18	15	16	20	11	12	6
	32.7%	30.0%	18.6%	16.7%	10.9%	12.2%	20.0%
全く思わない	-	3	4	4	-	3	1
	-	6.0%	4.7%	3.3%	-	3.1%	3.3%
無回答	-	-	2	-	5	6	2
	-	-	2.3%	-	5.0%	6.1%	6.7%
合計	55	50	86	120	101	98	30
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

**男性**

上段：度数 下段：構成比	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
非常にそう思う	-	2	-	10	16	8	5
	-	6.7%	-	11.8%	20.0%	13.3%	15.2%
かなりそう思う	2	8	10	19	23	16	8
	8.0%	26.7%	28.6%	22.4%	28.8%	26.7%	24.2%
少しそう思う	17	11	19	39	37	25	10
	68.0%	36.7%	54.3%	45.9%	46.3%	41.7%	30.3%
あまり思わない	5	7	6	15	4	7	4
	20.0%	23.3%	17.1%	17.7%	5.0%	11.7%	12.1%
全く思わない	1	2	-	-	-	-	2
	4.0%	6.7%	-	-	-	-	6.1%
無回答	-	-	-	2	-	4	4
	-	-	-	2.4%	-	6.7%	12.1%
合計	25	30	35	85	80	60	33
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## (2) 地域の慣習・しきたりの現状

地域の慣習・しきたりの現状については、「会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある」45.0%と最も多い。次いで「集落・公民館・PTAなどの役員名簿には夫の名前を載せるが、実際には妻が役割を果たしていることが多い」30.5%、「団体の長や代表などには男性になるほうがよい(なるものだ)」という雰囲気がある」25.7%と続く。「特にこのようなことはない」と回答した割合は23.5%であるが、すべての項目において、このような雰囲気や慣習があるという回答者がある。

なお、「地域の清掃作業などで、世帯の男性ではなく女性が参加すると負担金を払う慣習がある」は回答割合は少ないものの、回答者数914人中26人が、このような慣習があると回答している。

男女別に見ると、「団体の長や代表などには男性になるほうがよい(なるものだ)」という雰囲気がある」は、女性22.9%、男性30.8%と男性のほうに多い。

年代別に見ると、すべての年代で「会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある」が最も多い。特に40歳代女性で67.4%と多い。「集落・公民館・PTAなどの役員名簿には夫の名前を載せるが、実際には妻が役割を果たしていることが多い」の割合も40歳代女性で50.0%と他の年代よりも多い。

また、「地域活動をするときに、子どもがいない世帯や、中高年の一人住まいの世帯、若い独身者を活動の一員として初めから期待していないような雰囲気がある」は、30~50歳代男女で他の年代よりも多い。特に30歳代男性では33.3%と3人に1人がそう感じると回答した。年代が若いほど、「女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい(従うものだ)」という雰囲気がある」という回答割合が多い。

「地域のために慣習を見直すなど、変革を求める人を煙たがる雰囲気がある」では、50歳代男女で他の年代よりも多い。「会議等で女性が自分の意見を発言することに対して批判的な雰囲気がある」でも50歳代女性は10.8%と他の年代よりも多い。60歳代男性の23.8%が「地元(市内)出身でない人を何年経っても「よその人」として区別する雰囲気がある」と回答している。

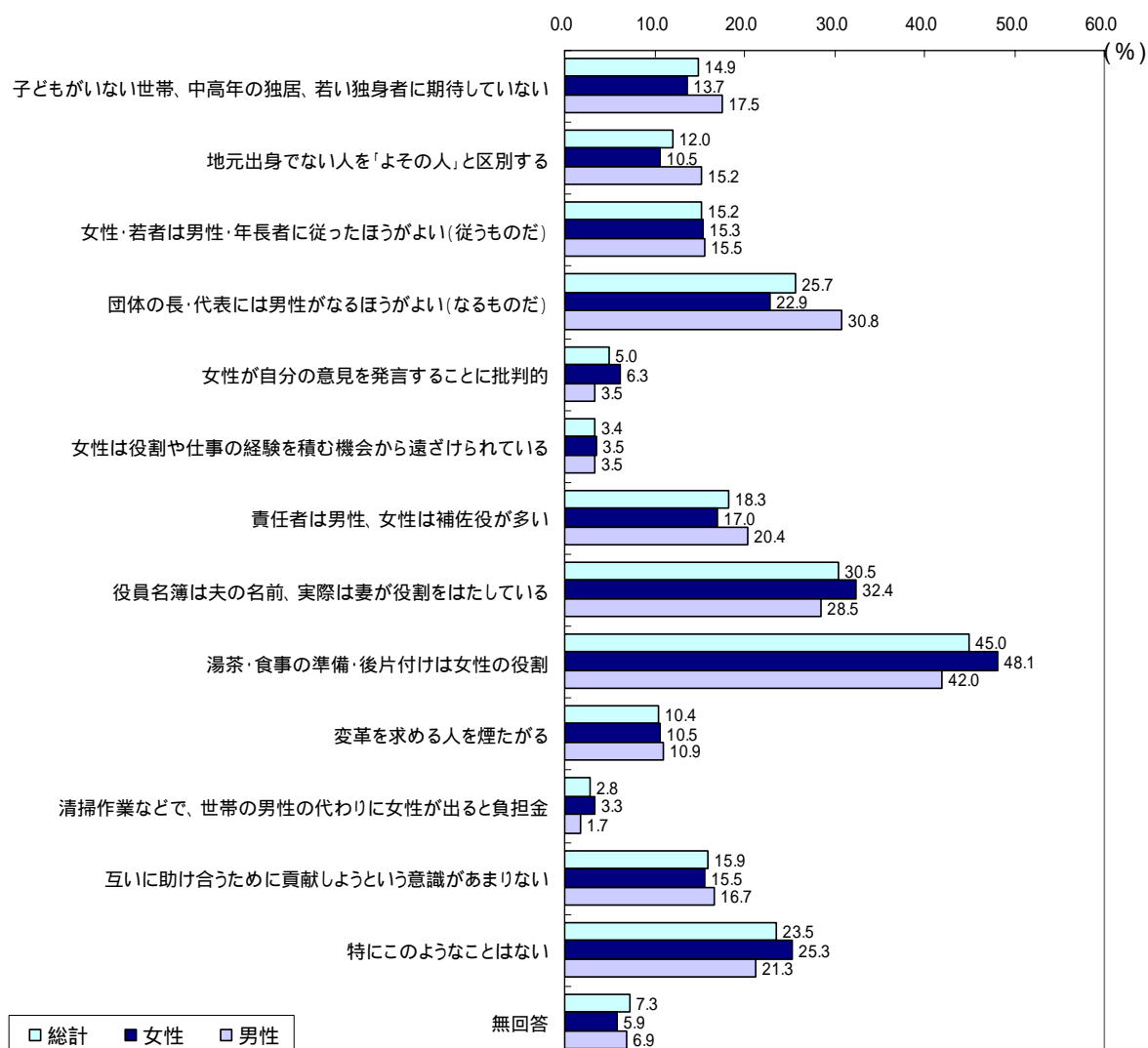
ほとんどの年代で2割以上が「特にこのようなことはない」と回答しているのに対し、40歳代女性14.0%、50歳代男性12.9%と他の年代よりも少ない。

地域社会での男女の地位の平等感の状況別に結果を見ると、「特にこのようなことはない」については、地域社会は「非常に平等である」とする人に回答割合が多く、「全く平等でない」とする人に回答割合が少ない。平等感が低いほど「特にこのようなことはない」の回答は少ない傾向にある。

図表：地域の慣習・しきたりの現状（複数回答）

3 - ( 2 )

( 総計 n = 914 女性 n = 541 男性 n = 348 )



上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上
子どもがいない世帯、中高年の 独居、若い独身者に期待してい ない	女性	7 12.7%	10 20.0%	19 22.1%	22 18.3%	6 5.9%	9 9.2%	1 3.3%
	男性	3 12.0%	10 33.3%	6 17.1%	23 27.1%	11 13.8%	6 10.0%	2 6.1%
地元出身でない人を「よその人」 と区別する	女性	5 9.1%	6 12.0%	15 17.4%	12 10.0%	9 8.9%	8 8.2%	2 6.7%
	男性	5 20.0%	5 16.7%	4 11.4%	10 11.8%	19 23.8%	9 15.0%	1 3.0%
女性・若者は男性・年長者に従 ったほうがよい(従うものだ)	女性	10 18.2%	9 18.0%	17 19.8%	22 18.3%	11 10.9%	11 11.2%	3 10.0%
	男性	6 24.0%	8 26.7%	7 20.0%	13 15.3%	9 11.3%	9 15.0%	2 6.1%
団体の長・代表には男性がなる ほうがよい(なるものだ)	女性	11 20.0%	9 18.0%	15 17.4%	32 26.7%	24 23.8%	23 23.5%	10 33.3%
	男性	5 20.0%	7 23.3%	9 25.7%	28 32.9%	25 31.3%	22 36.7%	11 33.3%
女性が自分の意見を発言するこ とに批判的	女性	1 1.8%	3 6.0%	3 3.5%	13 10.8%	8 7.9%	5 5.1%	1 3.3%
	男性	1 4.0%	2 6.7%	-	4 4.7%	1 1.3%	3 5.0%	1 3.0%
女性は役割や仕事の経験を積む 機会から遠ざけられている	女性	1 1.8%	1 2.0%	4 4.7%	5 4.2%	5 5.0%	2 2.0%	1 3.3%
	男性	3 12.0%	-	-	3 3.5%	2 2.5%	3 5.0%	1 3.0%
責任者は男性、女性は補佐役が 多い	女性	7 12.7%	6 12.0%	13 15.1%	27 22.5%	13 12.9%	19 19.4%	7 23.3%
	男性	2 8.0%	3 10.0%	9 25.7%	16 18.8%	19 23.8%	14 23.3%	8 24.2%
役員名簿は夫の名前、実際は妻 が役割をはたしている	女性	13 23.6%	12 24.0%	43 50.0%	43 35.8%	29 28.7%	30 30.6%	4 13.3%
	男性	3 12.0%	9 30.0%	13 37.1%	35 41.2%	17 21.3%	17 28.3%	5 15.2%
湯茶・食事の準備・後片付けは 女性の役割	女性	21 38.2%	25 50.0%	58 67.4%	61 50.8%	45 44.6%	35 35.7%	15 50.0%
	男性	10 40.0%	11 36.7%	12 34.3%	39 45.9%	37 46.3%	28 46.7%	9 27.3%
変革を求める人を煙たがる	女性	2 3.6%	3 6.0%	11 12.8%	19 15.8%	10 9.9%	9 9.2%	3 10.0%
	男性	5 20.0%	4 13.3%	3 8.6%	13 15.3%	7 8.8%	4 6.7%	2 6.1%
清掃作業などで、世帯の男性の 代わりに女性が出ると負担金	女性	-	-	2 2.3%	6 5.0%	8 7.9%	1 1.0%	1 3.3%
	男性	-	-	1 2.9%	1 1.2%	-	3 5.0%	1 3.0%
互いに助け合うために貢献しよ うという意識があまりない	女性	8 14.6%	5 10.0%	16 18.6%	23 19.2%	14 13.9%	13 13.3%	5 16.7%
	男性	6 24.0%	5 16.7%	2 5.7%	18 21.2%	15 18.8%	10 16.7%	2 6.1%
特にこのようなことはない	女性	17 30.9%	15 30.0%	12 14.0%	26 21.7%	31 30.7%	27 27.6%	9 30.0%
	男性	6 24.0%	7 23.3%	9 25.7%	11 12.9%	19 23.8%	14 23.3%	8 24.2%
無回答	女性	5 9.1%	2 4.0%	2 2.3%	6 5.0%	3 3.0%	13 13.3%	1 3.3%
	男性	3 12.0%	3 10.0%	4 11.4%	4 4.7%	2 2.5%	3 5.0%	5 15.2%
回答者数	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

### (3) 地域の課題として重要だと思うこと

地域の課題として重要だと思うことについては、「地震、台風、火災などへのしっかりとした防災・災害復興対策」が30.2%で最も多い。次いで「地域の高齢者への支援や見守り」25.7%、「誰もが参加しやすい地域活動の検討」24.3%と同程度で続く。「地域内の外国人への支援」は回答がない。

男女別に見ると、「車椅子やベビーカーで外出しやすいまちづくり」が必要と回答した割合は、男性よりも女性のほうに多く、男性の約2倍である。

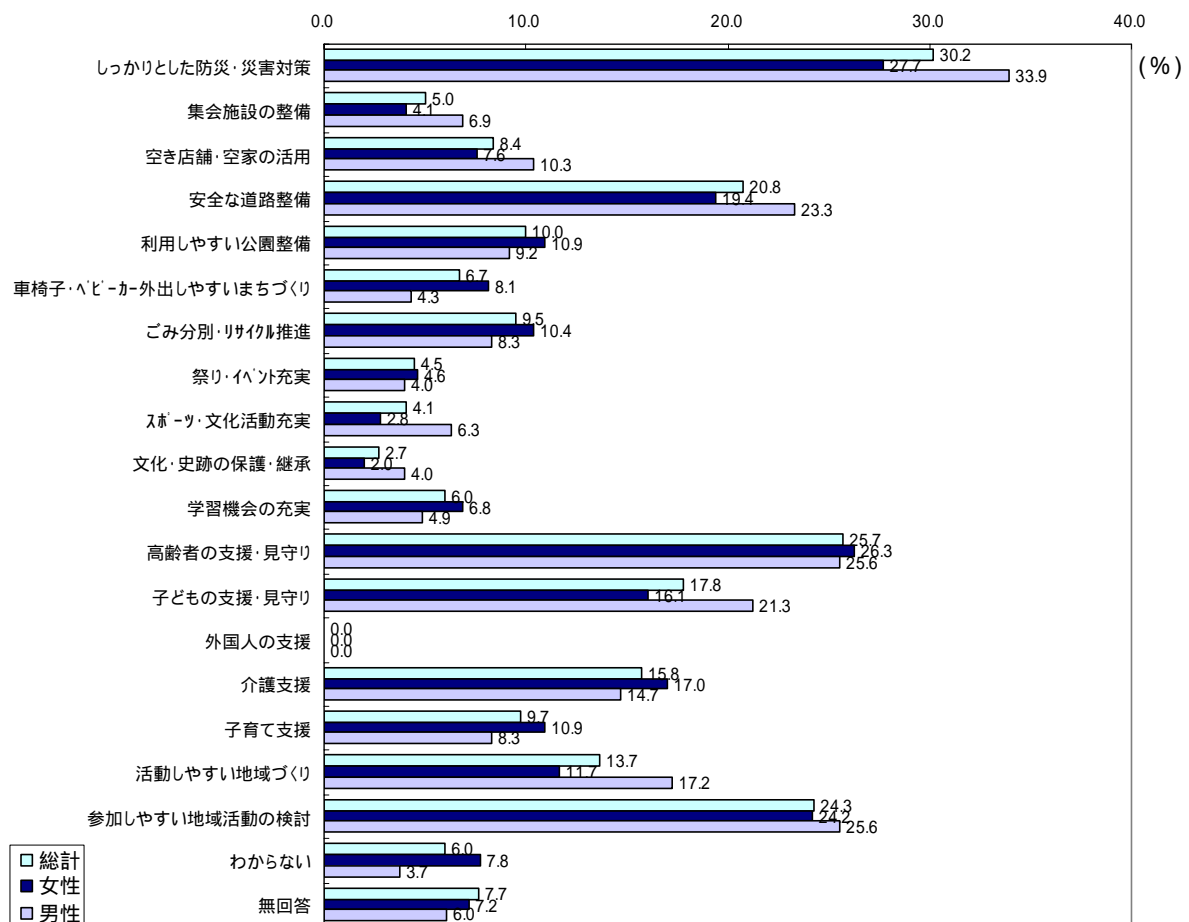
年代別に見ると、「地震、台風、火災などへのしっかりとした防災・災害復興対策」は、どの年代でも1位か2位である。

「利用しやすい公園の整備」は30歳代女性で、「地域の高齢者への支援や見守り」は60歳代以上で、「地域の子どもたちへの支援や見守り」は40歳代男性で、「誰もが参加しやすい地域活動の検討」は50～70歳代が多い。また、80歳以上女性では「地域の高齢者への支援や見守り」が56.7%と多い。年代や性別によって関心の高い項目が異なる。

図表：地域の課題として重要だと思うこと（複数回答）

3 - (3)

(総計 n = 914 女性 n = 541 男性 n = 348)



上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
しっかりとした防災・災害対策	女性	17 30.9%	12 24.0%	22 25.6%	28 23.3%	27 26.7%	35 35.7%	9 30.0%
	男性	7 28.0%	8 26.7%	11 31.4%	25 29.4%	31 38.8%	19 31.7%	17 51.5%
集会施設の整備	女性	1 1.8%	1 2.0%	8 9.3%	5 4.2%	4 4.0%	1 1.0%	1 3.3%
	男性	-	3 10.0%	3 8.6%	5 5.9%	7 8.8%	5 8.3%	1 3.0%
空き店舗・空家の活用	女性	4 7.3%	4 8.0%	7 8.1%	12 10.0%	7 6.9%	5 5.1%	2 6.7%
	男性	2 8.0%	5 16.7%	3 8.6%	13 15.3%	6 7.5%	4 6.7%	3 9.1%
安全な道路整備	女性	14 25.5%	12 24.0%	16 18.6%	18 15.0%	25 24.8%	15 15.3%	5 16.7%
	男性	9 36.0%	7 23.3%	10 28.6%	16 18.8%	20 25.0%	12 20.0%	7 21.2%
利用しやすい公園整備	女性	10 18.2%	14 28.0%	10 11.6%	9 7.5%	9 8.9%	6 6.1%	1 3.3%
	男性	2 8.0%	4 13.3%	2 5.7%	8 9.4%	6 7.5%	6 10.0%	4 12.1%
車椅子・ベビーカー外出しやすいまちづくり	女性	8 14.6%	5 10.0%	9 10.5%	5 4.2%	8 7.9%	8 8.2%	1 3.3%
	男性	2 8.0%	2 6.7%	2 5.7%	2 2.4%	2 2.5%	2 3.3%	3 9.1%
ごみ分別・リサイクル推進	女性	5 9.1%	-	6 7.0%	14 11.7%	13 12.9%	11 11.2%	7 23.3%
	男性	5 20.0%	2 6.7%	4 11.4%	3 3.5%	7 8.8%	5 8.3%	3 9.1%
祭り・イベント充実	女性	6 10.9%	3 6.0%	5 5.8%	5 4.2%	5 5.0%	1 1.0%	-
	男性	5 20.0%	3 10.0%	-	4 4.7%	1 1.3%	1 1.7%	-
スポーツ・文化活動充実	女性	3 5.5%	2 4.0%	3 3.5%	3 2.5%	2 2.0%	2 2.0%	-
	男性	4 16.0%	3 10.0%	2 5.7%	6 7.1%	5 6.3%	1 1.7%	1 3.0%
文化・史跡の保護・継承	女性	-	-	2 2.3%	3 2.5%	2 2.0%	3 3.1%	1 3.3%
	男性	2 8.0%	1 3.3%	1 2.9%	5 5.9%	2 2.5%	3 5.0%	-
学習機会の充実	女性	3 5.5%	3 6.0%	4 4.7%	14 11.7%	7 6.9%	5 5.1%	1 3.3%
	男性	-	1 3.3%	2 5.7%	6 7.1%	4 5.0%	2 3.3%	2 6.1%
高齢者の支援・見守り	女性	12 21.8%	6 12.0%	13 15.1%	24 20.0%	33 32.7%	37 37.8%	17 56.7%
	男性	2 8.0%	2 6.7%	6 17.1%	20 23.5%	23 28.8%	24 40.0%	12 36.4%
子どもの支援・見守り	女性	13 23.6%	11 22.0%	15 17.4%	11 9.2%	17 16.8%	16 16.3%	4 13.3%
	男性	1 4.0%	9 30.0%	13 37.1%	19 22.4%	19 23.8%	9 15.0%	4 12.1%
外国人の支援	女性	-	-	-	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
介護支援	女性	7 12.7%	8 16.0%	19 22.1%	18 15.0%	17 16.8%	19 19.4%	4 13.3%
	男性	3 12.0%	3 10.0%	5 14.3%	12 14.1%	15 18.8%	9 15.0%	4 12.1%
子育て支援	女性	12 21.8%	17 34.0%	9 10.5%	6 5.0%	8 7.9%	5 5.1%	2 6.7%
	男性	4 16.0%	2 6.7%	3 8.6%	5 5.9%	5 6.3%	9 15.0%	1 3.0%

上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
活動しやすい地域づくり	女性	4 7.3%	3 6.0%	8 9.3%	19 15.8%	20 19.8%	7 7.1%	2 6.7%
	男性	3 12.0%	8 26.7%	6 17.1%	14 16.5%	18 22.5%	7 11.7%	4 12.1%
参加しやすい地域活動の検討	女性	8 14.6%	9 18.0%	17 19.8%	33 27.5%	34 33.7%	26 26.5%	4 13.3%
	男性	4 16.0%	7 23.3%	12 34.3%	23 27.1%	23 28.8%	17 28.3%	3 9.1%
わからない	女性	5 9.1%	4 8.0%	6 7.0%	12 10.0%	6 5.9%	5 5.1%	4 13.3%
	男性	2 8.0%	3 10.0%	-	4 4.7%	1 1.3%	2 3.3%	1 3.0%
無回答	女性	1 1.8%	2 4.0%	8 9.3%	10 8.3%	4 4.0%	13 13.3%	1 3.3%
	男性	1 4.0%	1 3.3%	1 2.9%	6 7.1%	5 6.3%	4 6.7%	3 9.1%
回答者数	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

## 4 . 人権について

### ( 1 ) さまざまな場での平等感

「家庭生活」「働く場」「集落・公民館などの地域社会」の場で男女は平等になっているかについては、「家庭生活」では「かなり平等になっている」、「働く場」と「集落、公民館などの地域社会」では「少し平等になっている」が多い。「家庭生活」「働く場」では、「かなり平等になっている」と「少し平等になっている」が同程度であるが、「集落、公民館などの地域社会」では「少し平等になっている」が 35.2%と最も多く、「かなり平等になっている」は 23.1%と 12.1 ポイントの開きがある。また、「家庭生活」では、「全く平等になっていない」が 6.6%と、すべての項目の中で最も多い。

男女別に見ると、3項目とも、「かなり平等になっている」は女性よりも男性のほうに多い。「家庭生活」ではその差は 10.8 ポイントである。また、すべての項目で「あまり平等になっていない」は男性よりも女性のほうに多い。「平均」\*を見ると、すべての項目で、女性よりも男性のほうで平等感が強い傾向にある。

年代別に見ると、「集落、公民館などの地域社会」では、20～50 歳代の男女共に「非常に平等になっている」と「かなり平等になっている」を合わせた「平等になっている」とする割合がすべての項目の中で最も少ない。特に 30 歳代女性で「あまり平等になっていない」が 50.0%と最も多い。また、70 歳代以上では、「平等になっていない」とする割合が少なく、3項目とも 1 割程度である。

同様の調査を行っている志布志市、いちき串木野市の 2 市と比較すると、「家庭生活」「働く場」では、「かなり平等になっている」の割合が 2 市よりも多く、「地域社会」では「あまり平等になっていない」の割合が少ない。

図表：他の自治体との比較（志布志市(H18) n = 1216 いちき串木野市(H18) n = 1062）

		非常に平等	かなり平等	少し平等	あまり平等でない	全く平等でない	無回答
生活 家庭	指宿市	9.9%	30.5%	27.2%	18.5%	6.6%	7.3%
	志布志市	6.7%	26.4%	27.1%	21.7%	6.1%	12.0%
	いちき串木野市	10.1%	26.6%	28.3%	21.2%	6.7%	7.1%
場 働く	指宿市	6.4%	26.3%	27.9%	20.8%	3.8%	14.9%
	志布志市	3.7%	19.0%	27.3%	23.1%	4.4%	22.5%
	いちき串木野市	4.3%	19.5%	23.7%	20.3%	6.6%	25.5%
社会 地域	指宿市	6.6%	23.1%	35.2%	21.0%	4.7%	9.4%
	志布志市	5.0%	19.6%	32.3%	24.6%	6.3%	12.3%
	いちき串木野市	5.6%	22.9%	28.0%	25.7%	7.0%	10.8%

\* 「平均」：下記のように各選択肢を得点化する方式により算出している。

問 18 の場合

非常に平等になっている・・・5

かなり平等になっている・・・4

少し平等になっている・・・3

あまり平等になっていない・・・2

全く平等になっていない・・・1

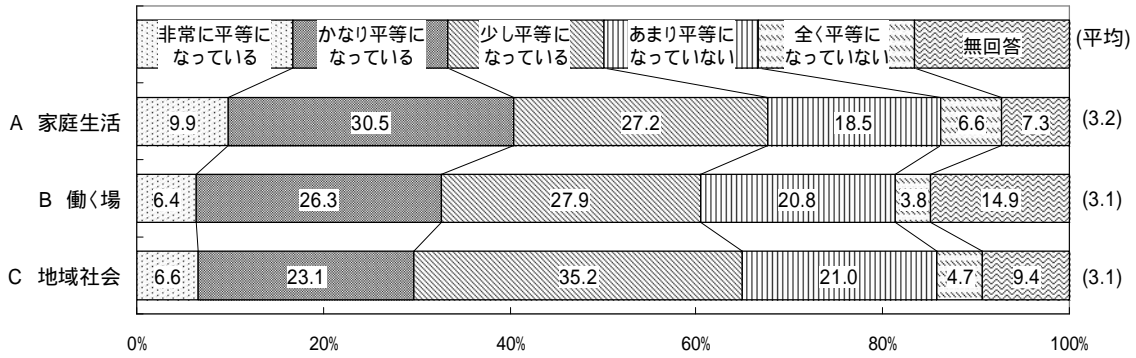
各選択肢に設定した得点と、それぞれに回答した人数を掛け合わせ、回答総数で割ったものが「平均」である。問 18 の場合、平均の数値が高いほど平等感が強いことを示す。



図表：それぞれの項目において男女の地位は平等になっているか

4 - ( 1 )

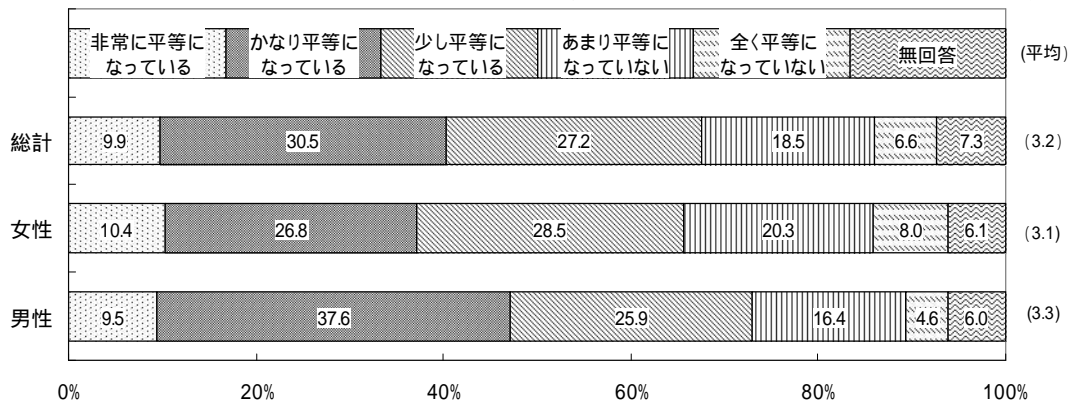
( n = 914 )



図表：家庭生活

4 - ( 1 ) - A

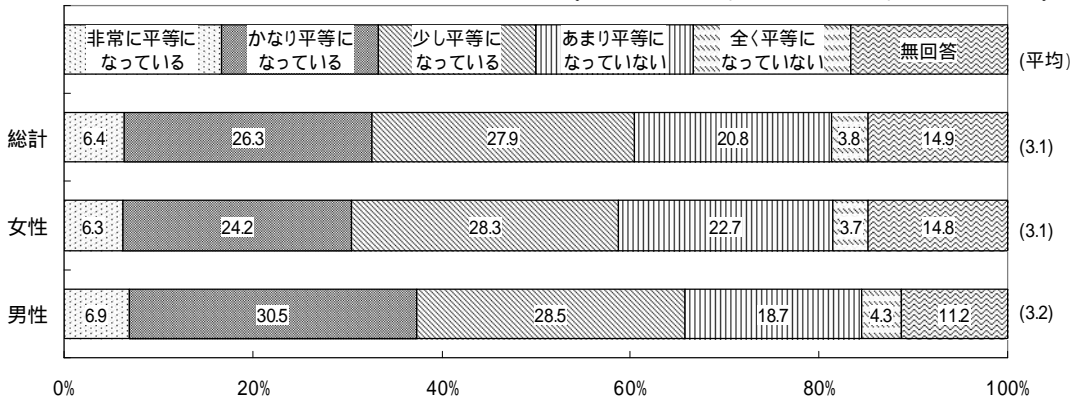
( 総計 n = 914 , 女性 n = 541 , 男性 n = 348 )



図表：働く場

4 - ( 1 ) - B

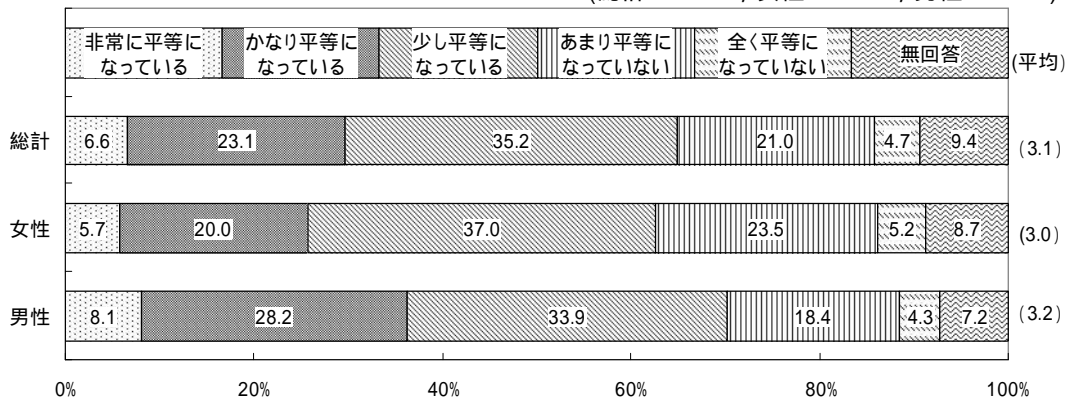
( 総計 n = 914 , 女性 n = 541 , 男性 n = 348 )



図表：地域社会

4 - ( 1 ) - C

( 総計 n = 914 , 女性 n = 541 , 男性 n = 348 )



## A 家庭生活

男女別に見ると、「あまり平等になっていない」と「全く平等になっていない」は、男性よりも女性に多い。なお、女性では「全く平等になっていない」が8.0%と、すべての項目中で最も多い。

年代別に見ると、「非常に平等になっている」は、80歳以上男性で18.2%と最も多く、40歳代女性で2.3%と最も少ない。「あまり平等になっていない」と「全く平等になっていない」を合わせた「平等になっていない」とする割合は、30歳代女性で40.0%と最も多く、80歳以上男性で9.1%と最も少ない。40歳代では男女ともに「全く平等になっていない」が約14%と他の年代よりも多い。一方、30歳代男性・80歳以上女性では「全く平等になっていない」の回答がない。

## B 働く場

男女別に見ると、「かなり平等になっている」は、女性24.2%、男性30.5%と男性のほうに多い。

年代別に見ると、「あまり平等になっていない」と「全く平等になっていない」を合わせた「平等になっていない」とする割合は、30～40歳代女性・40～50歳代男性ではほぼ3割である。30歳代女性で32.0%と最も多い。「全く平等になっていない」は、30歳代男性10.0%、50歳代女性6.7%、40歳代女性5.8%、の順で多い。また、70歳以上では無回答が3割を超える。

## C 集落、公民館などの地域社会

男女別に見ると、「かなり平等になっている」は女性では20.0%、男性では28.2%と男性に多い。

年代別に見ると、年代が若いほど「非常に平等になっている」と「かなり平等になっている」の割合が少ない傾向がある。「非常に平等になっている」は80歳以上男性で15.2%と最も多く、40歳代女性で2.3%と最も少ない。また、「あまり平等になっていない」と「全く平等になっていない」を合わせた割合は、30歳代女性52.0%、30歳代男性40.0%と多く、80歳以上男性で9.1%と最も少ない。「全く平等になっていない」は30歳代男性で13.3%、40歳代女性で10.5%、20歳代女性で9.1%の順で多い。

社会貢献の意欲の状況別（問15）に結果を見ると、社会に貢献したいと「非常に思う」「かなり思う」と回答した人は、「平等になっている」とする割合が多く、一方で、社会に貢献したいと「あまりそう思わない」女性は、「平等になっていない」とする割合が多い。

		上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
A 家庭生活	非常に平等	女性	5 9.1%	6 12.0%	2 2.3%	15 12.5%	13 12.9%	14 14.3%	1 3.3%
		男性	1 4.0%	1 3.3%	4 11.4%	5 5.9%	10 12.5%	6 10.0%	6 18.2%
	かなり平等	女性	12 21.8%	11 22.0%	19 22.1%	34 28.3%	30 29.7%	29 29.6%	10 33.3%
		男性	10 40.0%	11 36.7%	9 25.7%	30 35.3%	33 41.3%	25 41.7%	13 39.4%
	少し平等	女性	22 40.0%	12 24.0%	33 38.4%	27 22.5%	26 25.7%	25 25.5%	9 30.0%
		男性	6 24.0%	11 36.7%	9 25.7%	25 29.4%	23 28.8%	10 16.7%	6 18.2%
	あまり平等でない	女性	10 18.2%	18 36.0%	18 20.9%	29 24.2%	18 17.8%	11 11.2%	5 16.7%
		男性	7 28.0%	6 20.0%	8 22.9%	15 17.7%	11 13.8%	8 13.3%	2 6.1%
	全く平等でない	女性	6 10.9%	2 4.0%	12 14.0%	12 10.0%	9 8.9%	2 2.0%	-
		男性	1 4.0%	-	5 14.3%	6 7.1%	2 2.5%	1 1.7%	1 3.0%
	無回答	女性	-	1 2.0%	2 2.3%	3 2.5%	5 5.0%	17 17.4%	5 16.7%
		男性	-	1 3.3%	-	4 4.7%	1 1.3%	10 16.7%	5 15.2%
	合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
		男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%
	平均	女性	3.0	3.0	2.8	3.1	3.2	3.5	3.3
		男性	3.1	3.2	3.0	3.2	3.5	3.5	3.8

		上段：度数 下段：構成比	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
B 働く場	非常に平等	女性	4 7.3%	7 14.0%	4 4.7%	8 6.7%	7 6.9%	2 2.0%	2 6.7%
		男性	1 4.0%	1 3.3%	2 5.7%	7 8.2%	9 11.3%	3 5.0%	1 3.0%
	かなり平等	女性	14 25.5%	11 22.0%	23 26.7%	32 26.7%	22 21.8%	23 23.5%	6 20.0%
		男性	9 36.0%	12 40.0%	12 34.3%	21 24.7%	25 31.3%	15 25.0%	12 36.4%
	少し平等	女性	20 36.4%	16 32.0%	30 34.9%	37 30.8%	23 22.8%	20 20.4%	7 23.3%
		男性	8 32.0%	8 26.7%	11 31.4%	25 29.4%	22 27.5%	15 25.0%	10 30.3%
	あまり平等でない	女性	14 25.5%	16 32.0%	21 24.4%	25 20.8%	26 25.7%	15 15.3%	5 16.7%
		男性	5 20.0%	5 16.7%	8 22.9%	22 25.9%	16 20.0%	7 11.7%	2 6.1%
	全く平等でない	女性	1 1.8%	-	5 5.8%	8 6.7%	4 4.0%	2 2.0%	-
		男性	1 4.0%	3 10.0%	2 5.7%	3 3.5%	4 5.0%	2 3.3%	-
	無回答	女性	2 3.6%	-	3 3.5%	10 8.3%	19 18.8%	36 36.7%	10 33.3%
		男性	1 4.0%	1 3.3%	-	7 8.2%	4 5.0%	18 30.0%	8 24.2%
	合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
		男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%
	平均	女性	3.1	3.2	3.0	3.1	3.0	3.1	3.3
		男性	3.2	3.1	3.1	3.1	3.3	3.2	3.5

		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上	
C 集落、公民館などの地域社会	非常に平等	女性	2 3.6%	3 6.0%	2 2.3%	4 3.3%	10 9.9%	10 10.2%	-
		男性	-	1 3.3%	2 5.7%	6 7.1%	7 8.8%	7 11.7%	5 15.2%
	かなり平等	女性	5 9.1%	6 12.0%	9 10.5%	24 20.0%	21 20.8%	32 32.7%	11 36.7%
		男性	9 36.0%	7 23.3%	9 25.7%	15 17.7%	26 32.5%	20 33.3%	12 36.4%
	少し平等	女性	28 50.9%	13 26.0%	40 46.5%	46 38.3%	35 34.7%	27 27.6%	10 33.3%
		男性	10 40.0%	9 30.0%	12 34.3%	33 38.8%	29 36.3%	17 28.3%	8 24.2%
	あまり平等でない	女性	13 23.6%	25 50.0%	24 27.9%	28 23.3%	18 17.8%	15 15.3%	4 13.3%
		男性	2 8.0%	8 26.7%	10 28.6%	20 23.5%	16 20.0%	5 8.3%	3 9.1%
	全く平等でない	女性	5 9.1%	1 2.0%	9 10.5%	7 5.8%	5 5.0%	-	1 3.3%
		男性	2 8.0%	4 13.3%	1 2.9%	6 7.1%	1 1.3%	1 1.7%	-
	無回答	女性	2 3.6%	2 4.0%	2 2.3%	11 9.2%	12 11.9%	14 14.3%	4 13.3%
		男性	2 8.0%	1 3.3%	1 2.9%	5 5.9%	1 1.3%	10 16.7%	5 15.2%
	合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
		男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%
	平均	女性	2.7	2.7	2.7	2.9	3.1	3.4	3.2
		男性	3.1	2.8	3.0	2.9	3.3	3.5	3.7

「C 集落、公民館などの地域社会」と社会貢献の意欲について（問15）とのクロス集計

		非常にそ う思う	かなりそ う思う	少しそ う思う	あまり思 わない	全く思わ ない	合計
非常に平等	女性	6 20.7%	7 24.1%	12 41.4%	3 10.3%	1 3.5%	29 100.0%
	男性	8 28.6%	6 21.4%	10 35.7%	4 14.3%	-	28 100.0%
かなり平等	女性	9 8.6%	20 19.1%	57 54.3%	15 14.3%	4 3.8%	105 100.0%
	男性	11 11.7%	29 30.9%	46 48.9%	8 8.5%	-	94 100.0%
少し平等	女性	12 6.1%	31 15.7%	120 60.9%	31 15.7%	3 1.5%	197 100.0%
	男性	8 6.9%	27 23.3%	60 51.7%	17 14.7%	4 3.5%	116 100.0%
あまり平等でない	女性	5 4.0%	10 7.9%	75 59.5%	34 27.0%	2 1.6%	126 100.0%
	男性	7 10.9%	20 31.3%	27 42.2%	9 14.1%	1 1.6%	64 100.0%
全く平等でない	女性	3 11.1%	2 7.4%	13 48.2%	5 18.5%	4 14.8%	27 100.0%
	男性	1 6.7%	-	10 66.7%	4 26.7%	-	15 100.0%

(2) 学校教育における男女平等意識の醸成の妨げについて

学校教育における男女平等意識の醸成の妨げになることについては、「非常にそう思う」では「A 性別により進路指導をすること」12.7%、「E 『男らしく』『女らしく』ふるまうように言うこと」12.8%と同程度が多い。「かなりそう思う」「少しそう思う」を加えると後者は49.8%となり全項目中最も多い。一方、「全くそうは思わない」では、「C ランドセルや学習用具など、男女の色分けがされていること」が21.6%と最も多い。

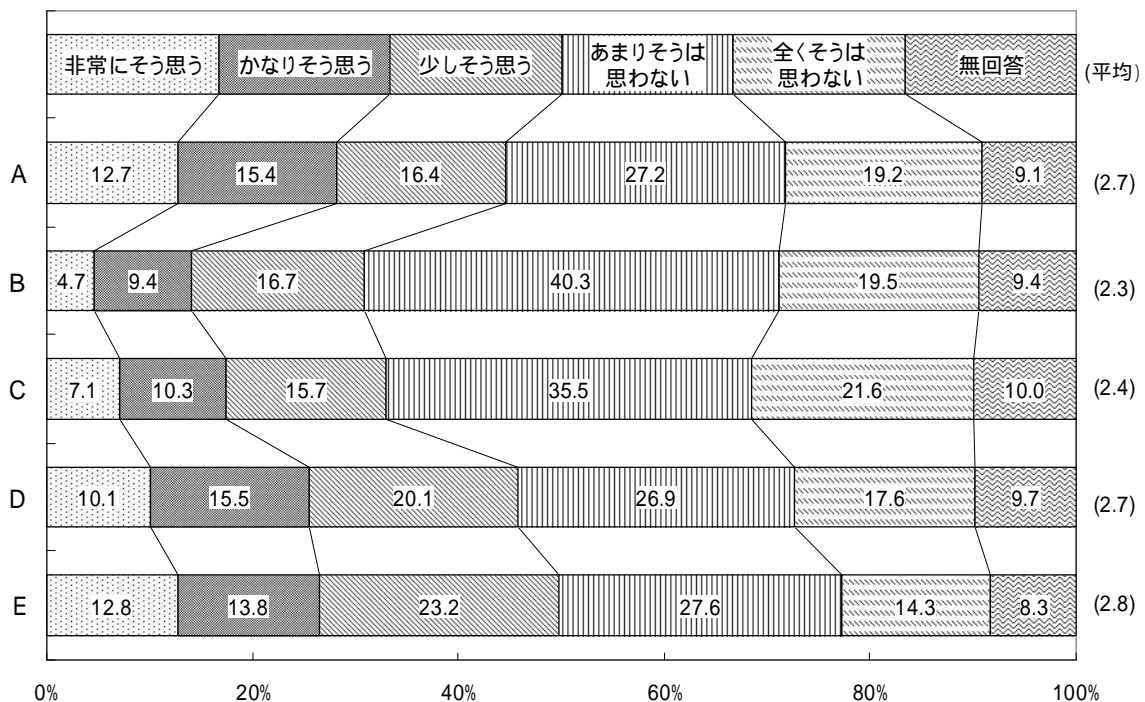
男女別に見てもあまり違いはない。

年代別に見ると、「A 性別により進路指導すること」「D 生徒会や学級委員等の選出を性別により固定化していること」では、年代が低いほど、「非常にそう思う」「かなりそう思う」「少しそう思う」「(「そう思う」)の割合が多い傾向にある。

図表：学校教育における男女平等意識の醸成の妨げになるか

4 - (2)

(n = 914)



- A 性別により進路指導をすること(例：男子は理系，女子は文系，就職指導で女子の職種を限定するなど)
- B 名簿，整列，点呼など男女別になっていること(例：男子が先，女子が後)
- C ランドセルや学習用具など，男女の色分けがされていること
- D 生徒会や学級委員等の選出を性別により固定化していること(例：委員長は男子，副委員長は女子)
- E 「男らしく」「女らしく」ふるまうように言うこと

**A** 性別により進路指導をすること〔例：男子は理系，女子は文系，就職指導で女子の職種を限定するなど〕

「あまりそうは思わない」が 27.2%と最も多く、「全くそうは思わない」と合わせると 46.4%である。一方、「そう思う」という意見も 44.5%である。年代別に見ると、「そう思う」は、30 歳代女性で約 7 割，20・40 歳代女性で約 6 割と多い。20～30 歳代・50 歳代男性も 5 割を超える。また，20 歳代男性・30 歳代女性で「非常にそう思う」が 3 割前後と他の年代よりも多い。

**B** 名簿，整列，点呼など男女別になっていること（例：男子が先，女子が後）

「あまりそうは思わない」が 40.3%と最も多く、「全くそうは思わない」と合わせると 59.8%である。一方、「そう思う」も 30.8%である。年代別に見ると、「そう思う」は，20 歳代女性，30～40 歳代・70 歳代男性で 4 割を超える。

**C** ランドセルや学習用具など，男女の色分けがされていること

「あまりそうは思わない」が 35.5%と最も多く、「全くそうは思わない」と合わせると 57.1%である。一方、「そう思う」も 33.1%である。

**D** 生徒会や学級委員等の選出を性別により固定化していること(例：委員長は男子，副委員長は女子)

「あまりそうは思わない」が 26.9%と最も多く、「全くそうは思わない」と合わせると 45.7%である。一方で、「そう思う」も 45.7%である。年代別に見ると，20～40 歳代の男女と 50 歳代男性で「そう思う」が 5 割を超え，20～30 歳代女性で約 6 割，30 歳代男性で 7 割である。特に 30 歳代男性では「非常にそう思う」が 40.0%と他の年代よりも多い。

**E** 「男らしく」「女らしく」ふるまうように言うこと

「あまりそうは思わない」が 27.6%と最も多いが、「少しそう思う」も 23.2%とあまり大きな差はない。「あまりそうは思わない」と「全くそうは思わない」を合わせると 41.9%であるが、「そう思う」が 49.8%と上回る。また、「そう思う」の割合は他の項目よりも多い。年代別に見ると，20～40 歳代・60～70 歳代女性と 50 歳代以上の男性で、「そう思う」が 5 割を超える。

		女性						
A 性別により進路指導をすること(例:男子は理系、女子は文系、就職指導)	上段:度数 下段:構成比	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80歳以上
	非常に思う	11 20.0%	14 28.0%	15 17.4%	12 10.0%	8 7.9%	5 5.1%	2 6.7%
	かなり思う	13 23.6%	12 24.0%	16 18.6%	17 14.2%	8 7.9%	9 9.2%	5 16.7%
	少し思う	10 18.2%	10 20.0%	20 23.3%	16 13.3%	15 14.9%	21 21.4%	2 6.7%
	あまり思わない	15 27.3%	7 14.0%	20 23.3%	43 35.8%	33 32.7%	30 30.6%	11 36.7%
	全く思わない	5 9.1%	5 10.0%	14 16.3%	28 23.3%	25 24.8%	20 20.4%	5 16.7%
	無回答	1 1.8%	2 4.0%	1 1.2%	4 3.3%	12 11.9%	13 13.3%	5 16.7%
	合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
	平均	3.2	3.5	3.0	2.5	2.3	2.4	2.5
			男性					
上段:度数 下段:構成比	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80歳以上	
非常に思う	8 32.0%	7 23.3%	8 22.9%	15 17.7%	7 8.8%	1 1.7%	3 9.1%	
かなり思う	2 8.0%	5 16.7%	5 14.3%	16 18.8%	17 21.3%	10 16.7%	4 12.1%	
少し思う	4 16.0%	5 16.7%	3 8.6%	17 20.0%	15 18.8%	10 16.7%	1 3.0%	
あまり思わない	8 32.0%	6 20.0%	12 34.3%	17 20.0%	17 21.3%	14 23.3%	12 36.4%	
全く思わない	3 12.0%	7 23.3%	6 17.1%	18 21.2%	20 25.0%	11 18.3%	7 21.2%	
無回答	- -	- -	1 2.9%	2 2.4%	4 5.0%	14 23.3%	6 18.2%	
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	
平均	3.2	3.0	2.9	2.9	2.7	2.5	2.4	
		女性						
B 名簿 整列 点呼など男女別になっていること(例:男子が先、女子が後)	上段:度数 下段:構成比	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80歳以上
	非常に思う	1 1.8%	3 6.0%	5 5.8%	5 4.2%	3 3.0%	2 2.0%	2 6.7%
	かなり思う	3 5.5%	1 2.0%	9 10.5%	7 5.8%	12 11.9%	15 15.3%	2 6.7%
	少し思う	20 36.4%	8 16.0%	11 12.8%	14 11.7%	14 13.9%	19 19.4%	3 10.0%
	あまり思わない	23 41.8%	23 46.0%	38 44.2%	60 50.0%	43 42.6%	38 38.8%	14 46.7%
	全く思わない	8 14.6%	14 28.0%	22 25.6%	29 24.2%	17 16.8%	8 8.2%	3 10.0%
	無回答	- -	1 2.0%	1 1.2%	5 4.2%	12 11.9%	16 16.3%	6 20.0%
	合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
	平均	2.4	2.1	2.3	2.1	2.3	2.6	2.4
			男性					
上段:度数 下段:構成比	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80歳以上	
非常に思う	- -	3 10.0%	2 5.7%	4 4.7%	5 6.3%	7 11.7%	1 3.0%	
かなり思う	1 4.0%	3 10.0%	3 8.6%	10 11.8%	8 10.0%	7 11.7%	4 12.1%	
少し思う	4 16.0%	6 20.0%	11 31.4%	13 15.3%	14 17.5%	10 16.7%	3 9.1%	
あまり思わない	12 48.0%	5 16.7%	14 40.0%	40 47.1%	27 33.8%	16 26.7%	12 36.4%	
全く思わない	8 32.0%	13 43.3%	5 14.3%	16 18.8%	22 27.5%	5 8.3%	7 21.2%	
無回答	- -	- -	- -	2 2.4%	4 5.0%	15 25.0%	6 18.2%	
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	
平均	1.9	2.3	2.5	2.3	2.3	2.9	2.3	

女性		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
C ランドセルや学習用具など、男女の色分けがされていること	上段：度数 下段：構成比								
	非常に思う	2 3.6%	6 12.0%	3 3.5%	8 6.7%	8 7.9%	7 7.1%	2 6.7%	
	かなり思う	5 9.1%	4 8.0%	5 5.8%	8 6.7%	13 12.9%	14 14.3%	3 10.0%	
	少し思う	12 21.8%	8 16.0%	16 18.6%	21 17.5%	10 9.9%	15 15.3%	6 20.0%	
	あまり思わない	29 52.7%	16 32.0%	42 48.8%	47 39.2%	32 31.7%	28 28.6%	10 33.3%	
	全く思わない	7 12.7%	14 28.0%	19 22.1%	30 25.0%	27 26.7%	16 16.3%	3 10.0%	
	無回答	-	2 4.0%	1 1.2%	6 5.0%	11 10.9%	18 18.4%	6 20.0%	
	合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	平均	2.4	2.4	2.2	2.3	2.4	2.6	2.6	
	男性		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
		非常に思う	-	5 16.7%	3 8.6%	3 3.5%	4 5.0%	10 16.7%	4 12.1%
		かなり思う	-	1 3.3%	1 2.9%	11 12.9%	14 17.5%	6 10.0%	7 21.2%
		少し思う	5 20.0%	4 13.3%	9 25.7%	12 14.1%	12 15.0%	7 11.7%	4 12.1%
		あまり思わない	10 40.0%	9 30.0%	12 34.3%	40 47.1%	23 28.8%	14 23.3%	10 30.3%
全く思わない		10 40.0%	11 36.7%	9 25.7%	17 20.0%	22 27.5%	9 15.0%	2 6.1%	
無回答		-	-	1 2.9%	2 2.4%	5 6.3%	14 23.3%	6 18.2%	
合計		25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	
平均		1.8	2.3	2.3	2.3	2.4	2.9	3.0	

女性		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
D 生徒会や学級委員等の選出を性別により固定化していること（例：委員長は男子、副委員長は女子）	上段：度数 下段：構成比								
	非常に思う	8 14.6%	8 16.0%	6 7.0%	7 5.8%	7 6.9%	3 3.1%	1 3.3%	
	かなり思う	11 20.0%	13 26.0%	18 20.9%	17 14.2%	14 13.9%	12 12.2%	3 10.0%	
	少し思う	15 27.3%	10 20.0%	25 29.1%	29 24.2%	13 12.9%	20 20.4%	4 13.3%	
	あまり思わない	15 27.3%	10 20.0%	21 24.4%	39 32.5%	38 37.6%	24 24.5%	11 36.7%	
	全く思わない	5 9.1%	8 16.0%	14 16.3%	23 19.2%	19 18.8%	21 21.4%	5 16.7%	
	無回答	1 1.8%	1 2.0%	2 2.3%	5 4.2%	10 9.9%	18 18.4%	6 20.0%	
	合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	平均	3.0	3.1	2.8	2.5	2.5	2.4	2.3	
	男性		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
		非常に思う	5 20.0%	12 40.0%	5 14.3%	12 14.1%	9 11.3%	7 11.7%	2 6.1%
		かなり思う	3 12.0%	1 3.3%	6 17.1%	18 21.2%	13 16.3%	7 11.7%	3 9.1%
		少し思う	6 24.0%	8 26.7%	8 22.9%	19 22.4%	13 16.3%	8 13.3%	4 12.1%
		あまり思わない	4 16.0%	5 16.7%	9 25.7%	23 27.1%	23 28.8%	10 16.7%	12 36.4%
全く思わない		7 28.0%	4 13.3%	6 17.1%	10 11.8%	18 22.5%	13 21.7%	6 18.2%	
無回答		-	-	1 2.9%	3 3.5%	4 5.0%	15 25.0%	6 18.2%	
合計		25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	
平均		2.8	3.4	2.9	3.0	2.6	2.7	2.4	



		女性							
E	「男らしく」「女らしく」 なる言ひをする	上段：度数	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
		下段：構成比	歳	歳	歳	歳	歳	歳	
		非常に思う	7	6	5	8	17	11	4
			12.7%	12.0%	5.8%	6.7%	16.8%	11.2%	13.3%
		かなり思う	8	5	11	9	14	20	5
			14.6%	10.0%	12.8%	7.5%	13.9%	20.4%	16.7%
		少し思う	13	15	29	31	24	27	4
			23.6%	30.0%	33.7%	25.8%	23.8%	27.6%	13.3%
		あまり思わない	20	15	28	41	24	18	10
			36.4%	30.0%	32.6%	34.2%	23.8%	18.4%	33.3%
全く思わない	6	8	11	26	13	10	2		
	10.9%	16.0%	12.8%	21.7%	12.9%	10.2%	6.7%		
無回答	1	1	2	5	9	12	5		
	1.8%	2.0%	2.3%	4.2%	8.9%	12.2%	16.7%		
合計	55	50	86	120	101	98	30		
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
平均	2.8	2.7	2.7	2.4	3.0	3.0	3.0		
		男性							
E	「男らしく」「女らしく」 なる言ひをする	上段：度数	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
		下段：構成比	歳	歳	歳	歳	歳	歳	
		非常に思う	1	5	3	15	13	15	7
			4.0%	16.7%	8.6%	17.7%	16.3%	25.0%	21.2%
		かなり思う	5	1	5	13	14	6	6
			20.0%	3.3%	14.3%	15.3%	17.5%	10.0%	18.2%
		少し思う	5	5	7	19	12	13	7
			20.0%	16.7%	20.0%	22.4%	15.0%	21.7%	21.2%
		あまり思わない	5	12	15	24	21	13	5
			20.0%	40.0%	42.9%	28.2%	26.3%	21.7%	15.2%
全く思わない	9	7	4	12	17	2	2		
	36.0%	23.3%	11.4%	14.1%	21.3%	3.3%	6.1%		
無回答	-	-	1	2	3	11	6		
	-	-	2.9%	2.4%	3.8%	18.3%	18.2%		
合計	25	30	35	85	80	60	33		
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
平均	2.4	2.5	2.6	2.9	2.8	3.4	3.4		

### (3) セクシュアル・ハラスメントの被害

セクシュアル・ハラスメントの被害経験については、すべての項目で「経験がある」「経験はないが、見聞きしたことはある」との回答がある。

全体では「経験がある」「経験はないが、見聞きしたことはある」が最も多い項目は、「A 容姿・年齢・結婚などについて、あれこれと話題にされた」(「経験がある」18.1%、「経験はないが、見聞きしたことがある」38.7%)である。次いで「D 性的な冗談やひわいなことを話題にされた」(経験がある 14.7% 経験はないが、見聞きしたことがある 32.2%)、「C 宴会などでお酌・デュエット・ダンスなどを強要された」(経験がある 14.3% 経験はないが、見聞きしたことがある 29.7%)と続く。

男女別に見ると、「経験がある」と回答した割合は、ほとんどの項目で男性よりも女性のほうに多い。「経験がある」と回答した割合を見ると、女性では、「A 容姿・年齢・結婚などについて、あれこれと話題にされた」(21.6%)で最も多い。次いで「C 宴会などでお酌・デュエット・ダンスなどを強要された」(20.3%)、「D 性的な冗談やひわいなことを話題にされた」(19.2%)と続く。男性では、「A 容姿・年齢・結婚などについて、あれこれと話題にされた」(13.8%)で最も多いが、他の項目は1割に満たない。

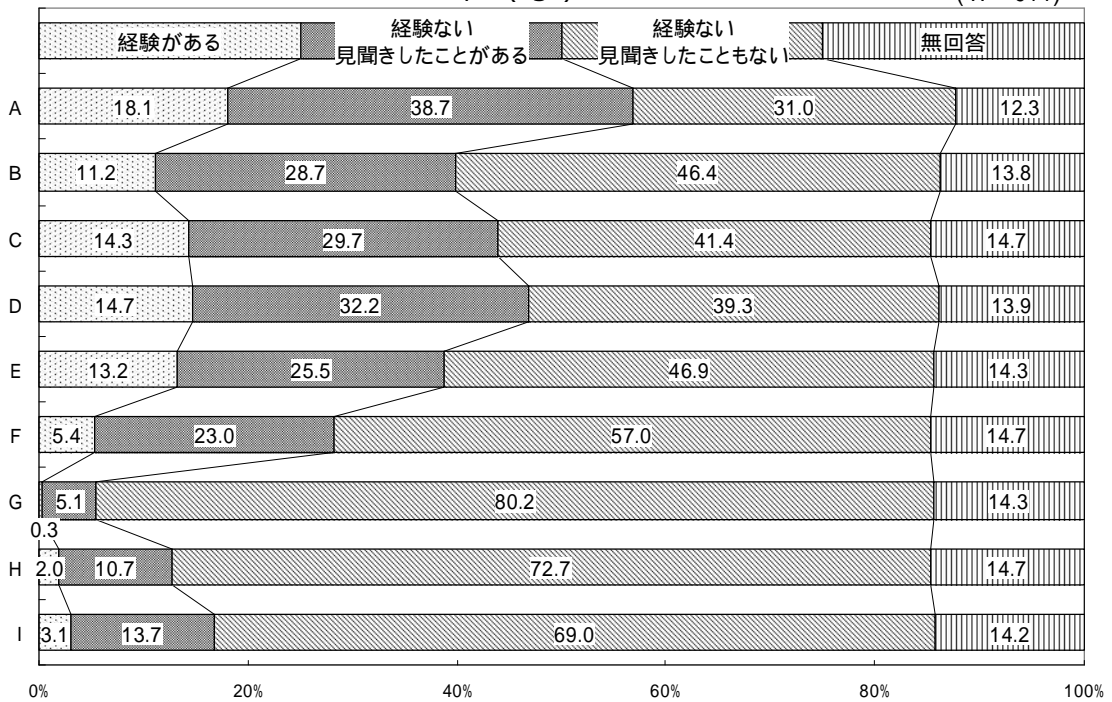
年代別に見ると、どの項目においても、年代が高いほど「経験がある」の割合は少なく、無回答の割合が多い傾向にある。また、ほとんどの項目について「経験がある」と回答した割合が最も多いのは30歳代女性である。

「A 容姿・年齢・結婚などについて、あれこれと話題にされた」以外のすべての項目で、「経験も、見聞きしたこともない」の回答が最も多い。無回答もすべての項目で12~15%である。70歳代以上で無回答の割合が多い。

図表：セクシュアル・ハラスメントの被害経験等の有無

4 - (3)

(n = 914)



A	容姿・年齢・結婚などについて、あれこれと話題にされた	F	しつこく交際を求められた
B	からだをじろじろ見られた	G	職場でヌードポスターなどを貼られた
C	宴会などでお酌・デュエット・ダンスなどを強要された	H	地位を利用して性的な関係を迫られた
D	性的な冗談やひわいなことを話題にされた	I	性的なうわさを流された
E	異性にわざと体をさわられた		

**A 容姿・年齢・結婚などについて、あれこれと話題にされた**

「経験がある」と回答した割合が最も多いのは、30歳代女性で56.0%と、すべての項目の中で最も多い。次いで、20歳代男性44.0%、20歳代女性36.4%、40歳代女性31.4%、40歳代男性28.6%と続く。20～50歳代男性でも「経験がある」と回答した割合がすべての項目の中で最も多い。

**B からだをじろじろ見られた**

「経験がある」と回答した割合は、女性15.5%、男性5.2%と、女性では男性の約3倍である。20～30歳代女性で約3割、40～50歳代女性で約2割が「経験がある」と回答している。一方、男性では、どの年代も1割未満である。

**C 宴会などでお酌・デュエット・ダンスなどを強要された**

「経験がある」と回答した割合は、女性20.3%、男性6.0%と、女性では男性の3倍以上である。30歳代女性で38.0%と最も多い。40歳代女性で約3割、20歳代・50～60歳代女性で約2割が「経験がある」と回答している。一方、男性では、「経験がある」と回答した割合は、40歳代の11.4%が最も多いが、他の年代では1割以下である。

**D 性的な冗談やひわいなことを話題にされた**

「経験がある」と回答した割合は、30歳代女性で42.0%と最も多い。次いで40歳代女性で31.4%、20歳代女性で27.3%と続く。また、20歳代男性でも24.0%である。

**E 異性にわざと体をさわられた**

「経験がある」と回答した割合は、30歳代女性で38.0%と最も多い。20歳代・40歳代女性で約3割、50歳代女性で約2割、20～40歳代男性の1割以上が「経験がある」と回答している。

**F しつこく交際を求められた**

「経験がある」と回答した割合は、女性8.5%、男性0.9%と、女性のほうに多い。女性では「経験がある」と回答した割合が20～30歳代で約15%と他の年代よりも多い。また、女性ではすべての年代で「経験がある」との回答があるが、男性では60歳代のみである。

**G 職場でヌードポスターなどを貼られた**

すべての項目の中で、この項目のみ、「経験がある」と回答した割合が、女性よりも男性のほうに多い。また、「経験がある」(0.3%)と「経験はないが、見聞きしたことがある」(5.1%)の回答割合が、すべての項目の中で最も少ない。

**H 地位を利用して性的な関係を迫られた**

「経験がある」(2.0%)、「経験はないが、見聞きしたことがある」(10.7%)の回答割合が他の項目と比較して少ない。

男女共に「経験がある」との回答があるものの、「経験も、見聞きしたこともない」の割合が7割を超える。

**I 性的なうわさを流された**

「経験がある」(3.1%)、「経験はないが、見聞きしたことがある」(13.7%)の回答割合が他の項目と比較して少ない。

「経験がある」と回答した割合は、30歳代女性で8.0%と最も多く、次いで、20歳代女性7.3%、30歳代男性6.7%と続く。

「経験がある」の回答があるものの、「経験も、見聞きしたこともない」が69.0%である。

A 容姿・年齢・結婚などについて と話題にされた あれこれ	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	経験がある	女性	20 36.4%	28 56.0%	27 31.4%	25 20.8%	8 7.9%	6 6.1%	3 10.0%
		男性	11 44.0%	5 16.7%	10 28.6%	12 14.1%	7 8.8%	2 3.3%	1 3.0%
	経験ない・うわさ あり	女性	22 40.0%	14 28.0%	31 36.1%	49 40.8%	44 43.6%	35 35.7%	7 23.3%
		男性	7 28.0%	15 50.0%	14 40.0%	45 52.9%	42 52.5%	15 25.0%	9 27.3%
	経験ない・うわさ なし	女性	13 23.6%	7 14.0%	24 27.9%	39 32.5%	35 34.7%	42 42.9%	13 43.3%
		男性	7 28.0%	9 30.0%	10 28.6%	21 24.7%	24 30.0%	22 36.7%	14 42.4%
	無回答	女性	- -	1 2.0%	4 4.7%	7 5.8%	14 13.9%	15 15.3%	7 23.3%
		男性	- -	1 3.3%	1 2.9%	7 8.2%	7 8.8%	21 35.0%	9 27.3%
	合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
		男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

B からだをじろじろ見られた	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	経験がある	女性	15 27.3%	15 30.0%	18 20.9%	23 19.2%	8 7.9%	4 4.1%	1 3.3%
		男性	1 4.0%	2 6.7%	3 8.6%	5 5.9%	5 6.3%	1 1.7%	1 3.0%
	経験ない・うわさ あり	女性	23 41.8%	14 28.0%	30 34.9%	37 30.8%	26 25.7%	13 13.3%	5 16.7%
		男性	9 36.0%	11 36.7%	14 40.0%	29 34.1%	32 40.0%	14 23.3%	4 12.1%
	経験ない・うわさ なし	女性	17 30.9%	20 40.0%	33 38.4%	52 43.3%	54 53.5%	61 62.2%	15 50.0%
		男性	15 60.0%	15 50.0%	17 48.6%	43 50.6%	35 43.8%	23 38.3%	19 57.6%
	無回答	女性	- -	1 2.0%	5 5.8%	8 6.7%	13 12.9%	20 20.4%	9 30.0%
		男性	- -	2 6.7%	1 2.9%	8 9.4%	8 10.0%	22 36.7%	9 27.3%
	合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
		男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

C 宴会などでお酌・デューエット・ダンスなどを 強要された	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	経験がある	女性	11 20.0%	19 38.0%	27 31.4%	25 20.8%	18 17.8%	8 8.2%	2 6.7%
		男性	2 8.0%	2 6.7%	4 11.4%	5 5.9%	8 10.0%	- -	- -
	経験ない・うわさ あり	女性	18 32.7%	13 26.0%	25 29.1%	40 33.3%	23 22.8%	25 25.5%	5 16.7%
		男性	6 24.0%	14 46.7%	15 42.9%	37 43.5%	34 42.5%	10 16.7%	5 15.2%
	経験ない・うわさ なし	女性	26 47.3%	17 34.0%	30 34.9%	45 37.5%	47 46.5%	46 46.9%	14 46.7%
		男性	17 68.0%	12 40.0%	14 40.0%	33 38.8%	29 36.3%	25 41.7%	18 54.6%
	無回答	女性	- -	1 2.0%	4 4.7%	10 8.3%	13 12.9%	19 19.4%	9 30.0%
		男性	- -	2 6.7%	2 5.7%	10 11.8%	9 11.3%	25 41.7%	10 30.3%
	合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
		男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

D	上段：度数 下段：構成比		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
性的な冗談やひわいなことを話題にされた	経験がある	女性	15 27.3%	21 42.0%	27 31.4%	23 19.2%	13 12.9%	3 3.1%	2 6.7%
		男性	6 24.0%	4 13.3%	4 11.4%	9 10.6%	5 6.3%	1 1.7%	- -
	経験ない・うわさあり	女性	18 32.7%	12 24.0%	23 26.7%	47 39.2%	28 27.7%	23 23.5%	6 20.0%
		男性	6 24.0%	10 33.3%	19 54.3%	40 47.1%	35 43.8%	15 25.0%	9 27.3%
	経験ない・うわさなし	女性	22 40.0%	16 32.0%	32 37.2%	43 35.8%	46 45.5%	52 53.1%	14 46.7%
		男性	13 52.0%	14 46.7%	10 28.6%	28 32.9%	31 38.8%	22 36.7%	14 42.4%
無回答		女性	- -	1 2.0%	4 4.7%	7 5.8%	14 13.9%	20 20.4%	8 26.7%
		男性	- -	2 6.7%	2 5.7%	8 9.4%	9 11.3%	22 36.7%	10 30.3%
合計		女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
		男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

E	上段：度数 下段：構成比		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
異性にわざと体をさわられた	経験がある	女性	15 27.3%	19 38.0%	27 31.4%	26 21.7%	11 10.9%	3 3.1%	- -
		男性	3 12.0%	3 10.0%	4 11.4%	4 4.7%	6 7.5%	- -	- -
	経験ない・うわさあり	女性	14 25.5%	14 28.0%	24 27.9%	36 30.0%	24 23.8%	16 16.3%	4 13.3%
		男性	2 8.0%	10 33.3%	14 40.0%	32 37.7%	27 33.8%	9 15.0%	6 18.2%
	経験ない・うわさなし	女性	26 47.3%	16 32.0%	30 34.9%	52 43.3%	53 52.5%	58 59.2%	17 56.7%
		男性	20 80.0%	15 50.0%	15 42.9%	40 47.1%	37 46.3%	29 48.3%	17 51.5%
無回答		女性	- -	1 2.0%	5 5.8%	6 5.0%	13 12.9%	21 21.4%	9 30.0%
		男性	- -	2 6.7%	2 5.7%	9 10.6%	10 12.5%	22 36.7%	10 30.3%
合計		女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
		男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

F	上段：度数 下段：構成比		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
しつこく交際を求められた	経験がある	女性	8 14.6%	8 16.0%	9 10.5%	11 9.2%	6 5.9%	2 2.0%	2 6.7%
		男性	- -	- -	- -	- -	3 3.8%	- -	- -
	経験ない・うわさあり	女性	12 21.8%	19 38.0%	31 36.1%	32 26.7%	18 17.8%	18 18.4%	2 6.7%
		男性	5 20.0%	7 23.3%	13 37.1%	25 29.4%	18 22.5%	5 8.3%	3 9.1%
	経験ない・うわさなし	女性	35 63.6%	22 44.0%	42 48.8%	70 58.3%	63 62.4%	57 58.2%	16 53.3%
		男性	20 80.0%	21 70.0%	20 57.1%	52 61.2%	47 58.8%	32 53.3%	20 60.6%
無回答		女性	- -	1 2.0%	4 4.7%	7 5.8%	14 13.9%	21 21.4%	10 33.3%
		男性	- -	2 6.7%	2 5.7%	8 9.4%	12 15.0%	23 38.3%	10 30.3%
合計		女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%
		男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

G	職場でヌードポスターなどを貼られた	上段：度数 下段：構成比		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
				歳	歳	歳	歳	歳	歳	
経験がある	女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性	-	-	1	1	1	1	1	5	-
経験ない・うわさあり	女性	3	2	6	7	1	1	1	5	-
	男性	1	-	3	5	11	3	3	-	-
経験ない・うわさなし	女性	52	47	76	105	87	72	21	21	9
	男性	24	28	29	72	58	34	23	23	10
無回答	女性	-	1	4	8	13	21	30.0%	30.0%	10
	男性	-	2	2	7	10	23	38.3%	38.3%	33.3%
合計	女性	55	50	86	120	101	98	30	30	10
	男性	25	30	35	85	80	60	33	33	10
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

H	地位を利用して性的な関係を迫られた	上段：度数 下段：構成比		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
				歳	歳	歳	歳	歳	歳	
経験がある	女性	4	3	4	5	-	-	-	-	1
	男性	-	1	-	-	-	-	-	-	-
経験ない・うわさあり	女性	4	8	7	15	9	9	9	1	1
	男性	3	2	5	13	13	6	6	1	1
経験ない・うわさなし	女性	47	38	71	92	79	67	19	19	19
	男性	22	25	28	64	56	31	21	21	21
無回答	女性	-	1	4	8	13	22	30.0%	30.0%	11
	男性	-	2	2	8	11	23	38.3%	38.3%	33.3%
合計	女性	55	50	86	120	101	98	30	30	10
	男性	25	30	35	85	80	60	33	33	10
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

I	性的なうわさを流された	上段：度数 下段：構成比		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
				歳	歳	歳	歳	歳	歳	
経験がある	女性	4	4	4	5	3	2	1	1	1
	男性	-	2	-	1	2	-	-	-	-
経験ない・うわさあり	女性	2	12	11	22	7	12	2	2	2
	男性	4	2	9	16	17	6	2	2	2
経験ない・うわさなし	女性	49	33	67	86	77	62	19	19	19
	男性	21	24	24	61	51	31	21	21	21
無回答	女性	-	1	4	7	14	22	30.0%	30.0%	11
	男性	-	2	2	7	10	23	38.3%	38.3%	33.3%
合計	女性	55	50	86	120	101	98	30	30	10
	男性	25	30	35	85	80	60	33	33	10
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

#### (4) 配偶者等からの暴力に対する認識

配偶者等からの暴力に対する認識については、ほとんどの項目で「どんな場合も暴力にあたると思う」の割合が多い。しかし、この割合が最も多い項目でも9割を超えない。この割合が多い項目は、「E 刃物などを突きつけて、おどす」、「C 身体を傷つける可能性のあるものでなくる」で、その割合は約8割である。「F 嫌がっているのに性的な行為を強要する」、「B 足でける」では約7割、「M 家に生活費を入れない」では約6割、「A 平手で打つ」、「G 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」、「J 『誰のおかげで生活できるんだ』とか『かいしょうなし』とか言う」では約5割、それ以外の項目では4割以下である。

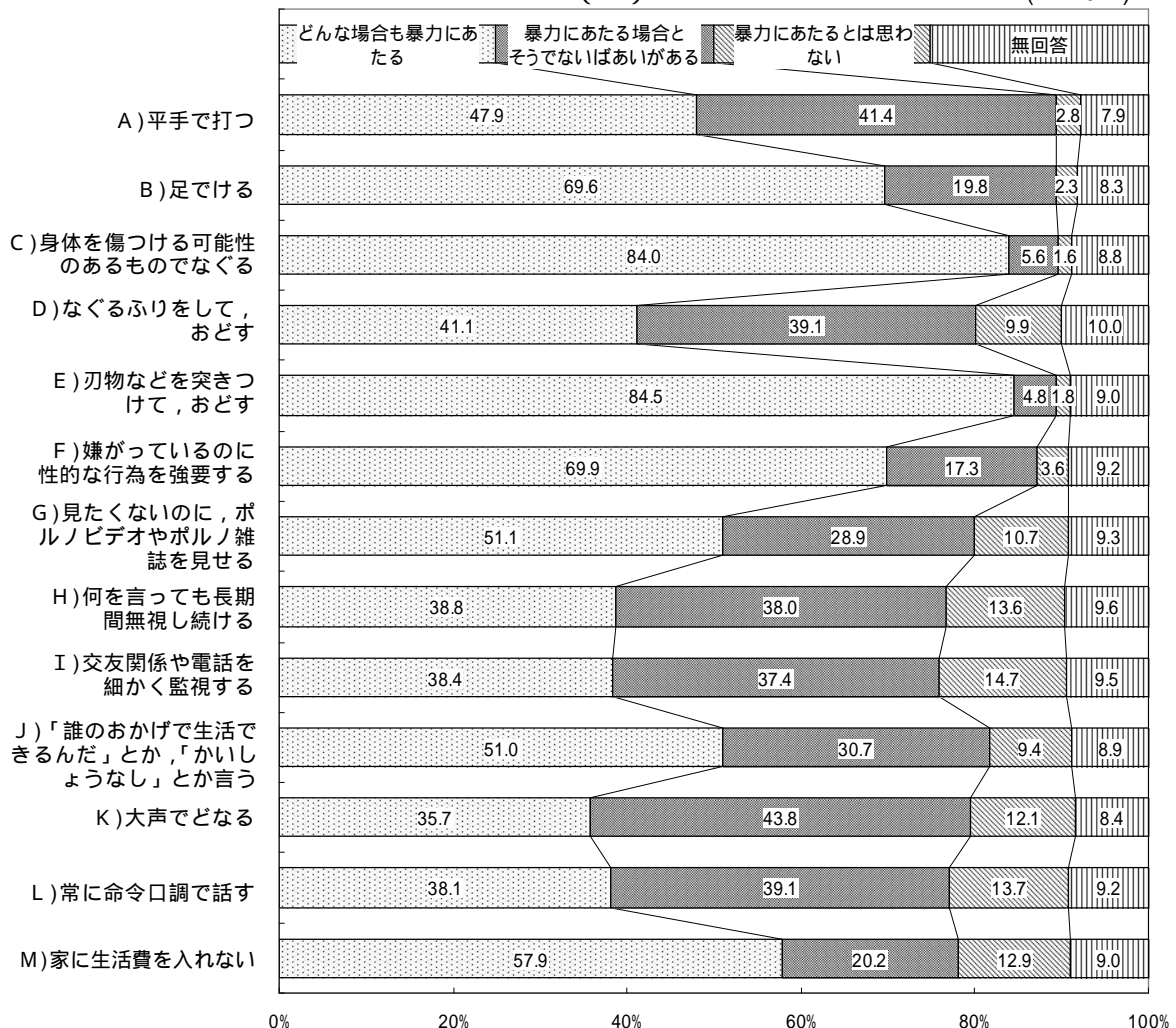
一方、「K 大声でどなる」、「L 常に命令口調で話す」では、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」が「どんな場合も暴力にあたると思う」を上回りその差は10ポイント前後である。

また、すべての項目で「暴力にあたるとは思わない」の回答があり、「I 交友関係や電話を細かく監視する」で14.7%と最も多く、「L 常に命令口調で話す」13.7%、「H 何を言っても長期間無視し続ける」13.6%と続く。これらの項目は暴力ではないとの認識を持つ人が14%程度いる。

年代別に見ると、すべての項目で、30～40歳代での「暴力にあたるとは思わない」の割合が多い。また、年代が高いほど無回答が多くなる傾向がある。

国調査の結果と比較すると、「どんな場合も暴力にあたると思う」については、ほとんどの項目で、国よりも少ない。特に、「A 平手で打つ」、「B 足でける」、「C 身体を傷つける可能性のあるものでなくる」、「E 刃物などを突きつけて、おどす」の身体的暴力に関する項目でこの傾向がある。

図表：それぞれの項目について配偶者等の親しい男女の間で行われた場合、暴力であるか  
4 - (4) (n = 914)



図表：国との比較（国＝内閣府(H17)男女間における暴力に関する調査 n = 2888）

		どんな場合も暴力にあたる	暴力の場合と、そうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
A 平手で打つ	指宿市	47.9%	41.4%	2.8%	7.9%
	国	56.9%	37.0%	2.6%	3.6%
B 足でける	指宿市	69.6%	19.8%	2.3%	8.3%
	国	79.2%	15.6%	1.5%	3.7%
C 身体を傷つける可能性のあるものでなく	指宿市	84.0%	5.6%	1.6%	8.8%
	国	92.1%	2.8%	1.4%	3.7%
D なくるふりをして、おどす	指宿市	41.1%	39.1%	9.9%	10.0%
	国	49.0%	38.6%	7.9%	4.5%
E 刃物などを突きつけて、おどす	指宿市	84.5%	4.8%	1.8%	9.0%
	国	91.2%	3.6%	1.5%	3.6%
F 嫌がっているのに性的な行為を強要する	指宿市	69.9%	17.3%	3.6%	9.2%
	国	69.1%	23.1%	3.6%	4.2%
G 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	指宿市	51.1%	28.9%	10.7%	9.3%
	国	51.8%	32.4%	10.8%	5.0%
H 何を言っても長期間無視し続ける	指宿市	38.8%	38.0%	13.6%	9.6%
	国	41.2%	39.1%	15.1%	4.5%
I 交友関係や電話を細かく監視する	指宿市	38.4%	37.4%	14.7%	9.5%
	国	37.6%	41.2%	16.2%	5.0%
J 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」とか言う	指宿市	51.0%	30.7%	9.4%	8.9%
	国	45.6%	37.6%	12.5%	4.4%
K 大声でどなる	指宿市	35.7%	43.8%	12.1%	8.4%
	国	37.2%	47.2%	11.8%	3.8%

#### A 平手で打つ

「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合は 47.9%と最も多いが、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」は 41.4%とあまり差がない。20 歳代男女では、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」が 6 割を超える。「暴力にあたるとは思わない」の割合は、80 歳以上女性で 6.7%と最も多く、40 歳代女性で 0.0%と最も少ない。

#### B 足でける

「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合は 69.6%である。この割合は、50 歳代女性で 80.8%と最も多く、70 歳代男性で 51.7%と最も少ない。

男女とも 20 歳代では、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」と回答している人が他の年代に比べて多く、女性で 30.9%、男性で 32.0%となっている。

#### C 身体を傷つける可能性のあるものでなく

「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合は 84.0%である。この割合は、30 歳代女性で 96.0%と最も多く、80 歳以上女性で 60.0%と最も少ない。「暴力にあたるとは思わない」では、20～40 歳代男女・80 歳以上男性では回答がなかった。一方、50～70 歳代男女・80 歳以上女性では、暴力にはあたらないとの回答がある。

#### D なくるふりをして、おどす

「どんな場合も暴力にあたると思う」が 41.1%、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」が 39.1%と同程度である。20 歳代男性では、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」と回答した割合が 56.0%で他の年代よりも多く、「どんな場合も暴力にあたると思う」(44.0%)を上回る。

20 歳代と 80 歳以上の男性以外のすべての年代で暴力にはあたらないとの回答がある。「暴力にあたるとは思わない」と回答している人が 50 歳代以上の女性と 60～70 歳代男性では 10%を超え、60 歳代男性で 16.3%と最も多い。



#### E 刃物などを突きつけて、おどす

「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答している割合は全項目中で最も多いが84.5%である。女性の20～40歳代と男性の20～50歳代では9割以上である。

「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」との回答は4.8%と全項目中で最も少ないが、30歳代女性・40歳代男性以外のすべての年代で回答がある。また、「暴力にあたるとは思わない」についても、30歳代男女以外のすべての年代で回答がある。

#### F 嫌がっているのに性的な行為を強要する

「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答している割合は69.9%である。男女ともに、20歳代・40歳代で8割を超える。

「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」はすべての年代で回答があり、30歳代女性と50～60歳代男性で2割を超える。「暴力にあたるとは思わない」については、20歳代男性・30歳代女性・80歳以上男性以外のすべての年代で回答がある。

#### G 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答している割合は51.1%と半数程度である。

「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」はすべての年代で25%以上の回答があり、20歳代で33.8%と最も多い。

「暴力にあたるとは思わない」は20歳代男性以外のすべての年代で回答があり、30歳代男性で20%と最も多く、60歳代女性17.8%と続く。20歳代女性・50～70歳代男女で1割を超える。

#### H 何を言っても長期間無視し続ける

「どんな場合も暴力にあたると思う」が38.8%、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」が38.0%と同程度である。年代別に見ても、「どんな場合も暴力にあたると思う」は40歳代男女で最も多いが半数程度である。

「暴力にあたるとは思わない」は、すべての年代で回答があり、60歳代女性で24.8%と最も多い。

#### I 交友関係や電話を細かく監視する

「どんな場合も暴力にあたると思う」が38.4%、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」が37.4%と同程度である。年代別に見ても、「どんな場合も暴力にあたると思う」は30～40歳代男性と50歳代女性で他の年代よりも多いが半数程度である。

「暴力にあたるとは思わない」は全項目中で最も多く、すべての年代で回答がある。20～30歳代・60歳代女性と、30歳代男性で2割を超える。

#### J 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」とか言う

「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合は51.0%と半数程度である。「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」と回答した割合は、女性27.4%、男性36.2%で男性のほうに多い。20歳代男性で44.0%と最も多い。

「暴力にあたるとは思わない」は、40歳代男性以外のすべての年代で回答がある。60歳代女性で最も多く20.8%である。

#### K 大声でどなる

「どんな場合も暴力にあたると思う」は35.7%と全項目中で最も少なく、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」が43.8%と上回る。「どんな場合も暴力にあたると思う」では、女性39.2%、男性32.2%と女性のほうに多い。「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」の割合は、20歳代男性で68.0%と最も多い。また、40歳代女性と40～60歳代・80歳以上の男性で5割を超える。

「暴力にあたるとは思わない」は、すべての年代で回答があり、30歳代男性・60歳代女性で2割を超える。

### L 常に命令口調で話す

「どんな場合も暴力にあたると思う」が 38.1%、「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」が 39.1%と同程度である。「どんな場合も暴力にあたると思う」が 30 歳代女性で最も多いが 58.0%と 6 割に満たない。「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」は、60 歳代男性で 50.0%と最も多く、最も少ない 30 歳代女性でも 30.0%の回答がある。

「暴力にあたるとは思わない」は、すべての年代で回答があり、30 歳代男性 26.7%、60 歳代女性 24.8%、70 歳代男性 21.7%の順で多い。また、女性では最も少ない 20 歳代で 9.1%であり、他の年代でも 10%を超える。

### M 家に生活費を入れない

「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が 57.9%と 6 割程度である。30 歳代女性で 76.0%と最も多い。「暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う」は、40 歳代男性で最も多く 37.1%である。

「暴力にあたるとは思わない」はすべての年代で回答があり、30 歳代男性、60 歳代女性で 2 割を超える。

A	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	平手で打つ	どんな場合も暴力	女性	18 32.7%	25 50.0%	49 57.0%	67 55.8%	48 47.5%	50 51.0%
男性			9 36.0%	17 56.7%	18 51.4%	42 49.4%	42 52.5%	24 40.0%	20 60.6%
暴力の場合と、そうでない場合がある		女性	36 65.5%	23 46.0%	34 39.5%	45 37.5%	42 41.6%	31 31.6%	14 46.7%
		男性	15 60.0%	12 40.0%	16 45.7%	39 45.9%	33 41.3%	22 36.7%	8 24.2%
暴力にあたらぬ		女性	1 1.8%	1 2.0%	-	5 4.2%	4 4.0%	3 3.1%	2 6.7%
		男性	1 4.0%	1 3.3%	1 2.9%	3 3.5%	3 3.8%	1 1.7%	-
無回答	女性	-	1 2.0%	3 3.5%	3 2.5%	7 6.9%	14 14.3%	7 23.3%	
	男性	-	-	-	1 1.2%	2 2.5%	13 21.7%	5 15.2%	
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

B	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	足でける	どんな場合も暴力	女性	36 65.5%	40 80.0%	67 77.9%	97 80.8%	65 64.4%	64 65.3%
男性			17 68.0%	23 76.7%	25 71.4%	67 78.8%	55 68.8%	31 51.7%	25 75.8%
	暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	17 30.9%	9 18.0%	17 19.8%	17 14.2%	25 24.8%	14 14.3%	3 10.0%
		男性	8 32.0%	7 23.3%	10 28.6%	14 16.5%	20 25.0%	15 25.0%	3 9.1%
	暴力にあたらぬ	女性	2 3.6%	-	-	3 2.5%	4 4.0%	6 6.1%	1 3.3%
		男性	-	-	-	3 3.5%	2 2.5%	-	-
	無回答	女性	-	1 2.0%	2 2.3%	3 2.5%	7 6.9%	14 14.3%	9 30.0%
		男性	-	-	-	1 1.2%	3 3.8%	14 23.3%	5 15.2%
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

C	上段：度数 下段：構成比		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
身体を傷つける可能性のあるものでなくなる	どんな場合も暴力	女性	52	48	78	109	81	75	18
		男性	23	27	33	76	70	44	25
	暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	3	1	5	5	8	5	3
		男性	2	2	2	7	4	2	2
	暴力にあたらない	女性	-	-	-	2	3	3	2
		男性	-	-	-	1	2	2	-
	無回答	女性	-	1	3	4	9	15	7
		男性	-	1	-	1	4	12	6
合計		女性	55	50	86	120	101	98	30
		男性	25	30	35	85	80	60	33
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

D	上段：度数 下段：構成比		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
なぐるふりをして おどす	どんな場合も暴力	女性	28	34	48	59	31	24	5
		男性	11	16	16	37	37	17	9
	暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	22	13	33	42	48	44	12
		男性	14	13	15	38	25	20	15
	暴力にあたらない	女性	5	2	3	12	15	15	4
		男性	-	1	2	7	13	9	-
	無回答	女性	-	1	2	7	7	15	9
		男性	-	-	2	3	5	14	9
合計		女性	55	50	86	120	101	98	30
		男性	25	30	35	85	80	60	33
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

E	上段：度数 下段：構成比		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
刃物などを突きつけて おどす	どんな場合も暴力	女性	53	49	79	105	81	76	18
		男性	24	29	35	79	70	43	23
	暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	2	-	3	6	8	5	3
		男性	1	1	-	3	6	4	1
	暴力にあたらない	女性	-	-	2	4	3	2	2
		男性	-	-	-	1	1	-	1
	無回答	女性	-	1	2	5	9	15	7
		男性	-	-	-	2	3	13	8
合計		女性	55	50	86	120	101	98	30
		男性	25	30	35	85	80	60	33
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

F	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	嫌がっているのに性的な行為を強要する	どんな場合も暴力	女性	45 81.8%	36 72.0%	70 81.4%	90 75.0%	64 63.4%	61 62.2%
男性			21 84.0%	23 76.7%	29 82.9%	60 70.6%	56 70.0%	38 63.3%	23 69.7%
	暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	8 14.6%	13 26.0%	12 14.0%	20 16.7%	20 19.8%	17 17.4%	3 10.0%
		男性	4 16.0%	5 16.7%	5 14.3%	22 25.9%	18 22.5%	5 8.3%	4 12.1%
	暴力にあたらぬ	女性	1 1.8%	-	2 2.3%	7 5.8%	8 7.9%	3 3.1%	2 6.7%
		男性	-	2 6.7%	1 2.9%	1 1.2%	2 2.5%	4 6.7%	-
	無回答	女性	1 1.8%	1 2.0%	2 2.3%	3 2.5%	9 8.9%	17 17.4%	9 30.0%
		男性	-	-	-	2 2.4%	4 5.0%	13 21.7%	6 18.2%
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

G	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌	どんな場合も暴力	女性	31 56.4%	31 62.0%	46 53.5%	69 57.5%	43 42.6%	40 40.8%
男性			15 60.0%	18 60.0%	25 71.4%	50 58.8%	44 55.0%	25 41.7%	14 42.4%
	暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	17 30.9%	17 34.0%	32 37.2%	29 24.2%	33 32.7%	28 28.6%	6 20.0%
		男性	10 40.0%	6 20.0%	9 25.7%	25 29.4%	22 27.5%	15 25.0%	12 36.4%
	暴力にあたらぬ	女性	6 10.9%	1 2.0%	6 7.0%	16 13.3%	18 17.8%	13 13.3%	2 6.7%
		男性	-	6 20.0%	1 2.9%	9 10.6%	10 12.5%	7 11.7%	1 3.0%
	無回答	女性	1 1.8%	1 2.0%	2 2.3%	6 5.0%	7 6.9%	17 17.4%	10 33.3%
		男性	-	-	-	1 1.2%	4 5.0%	13 21.7%	6 18.2%
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

H	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	何を言っても長期間無視し続ける	どんな場合も暴力	女性	25 45.5%	25 50.0%	45 52.3%	55 45.8%	28 27.7%	33 33.7%
男性			12 48.0%	15 50.0%	18 51.4%	28 32.9%	35 43.8%	17 28.3%	8 24.2%
	暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	23 41.8%	17 34.0%	32 37.2%	44 36.7%	40 39.6%	32 32.7%	13 43.3%
		男性	12 48.0%	12 40.0%	15 42.9%	41 48.2%	27 33.8%	20 33.3%	15 45.5%
	暴力にあたらぬ	女性	6 10.9%	7 14.0%	7 8.1%	15 12.5%	25 24.8%	16 16.3%	2 6.7%
		男性	1 4.0%	3 10.0%	1 2.9%	15 17.7%	14 17.5%	9 15.0%	3 9.1%
	無回答	女性	1 1.8%	1 2.0%	2 2.3%	6 5.0%	8 7.9%	17 17.4%	7 23.3%
		男性	-	-	1 2.9%	1 1.2%	4 5.0%	14 23.3%	7 21.2%
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

I 交友関係や電話を細かく監視する	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	どんな場合も暴力	女性	17 30.9%	19 38.0%	39 45.4%	59 49.2%	30 29.7%	36 36.7%	7 23.3%
男性		9 36.0%	15 50.0%	18 51.4%	36 42.4%	37 46.3%	18 30.0%	8 24.2%	
暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	25 45.5%	21 42.0%	37 43.0%	39 32.5%	38 37.6%	35 35.7%	11 36.7%	
	男性	12 48.0%	9 30.0%	15 42.9%	33 38.8%	28 35.0%	19 31.7%	16 48.5%	
暴力にあたらぬ	女性	12 21.8%	9 18.0%	8 9.3%	16 13.3%	24 23.8%	12 12.2%	4 13.3%	
	男性	4 16.0%	6 20.0%	2 5.7%	14 16.5%	10 12.5%	9 15.0%	2 6.1%	
無回答	女性	1 1.8%	1 2.0%	2 2.3%	6 5.0%	9 8.9%	15 15.3%	8 26.7%	
	男性	- -	- -	- -	2 2.4%	5 6.3%	14 23.3%	7 21.2%	
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

J 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「いしょうなし」とか言う	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	どんな場合も暴力	女性	35 63.6%	31 62.0%	51 59.3%	74 61.7%	44 43.6%	47 48.0%	11 36.7%
男性		12 48.0%	17 56.7%	23 65.7%	47 55.3%	37 46.3%	22 36.7%	13 39.4%	
暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	16 29.1%	14 28.0%	30 34.9%	33 27.5%	27 26.7%	20 20.4%	8 26.7%	
	男性	11 44.0%	10 33.3%	12 34.3%	30 35.3%	32 40.0%	19 31.7%	12 36.4%	
暴力にあたらぬ	女性	4 7.3%	4 8.0%	3 3.5%	8 6.7%	21 20.8%	16 16.3%	3 10.0%	
	男性	2 8.0%	3 10.0%	- -	7 8.2%	7 8.8%	6 10.0%	2 6.1%	
無回答	女性	- -	1 2.0%	2 2.3%	5 4.2%	9 8.9%	15 15.3%	8 26.7%	
	男性	- -	- -	- -	1 1.2%	4 5.0%	13 21.7%	6 18.2%	
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

K 大声でどなる	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以上
	どんな場合も暴力	女性	25 45.5%	27 54.0%	36 41.9%	56 46.7%	27 26.7%	34 34.7%	6 20.0%
男性		6 24.0%	14 46.7%	15 42.9%	28 32.9%	26 32.5%	15 25.0%	8 24.2%	
暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	25 45.5%	17 34.0%	43 50.0%	48 40.0%	43 42.6%	36 36.7%	11 36.7%	
	男性	17 68.0%	10 33.3%	19 54.3%	43 50.6%	41 51.3%	25 41.7%	17 51.5%	
暴力にあたらぬ	女性	5 9.1%	5 10.0%	5 5.8%	11 9.2%	23 22.8%	13 13.3%	5 16.7%	
	男性	2 8.0%	6 20.0%	1 2.9%	12 14.1%	10 12.5%	8 13.3%	3 9.1%	
無回答	女性	- -	1 2.0%	2 2.3%	5 4.2%	8 7.9%	15 15.3%	8 26.7%	
	男性	- -	- -	- -	2 2.4%	3 3.8%	12 20.0%	5 15.2%	
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

L 常に命令口調で話す	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
	どんな場合も暴力	女性	27 49.1%	29 58.0%	45 52.3%	54 45.0%	32 31.7%	26 26.5%	6 20.0%
男性		12 48.0%	11 36.7%	18 51.4%	31 36.5%	30 37.5%	12 20.0%	11 33.3%	
暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	23 41.8%	15 30.0%	30 34.9%	46 38.3%	36 35.6%	42 42.9%	13 43.3%	
	男性	11 44.0%	11 36.7%	16 45.7%	38 44.7%	40 50.0%	21 35.0%	11 33.3%	
暴力にあたらない	女性	5 9.1%	5 10.0%	9 10.5%	15 12.5%	25 24.8%	12 12.2%	3 10.0%	
	男性	2 8.0%	8 26.7%	1 2.9%	15 17.7%	6 7.5%	13 21.7%	5 15.2%	
無回答	女性	- -	1 2.0%	2 2.3%	5 4.2%	8 7.9%	18 18.4%	8 26.7%	
	男性	- -	- -	- -	1 1.2%	4 5.0%	14 23.3%	6 18.2%	
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

M 家に生活費を入れない	上段：度数 下段：構成比		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳以 上
	どんな場合も暴力	女性	37 67.3%	38 76.0%	53 61.6%	80 66.7%	48 47.5%	51 52.0%	51 52.0%
男性		18 72.0%	15 50.0%	20 57.1%	54 63.5%	51 63.8%	26 43.3%	19 57.6%	
暴力の場合と、そうでない場合がある	女性	11 20.0%	7 14.0%	18 20.9%	22 18.3%	20 19.8%	17 17.4%	17 17.4%	
	男性	5 20.0%	8 26.7%	13 37.1%	20 23.5%	17 21.3%	13 21.7%	5 15.2%	
暴力にあたらない	女性	7 12.7%	4 8.0%	13 15.1%	13 10.8%	25 24.8%	16 16.3%	16 16.3%	
	男性	2 8.0%	7 23.3%	2 5.7%	9 10.6%	7 8.8%	8 13.3%	3 9.1%	
無回答	女性	- -	1 2.0%	2 2.3%	5 4.2%	8 7.9%	14 14.3%	14 14.3%	
	男性	- -	- -	- -	2 2.4%	5 6.3%	13 21.7%	6 18.2%	
合計	女性	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%	
	男性	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%	

(5) 配偶者等からの暴力を受けた経験

配偶者・パートナー・恋人（元配偶者・元パートナー・元恋人も含む）からの暴力被害については、「何度もあった」経験は、「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた」（身体的暴力）で6.8%と最も多い。「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせると23.2%となり、身体的な暴力は約4人に1人が経験がある。

また、「人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」（精神的暴力）では、「何度もあった」経験は5.1%で、「1, 2度あった」経験(11.2%)を合わせると16.3%と約6人に1人が経験がある。次に、「嫌がっているのに性的な行為を強要された」（性的暴力）では、「何度もあった」経験(4.4%)と「1, 2度あった」経験(8.2%)を合わせると12.6%と約8人に1人が経験がある。

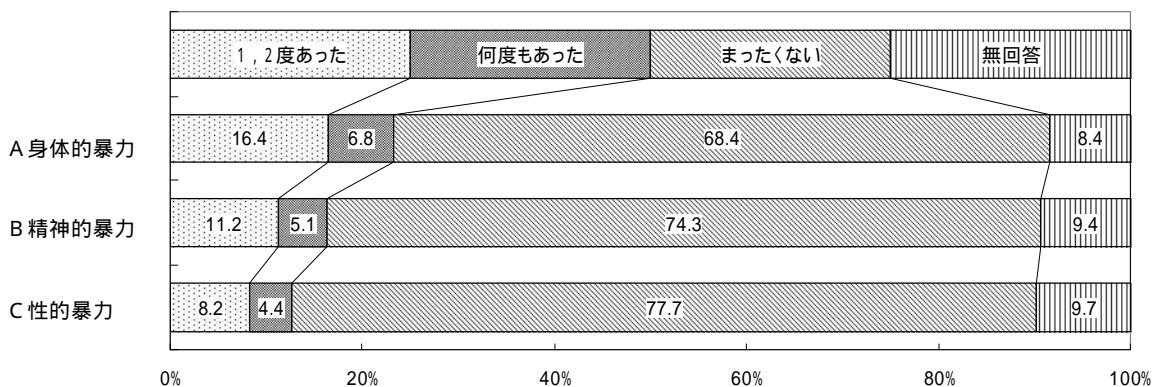
男女別にみると、男女共に身体的暴力を受けた割合が最も多く、「何度もあった」、「1, 2度あった」経験を合わせると、女性30.1%、男性13.5%である。すべての項目で男性よりも女性のほうに被害経験が多い。年代別に見ると、身体的暴力と精神的暴力では、ほとんどの年代の男女に「1, 2度あった」、「何度もあった」との回答がある。性的暴力については、すべての年代の女性と40~60歳代の男性で「1, 2度あった」との回答があり、これらの年代の中で、80歳代女性以外では、「何度もあった」との回答がある。「1, 2度あった」と「何度もあった」を合わせると、身体的暴力と性的暴力では50歳代女性で、精神的暴力では30歳代女性で最も多い。「何度もあった」については、すべての項目で50歳代女性に最も多い。

また、すべての項目で、結婚していない女性の被害経験は1割を超え、すべて20歳代である。

図表：配偶者等からの暴力を受けた経験の有無

4 - (5)

(n = 914)



国，いちき串木野市と女性の調査結果について比較すると，「1，2度あった」「何度もあった」経験を合わせると，どの項目でも国より多く，いちき串木野市とは同程度である。身体的暴力の「何度もあった」経験は国の約2倍である。

図表：国・他自治体との比較（国＝内閣府（H17）男女間における暴力に関する調査 n = 2328，いちき串木野市＝H18調査 n = 1062）

女性		1，2度あった	何度もあった	まったくない	無回答
身体的暴力	指宿市	19.6%	10.5%	63.8%	6.1%
	国	20.8%	5.8%	71.6%	1.7%
	いちき串木野市	18.7%	8.9%	62.3%	10.1%
精神的暴力	指宿市	13.3%	7.4%	72.3%	7.0%
	国	10.8%	5.3%	81.8%	2.1%
	いちき串木野市	12.5%	6.9%	67.0%	13.7%
性的暴力	指宿市	11.7%	6.8%	74.5%	7.0%
	国	10.0%	5.2%	82.5%	2.3%
	いちき串木野市	13.6%	6.7%	65.1%	14.6%

\*身体的暴力，精神的暴力，性的暴力の内容はどの調査とも共通。

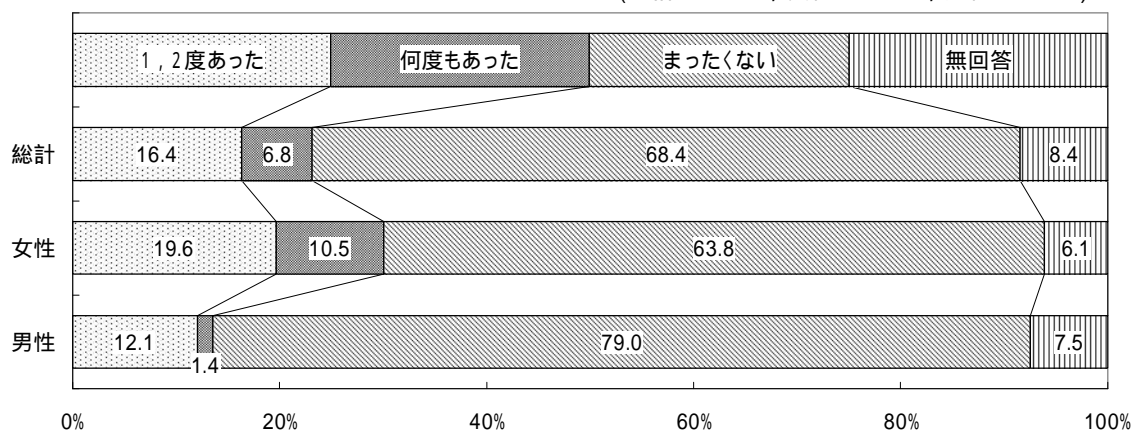
#### A なくったり，けったり，物を投げつけたり，突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた

被害を受けた経験を持つ人は，女性で30.1%，男性で13.5%と，女性は男性の約2倍である。50歳代女性では45.9%と最も多く約半数が被害を受けている。次いで40歳代女性40.7%，60歳代女性31.7%，30歳代女性28.0%と続く。特に50歳代女性では，「何度もあった」経験が19.2%と約5人に1人が経験がある。また，30歳代男性23.3%，40歳代男性20.0%と被害経験が他の年代よりも多い。

図表：身体的暴力

4 - (5) - A

(総計 n = 914，女性 n = 541，男性 n = 348)





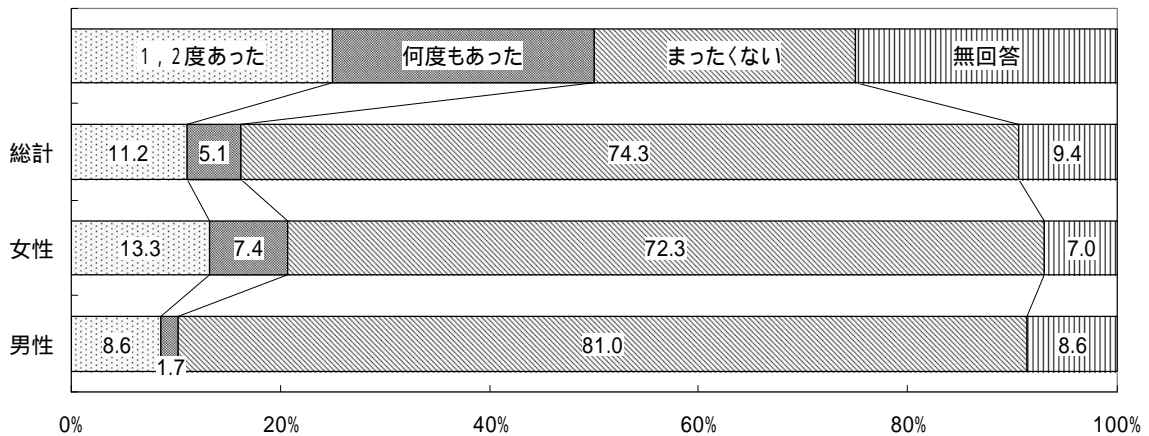
**B 人格を否定するような暴言，交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた，あるいは，あなたもしくはあなたの家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた**

被害を受けた経験を持つ人は，女性で 20.7%，男性で 10.3%と，女性は男性の約 2 倍である。年代別に見ると，30 歳代女性で 34.0%と最も多く，次いで 50 歳代女性 29.2%，40 歳代女性 25.6%と続く。これらの年代では，「何度もあった」経験が 1 割を超えている。男性では，「何度もあった」と「1，2 度あった」を合わせると 20～40 歳代・60 歳代で 1 割を超えている。40 歳代男性で 14.3%と最も多い。

図表：精神的暴力

4 - ( 5 ) - B

(総計 n = 914，女性 n = 541，男性 n = 348)



**C 嫌がっているのに性的な行為を強要された**

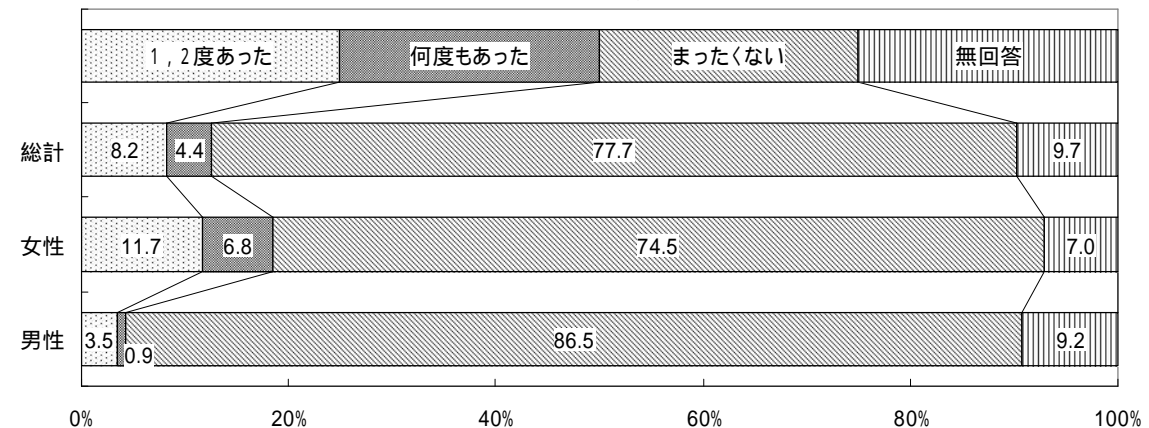
被害を受けた経験を持つ人は，女性で 18.5%，男性で 4.4%と，女性は男性の 4 倍を超える。

年代別に見ると，50 歳代女性で 34.2%と最も多い。次いで 40 歳代女性 23.2%，30 歳代女性 22.0%と続く。男性では 40～60 歳代で「1，2 度あった」「何度もあった」経験があるとの回答があり，40 歳代男性で 11.5%と最も多い。20～30 歳代・70 歳代以上の男性では被害経験があるとの回答はない。

図表：性的暴力

4 - ( 5 ) - C

(総計 n = 914，女性 n = 541，男性 n = 348)



A なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行  
女性

上段：度数 下段：構成比	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1, 2度あった	7 12.7%	10 20.0%	22 25.6%	32 26.7%	21 20.8%	13 13.3%	1 3.3%
何度もあった	2 3.6%	4 8.0%	13 15.1%	23 19.2%	11 10.9%	4 4.1%	-
まったくない	44 80.0%	35 70.0%	49 57.0%	63 52.5%	61 60.4%	69 70.4%	23 76.7%
無回答	2 3.6%	1 2.0%	2 2.3%	2 1.7%	8 7.9%	12 12.2%	6 20.0%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1, 2度あった	2 8.0%	6 20.0%	6 17.1%	10 11.8%	10 12.5%	7 11.7%	1 3.0%
何度もあった	-	1 3.3%	1 2.9%	2 2.4%	-	-	1 3.0%
まったくない	23 92.0%	22 73.3%	28 80.0%	70 82.4%	67 83.8%	39 65.0%	26 78.8%
無回答	-	1 3.3%	-	3 3.5%	3 3.8%	14 23.3%	5 15.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

B 人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた。  
あるいは、あなたもしくはあなたの家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1, 2度あった	8 14.6%	12 24.0%	13 15.1%	20 16.7%	11 10.9%	7 7.1%	1 3.3%
何度もあった	1 1.8%	5 10.0%	9 10.5%	15 12.5%	7 6.9%	3 3.1%	-
まったくない	44 80.0%	32 64.0%	62 72.1%	82 68.3%	74 73.3%	74 75.5%	22 73.3%
無回答	2 3.6%	1 2.0%	2 2.3%	3 2.5%	9 8.9%	14 14.3%	7 23.3%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1, 2度あった	2 8.0%	3 10.0%	4 11.4%	6 7.1%	10 12.5%	3 5.0%	2 6.1%
何度もあった	1 4.0%	1 3.3%	1 2.9%	1 1.2%	1 1.3%	-	1 3.0%
まったくない	22 88.0%	25 83.3%	30 85.7%	75 88.2%	65 81.3%	42 70.0%	23 69.7%
無回答	-	1 3.3%	-	3 3.5%	4 5.0%	15 25.0%	7 21.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

C 嫌がっているのに性的な行為を強要された

女性

上段：度数 下段：構成比	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1, 2度あった	2 3.6%	8 16.0%	13 15.1%	24 20.0%	10 9.9%	5 5.1%	1 3.3%
何度もあった	2 3.6%	3 6.0%	7 8.1%	17 14.2%	5 5.0%	3 3.1%	-
まったくない	49 89.1%	38 76.0%	64 74.4%	77 64.2%	77 76.2%	75 76.5%	22 73.3%
無回答	2 3.6%	1 2.0%	2 2.3%	2 1.7%	9 8.9%	15 15.3%	7 23.3%
合計	55 100.0%	50 100.0%	86 100.0%	120 100.0%	101 100.0%	98 100.0%	30 100.0%

男性

上段：度数 下段：構成比	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1, 2度あった	-	-	3 8.6%	6 7.1%	3 3.8%	-	-
何度もあった	-	-	1 2.9%	1 1.2%	1 1.3%	-	-
まったくない	25 100.0%	29 96.7%	31 88.6%	75 88.2%	70 87.5%	45 75.0%	26 78.8%
無回答	-	1 3.3%	-	3 3.5%	6 7.5%	15 25.0%	7 21.2%
合計	25 100.0%	30 100.0%	35 100.0%	85 100.0%	80 100.0%	60 100.0%	33 100.0%

(6) 配偶者等からの暴力を受けたときの相談先

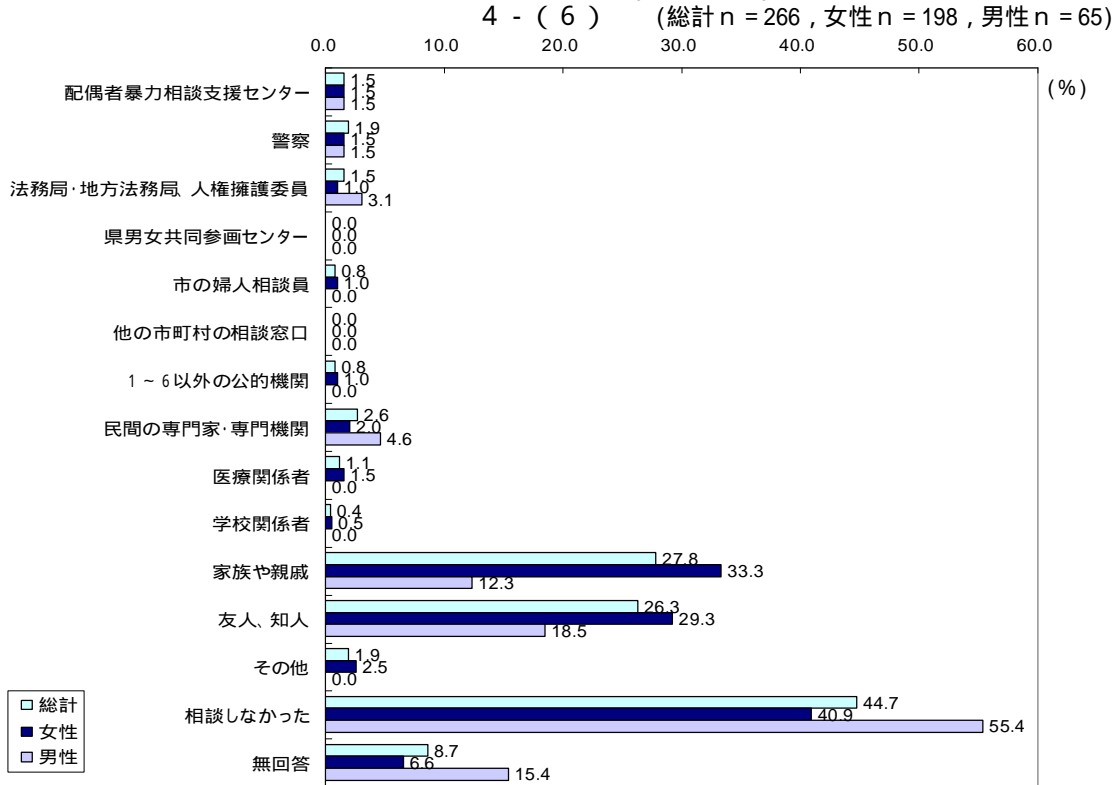
配偶者等からの暴力を受けたときの相談先については、「家族や親戚に相談した」27.8%、「友人、知人に相談した」26.3%が同程度で多い。その他の項目は公的機関をはじめ0~3%である。私的関係の範囲内での相談にとどめている割合が多い。「どこにも、だれにも相談しなかった(できなかった)」が44.7%と半数近い。

男女別に見ると、男女共に「家族や親戚に相談した」(女性33.3%、男性12.3%)、「友人、知人に相談した」(女性29.3%、男性18.5%)が多い。無回答は女性6.6%、男性15.4%と男性のほうに多い。「どこにも、だれにも相談しなかった(できなかった)」では、女性40.9%に対し男性55.4%で、女性よりも男性のほうに多い。

年代別に見ると、女性では、20・40~50・70歳代では「どこにも、だれにも相談しなかった(できなかった)」が最も多く、40歳代では59.0%である。30・60歳代女性では相談しなかった(できなかった)人は2~3割であるが、相談している場合も「友人、知人」「家族、親戚」の私的な関係の人への相談が多い。

国といちき串木野市と比較すると、相談先として「家族や親戚」「友人、知人」は国・いちき串木野市よりも多い。一方「どこにも、誰にも相談しなかった(できなかった)」は、国・いちき串木野市よりも少ない。

図表：配偶者等からの暴力を受けたときの相談先(複数回答)



図表：国・他自治体との比較(国=内閣府(H17)男女間における暴力に関する調査 n = 269  
いちき串木野市 = H18 調査 n = 305)

	配偶者暴力相談支援センター	警察	法務局・地方法務局・人権擁護委員	県男女共同参画センター	他の市町村の相談窓口	公的機関	左記以外の民間の専門家・専門機関	医療関係者	学校関係者	家族や親戚	友人、知人	その他	相談しなかった
指宿市	1.5%	1.9%	1.5%	-	-	0.8%	2.6%	1.1%	0.4%	27.8%	26.3%	1.9%	44.7%
国	0.7%	2.6%	0.7%	0.4%	-	0.4%	1.9%	2.6%	-	22.3%	23.4%	1.5%	59.5%
いちき串木野市	0.3%	3.6%	0.7%	-	0.3%	0.3%	0.3%	1.0%	-	23.6%	25.2%	1.0%	57.9%

\* 「市の婦人相談員」については本市のみの選択肢であったため省略。

上段：度数 下段：構成比		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
配偶者暴力相談支援センター	女性	-	-	-	1 1.5%	2 5.4%	-	-
	男性	-	-	-	-	1 5.6%	-	-
警察	女性	-	1 4.8%	1 2.6%	1 1.5%	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	1 14.3%	-
法務局・地方法務局、人権擁護委員	女性	-	-	-	-	2 5.4%	-	-
	男性	-	-	-	-	1 5.6%	1 14.3%	-
県男女共同参画センター	女性	-	-	-	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
市の婦人相談員	女性	-	-	-	2 3.1%	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
他の市町村の相談窓口	女性	-	-	-	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
1～6以外の公的機関	女性	-	-	-	1 1.5%	1 2.7%	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
民間の専門家・専門機関	女性	-	-	-	1 1.5%	3 8.1%	-	-
	男性	-	-	-	1 6.7%	1 5.6%	-	1 25.0%
医療関係者	女性	-	-	-	3 4.6%	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
学校関係者	女性	-	-	-	1 1.5%	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
家族や親戚	女性	2 14.3%	10 47.6%	9 23.1%	19 29.2%	17 45.9%	8 38.1%	1 100.0%
	男性	1 25.0%	-	1 11.1%	2 13.3%	4 22.2%	-	-
友人、知人	女性	5 35.7%	12 57.1%	11 28.2%	17 26.2%	11 29.7%	2 9.5%	-
	男性	1 25.0%	1 12.5%	2 22.2%	3 20.0%	4 22.2%	1 14.3%	-
その他	女性	1 7.1%	-	-	2 3.1%	1 2.7%	1 4.8%	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
相談しなかった	女性	6 42.9%	4 19.0%	23 59.0%	28 43.1%	11 29.7%	9 42.9%	-
	男性	3 75.0%	7 87.5%	6 66.7%	9 60.0%	7 38.9%	3 42.9%	1 25.0%
無回答	女性	1 7.1%	0 0.0%	3 7.7%	5 7.7%	3 8.1%	1 4.8%	-
	男性	-	-	1 11.1%	1 6.7%	5 27.8%	1 14.3%	2 50.0%
回答者数	女性	14 100.0%	21 100.0%	39 100.0%	65 100.0%	37 100.0%	21 100.0%	1 100.0%
	男性	4 100.0%	8 100.0%	9 100.0%	15 100.0%	18 100.0%	7 100.0%	4 100.0%

(7) 配偶者等からの暴力を受けたときに相談しなかった(できなかった)理由

配偶者等からの暴力を受けたときに相談しなかった(できなかった)理由については、「相談するほどのことではないと思ったから」が55.5%と最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」35.3%、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけるといったから」24.4%、「相談してもむだだと思ったから」21.0%と続く。被害経験者が多い50歳代女性では、「相談するほどのことではないと思ったから」「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけるといったから」に回答が多い。

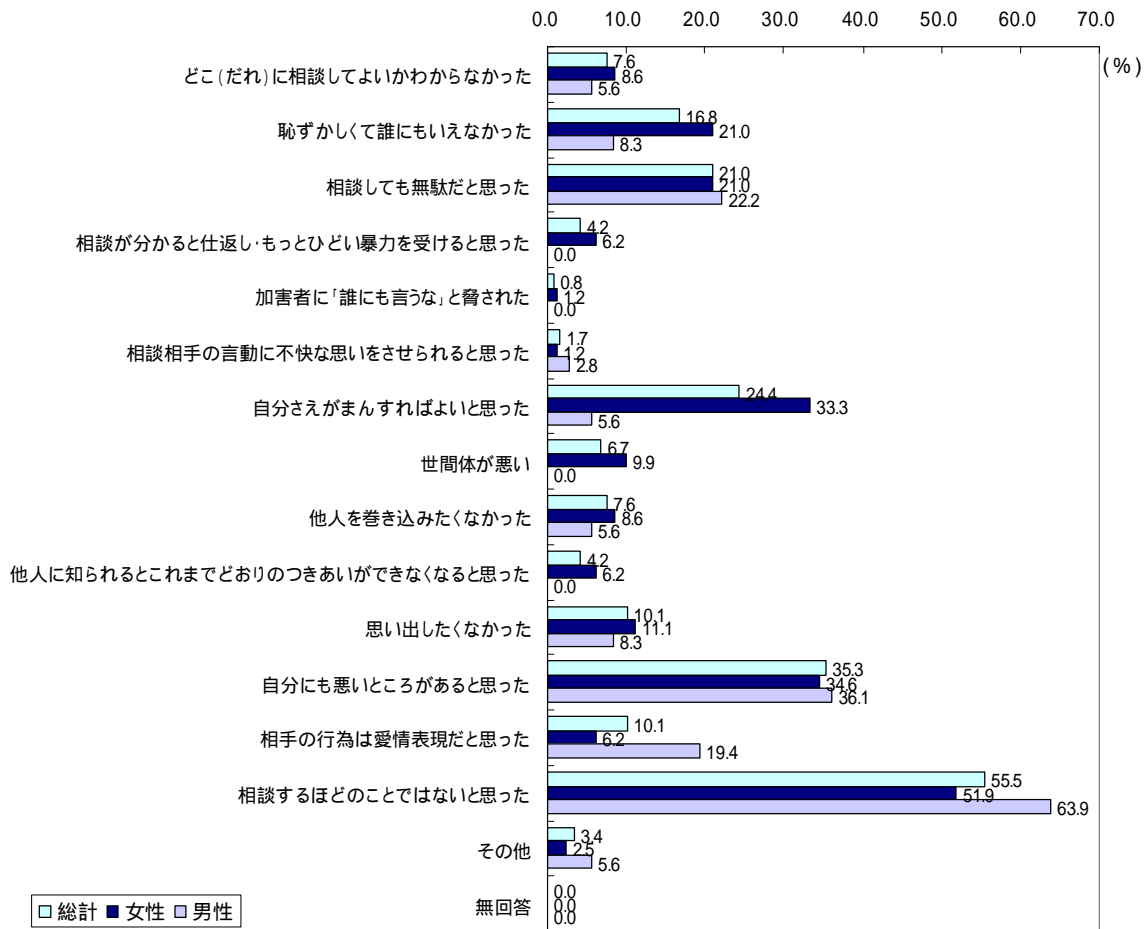
男女別に見ると、上位2つは全体と同様であるが、女性では、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけるといったから」33.3%、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」21.0%、「相談してもむだだと思ったから」21.0%と続く。一方、男性では、「相談してもむだだと思ったから」22.2%、「相手の行為は愛情の表現だと思ったから」19.4%と続く。男性よりも女性のほうに回答が多い項目は、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけるといったから」(女性33.3%、男性5.6%)、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」(女性21.0%、男性8.3%)である。女性よりも男性のほうに回答が多い項目は、「相手の行為は愛情の表現だと思ったから」(女性6.2%、男性19.4%)である。

女性の調査結果について、国と比較すると、最も回答割合が多い「相談するほどのことではなかった」については、国の45.2%よりも多い。

図表：国との比較(国=内閣府(H17)男女間の暴力に関する調査 n=84)

	なしてよいかわからなかった	どこ(だれ)に相談	もいえなかった	恥ずかしくて誰にも言えなかった	相談しても無駄だと思っ	相談して	返しが分かると思	暴力を受けると思	相談が分かると思	返し・もっとひどい	加害者に誰にも言	うな」と脅された	相談相手の言動に	不快な思いをさせ	られると思っ	自分さえがまんす	ればよいと思っ	世間体が悪い
指宿市	8.6%	21.0%	21.0%	6.2%	1.2%	1.2%	33.3%	9.9%										
国	9.5%	26.2%	20.2%	4.8%	-	4.8%	29.8%	13.1%										
	く他人を巻き込みた	他人に知られると	これまでもどおり	つ	思	出	した	く	な	か	自分にも悪いとこ	る	があると思っ	た	相談するほどのこ	た	では	ないと思っ
指宿市	8.6%	6.2%	11.1%	34.6%	6.2%	51.9%	2.5%											
国	9.5%	4.8%	7.1%	39.3%	13.1%	45.2%	7.1%											

図表：配偶者等からの暴力を受けたときに相談しなかった（できなかつた）理由  
4 - ( 7 ) （総計 n = 119, 女性 n = 81, 男性 n = 36）



上段：度数 下段：構成比	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
どこ(だれ)に相談してよいかわからなかった	女性	-	4 17.4%	2 7.1%	-	1 11.1%	-
	男性	-	-	2 22.2%	-	-	-
恥ずかしくて誰にもいえなかった	女性	3 50.0%	2 50.0%	5 21.7%	3 10.7%	1 9.1%	3 33.3%
	男性	-	-	1 16.7%	2 22.2%	-	-
相談しても無駄だと思った	女性	1 16.7%	1 25.0%	5 21.7%	8 28.6%	1 9.1%	1 11.1%
	男性	1 33.3%	-	2 33.3%	4 44.4%	1 14.3%	-
相談が分かると仕返し・もっとひどい暴力を受けると思った	女性	-	1 25.0%	2 8.7%	2 7.1%	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-
加害者に「誰にも言うな」と脅された	女性	-	-	1 4.3%	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-
相談相手の言動に不快な思いをさせられると思った	女性	-	1 25.0%	-	-	-	-
	男性	-	-	-	1 11.1%	-	-

上段：度数 下段：構成比		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
自分さえがまんすればよい と思った	女性	2 33.3%	3 75.0%	7 30.4%	13 46.4%	1 9.1%	1 11.1%	-
	男性	1 33.3%	-	1 16.7%	-	-	-	-
世間体が悪い	女性	1 16.7%	-	2 8.7%	4 14.3%	-	1 11.1%	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
他人を巻き込みたくなかつ た	女性	-	1 25.0%	3 13.0%	3 10.7%	-	-	-
	男性	1 33.3%	-	1 16.7%	-	-	-	-
他人に知られるとこれまで どおりのつきあいができな くなくなった	女性	-	-	3 13.0%	1 3.6%	-	1 11.1%	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
思い出したくなかった	女性	2 33.3%	3 75.0%	2 8.7%	1 3.6%	-	1 11.1%	-
	男性	1 33.3%	-	1 16.7%	-	-	1 33.3%	-
自分にも悪いところがある と思った	女性	3 50.0%	2 50.0%	7 30.4%	8 28.6%	3 27.3%	5 55.6%	-
	男性	2 66.7%	4 57.1%	3 50.0%	3 33.3%	-	1 33.3%	-
相手の行為は愛情表現だと 思った	女性	-	-	2 8.7%	1 3.6%	1 9.1%	1 11.1%	-
	男性	1 33.3%	2 28.6%	1 16.7%	2 22.2%	1 14.3%	-	-
相談するほどのことではな いと思った	女性	2 33.3%	-	13 56.5%	13 46.4%	8 72.7%	6 66.7%	-
	男性	2 66.7%	5 71.4%	3 50.0%	6 66.7%	5 71.4%	1 33.3%	1 100.0%
その他	女性	1 16.7%	-	1 4.3%	-	-	-	-
	男性	-	1 14.3%	-	1 11.1%	-	-	-
無回答	女性	-	-	-	-	-	-	-
	男性	-	-	-	-	-	-	-
回答者数	女性	6 100.0%	4 100.0%	23 100.0%	28 100.0%	11 100.0%	9 100.0%	0
	男性	3 100.0%	7 100.0%	6 100.0%	9 100.0%	7 100.0%	3 100.0%	1 100.0%



## . 參考資料

---

## 参考資料

### 1. 各設問「その他」意見

問6	年代	性別	職業
子育てをする上での不安や悩みはどこにあると思われますか。			
子育ての体験は得られなかったが千差万別だと思う	50代	女性	非常勤
未就学児を抱えているが、子どもの性格について悩むことがある。躰けが悪いのか元々持った性格なのか、今すぐ専門的立場の人に相談するまでもないが、4～6才児の市の健診の際に保健師に相談したいと思っている。健診が実施されていないのでまだ相談出来ていない。	30代	女性	常勤
仕事との両立が難しい	30代	女性	非常勤
子育てしたことがないので、わからない	30代	女性	非常勤
子どもを育てるのにある程度のお金が必要です。食生活が大切。	60代	女性	-
親（祖父母・親族）が近くに住んでないので、仕事と子どものうちどちらを優先させるか困る。	30代	女性	非常勤
子どもがいないので	50代	女性	-
子供が喘息だったので、日曜祝祭日にも病院へ行くことがあったが、初診料や休日診療費が高く感じたり、処置がよくない病院もあった。	50代	女性	農林漁業自営
子育ては終わったが、今の世の中は2, 7, 10の気持ちがあるのではと思う 2：子どもとの接し方に自信がなくなることがある 7：子育てについて相談できる人や場所がない 10：急な子どもの病気などのときの対応に困る	70代	男性	農林漁業自営
子供がいないのでわからない	40代	男性	常勤
若い人たちのことは、よくわからない	60代	男性	農林漁業自営
親の方の基本的な人生観・価値観が確立されていない	60代	男性	農林漁業自営
昔は母親が家に居たものだった（働きに出ず）。子どもも母親の目の届く自宅でもく中にいた。ある年齢までは母親も自宅で仕事ができるような事を普及願いたい（内職のようなことを含め）	70代	女性	無職
道路事情の悪さによる交通事故や犯罪に巻き込まれる心配	30代	男性	商工等自営
現在子どもと同居していない	70代	男性	無職
すべて夫婦で協力して終わりました	70代	女性	-
両親が頑張るとけば良い子が育ちます。	50代	男性	常勤
三世代同居であったため悩みや不安はなかった	50代	女性	常勤
子育てについて、周囲から意見されることを嫌がる若い親子さんが目につく	50代	女性	商工等自営
遊び場がない	30代	女性	商工等自営
わからない	70代	男性	農林漁業自営
経済的な問題もあります	50代	男性	常勤
保育料が高い	50代	女性	常勤
親に手がかり、（子供を）預けようと保育園にお願いしたら断られた。老人介護施設は増えているが、子供を（急に、短時間）預ける場所がない。あっても1時間いくらで高すぎて、いざとなると預けられず、（親の）入院先に連れて行くと人の目が気になる。	30代	女性	-
老夫婦生活	70代	男性	無職
病気のとき、どこの病院へ行けば良いのかわからず困った。（転勤のたびに不安）	60代	女性	農林漁業自営
子どもを育てたことがないので良く分からないが、知人の話の中では、の事を言っていました。 2：子どもとの接し方に自信がなくなることがある 3：子育てについて、配偶者・パートナーと意見が合わない	50代	女性	商工等自営
子育ては卒業しました	60代	女性	無職
学校でのいじめや、事故などの先生たちの注意不足など	20代	女性	常勤
子育ての経験なし	60代	男性	常勤
子供の教育費がかかる	30代	女性	常勤
子供がいないのでわからない	80歳以上	女性	無職
将来の世の中に対して不安を感じる	30代	男性	商工等自営
上の問いについては、子育て中は皆あるものであって、その時その時を乗り越えるしかない	60代	女性	家事専業
私は高齢者ですが、孫の学校生活を見ていると、現在の学校生活はクラブ活動に積極的で勉強時間が少ない。小中学校の学力が世界の先進諸国と比較して低いといわれているが、この辺にも原因があるように思う。	70代	女性	無職

祖父母が見栄っ張りなので困る	40代	女性	農林漁業自営
いろいろあったが、自分自身の気持ちの強さ弱さを素直に出し、とにかくがんばること。負けないこと。	40代	女性	常勤
現在は育休中なのだが、職場復帰したときの生活が不安だ	30代	女性	常勤
気軽に相談できる場所が、あったらよいのではないかと思う	30代	女性	常勤
事ある毎に他人のせいにしてしまう傾向の親がいる	40代	女性	非常勤
今後のメディア等の影響	30代	女性	常勤
もう子育ては終わった。	70代	女性	家事専業
子育てしていないので	70代	女性	無職
医療や教育にかかる費用が年々多くなる	30代	女性	農林漁業自営
小さい子供がいないので、分からない	70代	女性	家事専業
金銭的に余裕がない	50代	男性	常勤
子供の発育障害	40代	男性	常勤
子育ては終わっている	50代	男性	常勤
高齢者で、子育ては終わった	70代	女性	家事専業
夫婦間の意志の疎通が乏しい生活だったが、幸い子供たちは素直に育った。	50代	女性	非常勤
子どもなし	60代	男性	無職
よく分からない	80歳以上	男性	無職
やはり経済状態がよくないと、どうしても共稼ぎが多くなり、特に子どもをかかえている母親の負担が大きく、ゆとりある子育てが出来ない状態であると思う。	40代	女性	非常勤
現在の子育ては、親子の対話が大事で大変だと思う	80歳以上	男性	無職
子どもは成長しそれぞれ家庭を持ちましたが、働きながら3人の子育てをしたので、1に該当すると思い選びました。ただ、その日その日、心に残る喜びのメッセージを子供たちからもらっていたので貧しくても幸せです。 1：子どもとの時間を十分にとれない	60代	女性	非常勤
人間生きていく以上、自分のことは他人に迷惑を掛けないように、社会ためになるよう子育てをして、親・子・孫にも人に負けず、くじけてはならないと言いつけて聞かせている。	-	-	-
・小児科が少ない ・核家族で（親も近くに住んでいない場合）病気で保育園に預けられない際に、預かってくれる所が欲しい。（現在、私どもは病院経営の保育所に預かってもらっている。）	60代	女性	家事専業
教育費	20代	男性	非常勤
・問題発生時「何故：こうするのだよ」と説明をすれば子供も分かってくれと思う。 ・挨拶 親も出来なければ、子供も出来ない。 ・子供は良いことも悪いことも親の背中をしっかりと見ている。	50代	女性	常勤
子どもなし	40代	女性	非常勤
わからない	30代	女性	-

問9 仕事を持っているのは、どのような理由からですか。	年代	性別	職業
生活のため、子どものため、自分のため	30代	男性	非常勤
農業は家族で	50代	女性	農林漁業自営
年金生活のため、年金だけでは生活できないから	70代	男性	農林漁業自営
今は若い人がお金のことばかり言って仕事が続かないように思う。もっと自分の生活は自立できるよう努力すべきである	60代	女性	常勤
保育園に子どもを預けるため（地元の保育園の最終年度）昭和50年代は子どもが多かった。祖父母同居では仕事に就かないと保育園に入れられず、小学校入学前に入れたかったので仕事について	50代	女性	常勤
身体に合わせて動くことが、脳にもいいから	80歳以上	女性	農林漁業自営
学生だが、長期休暇があるから	20代	男性	学生
美味しいものを食べたり、旅行に行ったり、+ の生活をしたいから	40代	女性	非常勤
結婚していないため働かざるを得ない	20代	女性	常勤
祖父母の考えがそうだから	40代	女性	農林漁業自営
国民年金支払いのため	50代	女性	非常勤
病気をもちながら借金をもらって離婚したため、将来が真っ暗で生計をたててます	50代	女性	非常勤

問10 働いている場での、性別による処遇の差がありますか。	年代	性別	職業
農業をしているので、他人と比べる必要はないと思っている。	50代	女性	農林漁業自営
性別による差もあるが、パートの人たちを大切にしていない。(半分以上がパート)	30代	女性	非常勤
自営業のため	50代	男性	農林漁業自営
株投資等(自宅での仕事)	50代	女性	その他
男性しかいない職場	20代	男性	常勤
自由業なのでわからない	60代	男性	農林漁業自営
自営業	60代	男性	商工等自営
農業	60代	男性	農林漁業自営
32年間勤務している。三人の子どもは職場で育てて、保育園に入れた。	50代	女性	常勤
家業のため差はない	50代	男性	農林漁業自営
自営業のためなし	60代	女性	農林漁業自営
家業だから働く。手伝うのが当たり前と思っている	50代	女性	商工等自営
社会全体が、介護・育休を取りにくい環境にある	50代	男性	常勤
自営業である	60代	男性	商工等自営
家業手伝い	80歳以上	男性	農林漁業自営
自営業	60代	男性	農林漁業自営
自営	60代	男性	農林漁業自営
自営のため、特になし	50代	女性	商工等自営
自営業だから関係ない	50代	女性	商工等自営
自営	80歳以上	女性	商工等自営
組織の中で働いていないのであてはまる項目なし	80歳以上	女性	農林漁業自営
パートですのであまりかわりはない。	-	-	非常勤
農作業のため、自分の好きな時間、好きな様に働いている	50代	女性	農林漁業自営
パートで働いているので質問にあてはまらない	40代	女性	非常勤
女は口出しすると言われる	40代	女性	農林漁業自営
理不尽ことが多い	50代	男性	非常勤
自営業のため、他所の雰囲気は分からない	50代	男性	農林漁業自営
個人事業なので何も問題なし	50代	男性	商工等自営
農業	70代	女性	農林漁業自営
農家により該当ない	60代	女性	農林漁業自営
女性はいない	50代	男性	常勤
農業のため特になし	70代	女性	農林漁業自営
男性のみの職場	50代	男性	常勤
パートも同じ仕事をしているのに、正社員とパート間の賃金格差が大きい	40代	女性	非常勤
パートの女性ばかりの職場なので何もありません	60代	女性	非常勤
家族で会社経営	80歳以上	男性	常勤
女性だけの職場	60代	女性	非常勤
自営のため、自由に仕事が出来ている	50代	女性	商工等自営
農業	50代	女性	農林漁業自営

問13 現在、仕事をしていないのはどのような理由からですか。	年代	性別	職業
現在、職探し中	30代	女性	家事専業
年金生活である	60代	男性	無職
自宅でやれる仕事ならしてみたい	50代	女性	家事専業
年齢的、仕事に自信がない	60代	女性	家事専業
病気で働けない	70代	女性	無職
定年退職により	60代	男性	無職
自分に自信が持てないから	30代	女性	無職
身体の自由がきかなくなった	70代	男性	無職
介護を受けている	80歳以上	男性	無職
育児に専念したい	30代	女性	家事専業
子供が小さいので、一緒に居てあげたい	30代	女性	家事専業

定年のため	80歳以上	女性	家事専業
障害のある子どもを育てているので働きたくても働けない(働く場がない)	40代	女性	家事専業
病気療養中	70代	男性	無職
次の子供がほしいので、仕事をしてはすぐ辞めないといけないから	30代	女性	家事専業
慢性病のため、働くのを控えている	60代	女性	家事専業
身体障害二級になり力が入らない	60代	女性	無職
家事・自家消費農業・家の手入れ等で、時間がない	60代	男性	-
二人の両親を早く亡くしたので、弟妹、自分たちで生きてきました。	70代	女性	無職
妊娠中	30代	女性	家事専業
定年退職したため	60代	女性	無職
病気だから仕事をしたくても出来ない	-	女性	無職
通院中	60代	男性	無職
病気のため	80歳以上	男性	無職
71歳まで働いていましたが、会社が小さくなり、学生の働く場がないため、高齢者と見なされて退かされた。自分ではまだ働けたけど年金生活に入らなければ若者が働く場がないので終わりにした。	-	-	-
年齢制限がある	60代	女性	無職

問24 (DV被害後)だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。	年代	性別	職業
別に言うほどのでもなかった	20代	女性	-
配偶者	50代	女性	農林漁業自営

問25 どこにも、誰にも相談しなかった(できなかった)のはなぜですか。	年代	性別	職業
自分のことは自分で解決したいと思ったから	30代	男性	学生
夫婦間のことだから	50代	男性	常勤
他の人に相談する勇気がない	40代	女性	非常勤
一度きりで突発的。問題にするほどでもないと思ったから	20代	女性	常勤

問36 現在、何か地域活動等に参加していますか。	年代	性別	職業
集落長の内助	50代	女性	非常勤
集落の班長	60代	男性	常勤
9月から、市の何らかの活動に参加予定	60代	女性	-
ボランティアに参加	40代	女性	常勤
生協のグループ活動	30代	女性	無職
できません	80歳以上	男性	無職
車椅子で何もできない	70代	女性	無職
集落長、評議員、土地改良役員	60代	男性	商工等自営
消防団	30代	男性	商工等自営
生活学習(市)サークルに時々参加する	70代	女性	家事専業
社会福祉に係る活動を少ししている	60代	女性	農林漁業自営
点字教室	50代	女性	非常勤
定年後、叔母を11年介護して、亡くなってからまだ日が浅いので。	70代	女性	無職
病人は何も出来ずに死を待つのみ	80歳以上	男性	無職
消防団活動	60代	男性	農林漁業自営

## 2. 自由意見

意見等	年代	性別
性別に関係なく、すべての人々が公平・公正な立場で社会活動に参画することは理想であるが、男性又は女性でしか出来ないこともあり、一定のルールを守ってこそ真の男女共同参画社会と言えるのではないのでしょうか。	60代	男性
アンケート結果に興味がありますので、広報紙などに公表できれば載せていただきたいです。	30代	女性

指宿，山川，開聞と合併し，いろんな催し物にしても範囲が広がり，地域性にも力強いつながりを感じています。 男女共同参画社会のアンケートを記入していく中で，やはり女性の役割が大きく，家庭の中でも食事分担，子育て，仕事と負担がどこの家庭も多いのが実情です。もう少し男の人も意識を変え，女性に優しい社会を作ってほしいと思います。	40代	女性
最近地元に戻ってきたのですが，実際指宿地域でどのような活動が行われているのか把握できておらず，興味はあるものの行動できないのが現状です。（自分の調査不足もあると思いますが，平日は仕事で地元にはないので・・・） 男女が自由に参加できる場（学生を問わず），交流できる場があるのでしたら教えていただきたいと思っています。根本的には男性は社会を守り，女性は家庭を守るものだと考えています。	30代	女性
若い者にもっと子づくり	50代	女性
男性，女性ともに社会の同じ場所で話せることは大切なことだと思います。しかし，本来，男性と女性が持っている能力的な部分は全く違うので，家庭や仕事の場面の中である程度の役割分担は必要なのではないでしょうか。（男性は外交，女性は事務的なこと等）能力を認め合った上での男女平等は必要かと思いますが，能力を無視し，極端な男性の育児休暇等は効果が少ないように感じます。	20代	男性
70歳を近くにした私は良い勉強になりました。昔と今の生活や聞くことが本当にドキッとしましたが，今の世はこうなっているのですね。本当に勉強さしてくださってありがとうございました。	60代	女性
育児手当を高校卒業までは出してほしい。	40代	女性
私には小学1年生，年長児がいますが，幼稚園行事，学校行事，地区の行事で忙しいです。平日は仕事もあり，週末くらいしか子どもと遊べないので，もう少し負担を軽くしてほしいのが本音です。地区の行事も，もう少し強制せず，参加できる人のみ参加するか，別の日に参加する等配慮してほしいです。地域のためにがんばっても，今のところメリットは感じません。	30代	女性
住民一人一人が仲良く感謝の気持ちを持って毎日を過ごすことが大事では	80代	男性
すべて平等とは行かないと思います。主人の仕事はすべて平等には行かない仕事でした。船の機械を修理するのに男性ばかりの乗組員の中に女性を何泊もしながら修理に行かせるわけにはいかない。重いものを持つのにやはり男性にお願いすることは多いし，母乳で育てるのに母親が育休をとるべきだし・・・世の中が女性，男性をお互いに尊重するべきで平等ばかりを言うべきではない。性別でうまくいくことはたくさんあると思います。権利だけを主張してはいけない。	50代	女性
女性が社会において継続して働いていける環境づくりが更に充実することが必要と考えます。	50代	男性
昔の大戦に敗れアメリカナイズされた日本民主主義・男女平等はまさに人間が求めて止まないところであります。平等を主張するあまり，性別のらしさを失っては却ってマイナスと思います。（アメリカ男性は，アメリカ女性が一番嫌いだと・・・）	70代	男性
男女共同参画社会基本法のとおりで特にありません	70代	女性
大変勉強させていただきましたありがとうございます。脳梗塞をわずらって以来，身体が不調になっていますが，がんばっています。今後共によくお願い申し上げます。	70代	男性
当地域に於けるここ2，3年の間，高齢者の増加と一人住まいの老人が大変目立ってきています。最近公民館役員とし，特に感じることは真夏の暑に知に家の中から外に出歩く場所も少なく，友達も少ないみたいで結局いける場所が少なく，家の中。30～35にもなる家の中での一人住まいの方が思いのほか大変多く感じます。今後は早急に年寄りが三々五々自然と集まり，語り合いのできるミニ広場の地域の場を官・民力を合わせ手早急に整備していただけたらと感じます。	60代	男性
設問が稚拙である。アンケートは質問の仕方によっては正反対の結果が出る。やり方によっては設問者の望む方向に誘導できる	60代	男性
社会づくりは両親がしっかり働き，家族をつくり，地元（ふるさとを愛し）に根付き，男女の参画意識は田舎開聞ではない。	50代	男性
男女平等，公平の考え方は何時の時代でも必要であり賛成です。時として自分の（所属する団体）意見ばかりを声高に主張し，他は受け付けないといったような光景が見られるようです。また組織に有っては管理職は部下を，部下は管理職を互いに尊重し，思いやる，そんな職場であれば男女間の差別等は減少するように思います。 いずれにしろ「男は男らしく，女は（男にはない）女らしさを，また子どもは子どもらしさを育んでいけたらと思うやりのある平等・公平時代が来ると思います。二町一市が合併した新指宿市がやさしさと思いやりを溢れた町であってほしいと思います。	50代	男性
このアンケートが理想的な社会づくりに役立つことを願っています。	20代	男性
男女共同参画社会，とっても良いことと思うが，女性の社会進出で少子化にも多少影響があるのでは？との思いもある。	70代	女性
私の会社ではISMやISOを行っています，非常に金がかかっているのが現状です。市役所でもISOを行っているようですが，時間と金をかけてまで必要なのか。	50代	男性
もう人生を終えようとしてます私には，特に関係のないことのように思われまして，恥ず	70代	女性

かしい思いで、分からぬままに記入してしまいました。勝手をお許しくださいます。ほかのアンケートにはもっと答えられたかもしれません。ごめんなさい。		
離婚したい離婚したいと思いながら 25 年が過ぎました。	60 代	女性
男女共同参画に興味があり、研修に参加したことがある。すこしむずかしい勉強会で熱が入らなかった。年齢的に無理があったのか、知識的に無理があったのか。どうしても勉強しておきたいという気持ちにならず、やめてしまった。このアンケートを基にして、私にもできる（かかわれる）ことであると、後押ししていただけたら、わかりやすく取り組みやすい研修会に参加したいと思っている。	50 代	女性
男も女も天命に従うべきだ。行政的にとやかく言われる必要はない。	60 代	男性
住民の皆さんが安心できるような社会。心豊かな地域社会。子どもや孫たちのために未来を残せる社会。一人ひとりが考えてほしいものです。	50 代	女性
夜、道を歩くとき街灯がなく暗くて怖いです。そこをどうにかしてほしい。	20 代	女性
私の職場はほとんどが女性のため、男女の差別などはありませんが、一般的な会社・社会には男女の差別がたくさんあると思います。今は女性も働く時代になってきていて自分の力をためてみたいという人は多いと思うので、男女間の差別がなくなれば過ごしやすいのではないかと思います。	20 代	女性
環境衛生として、一刻も早く蚊の退治をお願いしたいものです。一斉防除は出来ないものか。隣近所の声かけが望みたい。朝、夕のおはよう、こんにちはの言葉がもう少しあってほしいものです。おはよう、こんにちにはぐらいいでは体に害はないと思います。	70 代	女性
一人ひとりの男性の意識改革が必要だと思います。女性は家事・育児・仕事とがんばるだけがんばっています。男性が女性を大切にしないと離婚は増え続け、男女共同参画社会づくりまで行きつかないと思います。男女平等がまず第一なのではないでしょうか。	40 代	女性
共に話し合いの出来る家庭、生活環境でありたい。共に認め合える社会環境でありたい。	50 代	女性
昔から私たち人間は自然の恵みを受けて生活しておりますので、環境問題について男女共同参画社会を考える事が大変大事だと思います。ひとつ例を上げると、ごみを減らすことや分別収集に第一歩として、特に男性はその事を忘れていたような気がしますので、女性ばかりにまかせることなく、男性も積極的に取り組み協力する必要があると思います。また男女共同参画社会に参加したいと、実感したいと思います。	70 代	男性
育児：小さいお子さんのいる家庭に援助してほしい。 若い人の働く場を作ってほしい。今のままでは老人ばかりになると思う。このままでは淋しい指宿になってしまいます。 若者に夢のある市、希望の持てる市、はつらつとした市をくれぐれもお願いします。	70 代	女性
同和問題（人種差別）も一般の人にも理解され、今は過去のこと。男女雇用均等法が制定されたのが昭和 61 年ごろと記憶しておりますが、均等法が制定されてから“男女共同参画”という言葉が耳に入るようになった気がいたします。 昔は炊事、洗濯、掃除、買い物等は女がするもの、という固定観念があったような気がいたします。 そして子どもの教育も家庭、学校、地域の三位一体で育てるものと思っておりましたが今は違うようです。 今は夫婦で買い物をしたり、炊事、洗濯も男の人がすると言うことをよく見たり、耳にしたりしております。 私たちの同窓会では女の方が進行係、乾杯の音頭をしたりしております。またスポーツ大会でも企画準備は男子の方がされますが大会当日は女子の方が進行、開会のあいさつ、運営をしております。地域活動、家庭にしても男子が前面に出て、また女子が前面に出て良くいく場合があります。 今までの固定観念を捨てて「よるこんで参画、満足して帰宅」をモットーに主催者側もいまい少し気配りすべきだと思います。老若男女問わず男女共同参画で明るい楽しいまちづくり、指宿市になりますように願っております。	60 代	女性
地域のイベント、祭り等、地域住民が楽しく参加できる催しを計画、実施してほしい	40 代	男性
高齢者にとって設問がどれも難しく、回答するのに苦労しました。また、回答にあまり自信が持てません。 男女共同参画社会づくりをすすめることはいいことだと思いますが、そのことで、家庭の崩壊に拍車をかけるようなことにならないようにしてほしい。 この調査には送料、その他相当な経費がかかっているはずですが、そこまでしなくても何か別な方法等で基本計画の見直しはできたのではないかと、男女共同参画社会についての意識が低いと言われればそれまでだが、節税の見地から。	70 代	男性
法令関係は整備されつつあるが、社会のしくみはまだまだと思う。男女の差がどうかこうかと言うことよりも、隣近所、親子の関係がうすらいでいることが気がかりである。 例えば、付き合いの少ない地域の活動で、めんどろなことは女性にまかすとか、子どもの登下校が心配なので車で送り迎えするとか、地域の活動に出てこない親の子どもは、やはり行事に出てこない	40 代	男性
現代は男女同格であると思う。まだ指宿市だけでなく鹿児島は特に男女共同参画がうすい。男女とわず、時間・能力のある人は参画すべきで、若者にも参画を進めるべきだと思うし、性差別については、偏見があると思う。性別をとわず皆が出来ることを行う必要がある	50 代	男性

<p>と思う。たとえば近所の子どもが危ないと思ったら注意する、助けてあげる。社会通念上当たり前前の事が現代では出来ないのが残念だ。男女共同参画は当然であると思う。子どもをつくるに当たって男女がいなければ出来ないし、出来た子どもは女まかせ・・・とんでもないと思う。</p>		
<p>男女、平等にとらわれすぎて、活動、行動がしにくくなってきているように思う。身体づくり自体が違うのだから、時には区別することも必要だと思う。</p>	50代	女性
<p>社会の上に立つ人間が、高齢・旧世代的な思想の人間で構成されている現在、新しい世代の人間が改革をおこそうとしても、権力や日本古来の慣習等により妨害されているように感じる。</p> <p>改良できる点は改良していくべきであり、慣習等は重要でないと思う。権力を持った旧思想の人間ほど保身に走る傾向があるため、社会がそれらを変えていかなければならない。ただ、社会の上部を構成する人間が前記の人間で占められている事もあり、信頼すべき社会自体がすでに信頼できなくなっている事も事実である。</p>	20代	男性
<p>互いを認め合うことができれば、男も女も老いも若きも、そんな言葉すら必要ないと思います。</p> <p>まずは家庭の在り方ではないでしょうか。互いに愛し、認め合う家庭をみんなで作り上げていけたらと思います。</p>	20代	男性
<p>現代社会は変化してきており、女性も社会の場へ出ている事が普通になりつつあります。平等社会は必要だと思いますが、場に応じては相手(男性)をたてる事もまた必要な気がします。もっと女性が進出していける職種、スポーツ、活動の場が増えたらいいな。</p>	20代	女性
<p>夫が生活に十分な経済力があればすべての事はクリアします。その一点だけだと考えます。育児は基本的には家族が行い、社会が支援する必要があるのが現状です。しかしそれを善しとは考えません。介護も「社会が支援する必要がある」というよりは「社会の支援を必要とする」という感覚です。本心は自宅で家族が見たいのです。</p> <p>能力に応じての差は、男女の別を問わず、あって当然です。生まれたときから男と女に分かれるのですから、「平等」というのは難しい。男の人の様に力仕事はできませんし、赤ちゃんを産む事は男にはどうしても不可能なことです。ですから、育児は女ができればそれがBESTなのです。『ママがいい』に決まっています。男の人にそれだけの経済力があれば、今起こっている社会の問題等は、そこに起因している様な気がします。そして、保育園が足りないとか、育児のサポートが欲しいとか、社会への支援を必要としなくても済みます。子育てはママ(女)がするのが一番子どもにとっても親にとっても幸せなことなのです。</p>	40代	女性
<p>家族内の事件がとて多く(TVなどで)気になっています。もう少し相談できる人がいたら良かった(当事者にならずに)のではないかと、いつも気になっています。私も59歳。退職したら、社会への恩返しに何かしたいなと思っていますが。何から手を出していいのかまったくわかりません。</p>	50代	女性
<p>性差よりも個人の持つ能力を活かせる方向を考えたほうが、変な誤解も生じずいいと思う。</p> <p>女性を何%入れなければとか、女性が専業主婦なのは悪いような一方的な雰囲気は好きではない。本人が本当にそれをしたいのであれば、主婦もいいし、何か仕事に尽きたければ、それも可能という幅の豊かさが社会にほしい。</p>	40代	女性
<p>すべての人がその個性と能力を十分に発揮することが出来る社会に、とかいうのは今の指宿には実現できそうもないと思う。理由は、収入の低い世帯が多すぎる。勤続30数年の私の年間総所得は350万円ぐらいです。夫婦働いて生計を立てていくのに精一杯で、地域活動などゆとりだのと、そういうことは別世界の事のように感じることもある。私たちのような人ばかりではないと思いますが、都会と比べてあまりにも収入が少なすぎる現状では、男女差別等の問題など、多少あっても黙認するしかないと思う。しかし、若い人たちを見て感じることは、国や地方が男女共同参画社会づくりに取り組まなくても、世代交代すれば、うまくいい方向に変わってきているのではないかと思う。指宿のような地域で税金を使って取り組むようなことではないと思う。</p>	50代	男性
<p>もっと支払いの分が安くなる方がいいのですが。国民健康保険とか保育料とか。働いても出で行くほうが大きいです。働かないと家計は苦しいし。余裕ないです。</p>	30代	女性
<p>男女共同参画は平等に女性も参加すべきであると思うが、肉体的歴史的にも完全に平等にはいかない面がある。資本主義国家である以上、適材適所の男女の分別があってよいのではないか。社会主義、共産主義国家であれば男女平等の(肉体的仕事)仕事をして、家事、育児等も平等でよいのではないか。逆に、父子家族の社会福祉は男が不利益な面もある。夫婦働くことがいるいるな面で障害が発生していると思う。子どもと接する減少により、青少年問題、夫婦の離婚問題等が山積されている?</p>	60代	男性
<p>高齢者の方が病院など受診するとき、バスの便が少ないため不便である。バスの小さめバスで、足の悪い方などが乗り降りしやすいバスにできないか?これから考えてほしい。</p>	50代	女性
<p>実のある男女共同参画社会の実現に向けて頑張ってください。</p>	60代	男性
<p>子どもも簡単に預けられる場をもっと増やしてほしい。親が、いざ入院とかなると子どもが小さいので病院へも迷惑をかけてしまうので、自分自身がイライラしてくる。いざ一時保育を頼めば多いからと言われて断られる。預けられるところは1時間が高くて預けるのに大変です。もう少し安く受け入れる場がほしい。</p>	30代	女性



とても勉強になりました。つくづく現代は時代が進むにつれ、我々昔人間はついていけないことが多いのに、意志が弱いせいかストレスがありますね。この男女共同参画社会の案は積極的に広めていいと思います。我々80代には少し遅すぎました。もっと若い世代の人にも進めた方がいいと思います。	80歳以上	女性
高齢者に対する質問としてはあまり有意義ではなかったと思う。50～60年前のことで解答に苦労した感じがいたしました。若い連中頑張ってください。	70代	男性
公民館を中心に地域に子ども～老人と一緒に気楽に生活する場所を。年を重ねると人恋しくなる様ですので、知っている人の中で過ごせる生活を願っております。	60代	女性
病院に行きたくてもタクシーか、子どもが休みのときにしか行けない。どうにかできないか。私は車椅子で移動しているため、車椅子から車への移動は少し手を貸してもらえるとできる。でも、バス等の利用はできません。	80歳以上	男性
小学生を的にした変質者が度々目撃されているみたいだが・・・。そんな人間に教育するのも社会には必要だと思います。	30代	男性
指宿市になり、これからの人生が一層楽しい生活が出来ることを願います。	60代	女性
新聞、テレビ、身近な生活環境情報から見たり聞いたりして治安の悪さ、人間としての質の変貌に言葉無く然然とする今日。道徳心の正しい指導、教育を行い、行政はじめ地域市民の個々自覚を持ち、一体となり取り組むべき必要さを感じている。楽しい住み良い町づくりを期待します。	60代	男性
女性が社会に出て行くのに口を出して悪く言う必要はない。いろいろな面で女性が社会で発揮できる才能を男性よりも持つというのは生まれではない訳で。何も比較して見下げたりしながらする行為は好ましくはない。男性が家事をしたりすることは今から本当に必要になってくる。なぜなら、結婚したら同意の上で成り立ったのだから、平等に夫婦が行動していくのが普通なのではないか。夫婦間での話し合い、また、子どもに対する接し方で子どもが変わるのは、親のせいだと思う。	30代	男性
年齢、性別、職業（地位も含めて）に関係なく、すべての人間は平等（命の重さ、人権）という基本的考え方を社会的な共通理念にしていかなければ、年齢、性差、地位等による差別はなくならないと思う。かと言って、言いたい放題、やりたい放題ということではない。お互いの敬愛の心（例えば年配の方への尊敬）も育てていくことが必要であると思う。車の両輪と同じ。	50代	男性
幼い頃から気になっていたことです。なぜ“男だから”“女だから”という理由で様々なことを決定する原因・理由になっていることにずっと疑問を抱いていました。今、性差は“セックス”ではなく“ジェンダー”です。でも、それって変です。ジェンダーが悪いとは思いません。ジェンダーと“性”の特長を活かすことは大事でしょう。でも、社会的な性差が個人の能力や尊厳を左右することはあってはならないことだと思います。	20代	女性
女性の起業の為のセミナーや、学ぶための学校などの場所を作ってほしいと思います。専門学校などほとんど鹿児島市内などにある為、仕事をしながらでも、通える場所があるとうれしいです。また子どもを持つ女性が、子ども連れでも気軽に利用できる場所の提供など、進めてほしいと思います。	20代	女性
男女共同参画社会は女性の地位向上のためにも望ましいことではありまじょうが、子どもを産み育てるその家庭での躰が教育の基本だと考える立場で！三つ子の魂百までの諺もありましたが、両親ともに同様に働く家庭では、各々の家庭の雰囲気の中で云わずと語らずに受けとめて育てていく子どもたち！！現代社会状況からしても様々な問題を感じます。（育児休暇は何歳までかよくわかっていません）	80歳以上	女性
男女共同参画社会づくりと言っていますが、まだまだ指宿では男性が強いように思います。子どもたちが学校に行くようになってPTAではほとんど母親の姿だけである。	50代	男性
鹿児島市から3年前に嫁いできたのですが、指宿市では、まだ、地域ごとで慣習が違ったり、婦人会に入らなくてはいけなかったり、とまどうことが多いです。（鹿児島市ではあまりそういうことはありませんでした）また、医療関係の職場で働いているのですが、やはり、まだ介護、子育ては女性の仕事という雰囲気があるように感じます（キーパーソンもお嫁さんということも多いです）男性は仕事をして休みをとるのもままならないということも多いと思います（夫も休みがあまり取れず、家事の手伝いをしたくても出来ないし、手の込んだ料理なんかも作れないようです）	30代	女性
（夫から暴力を受けているある人の話）「誰にも言うな」と脅された、暴力も愛情の表現だと思った、という話を聞いた。	80歳以上	女性
各種講演会を設けてくださることは大変ありがたいと思うのですが、我々が聞きたい内容のテーマは「子育て」や「家庭教育」「親の存在」など・・・。夫婦共に聞かなければいけないような内容も片方だけ聞いてもあまり意味のないものになってしまう。夫婦連れで参加できるように託児所も設けて欲しいです。 大抵の働く主婦の人は、仕事、家事、育児とほとんど自分自身の時間というのは持てないのが現実だと思われます。それに対して不満があるとも思われません。（何故なら家族のため、可愛い子どものためだから）そんな社会の片隅の中で一生懸命生きている私たちを応援するべくエールをどんどん発信してほしいものです。やる気も出てくるかと思えますよ。	40代	女性

共同参画社会大賛成です。しかし女性としては仕事と家庭のバランスを痛切に感じています。やはり女性が外で自分の仕事として責任を持ってこそその共同参画だと思ふとき、家族(男性、夫)の協力がどうしても必要だと思います。その辺のことを念頭において、おおいに参画社会づくりに頑張ってください。	70代	女性
主人の弟が同じ宅地に住んでいますが毎日気をつかいながらの生活です。何を言われるのかと不安ばかりで、今の家を出て親子で暮らしたいといつも思っています。暴言がひどく声大きいのでビクッとしたり、近所などにも結構聞こえているみたいです。迷惑ですよ。	50代	女性
あまりにもサワガすぎ。東京のマンナカとカゴシマと同じようにイキマスカ。	70代	男性
高齢のため回答が不十分ですので、若い方の意見を参考にしてください。	70代	男性
地区の中でも小さな班づくりをして、各家庭一名ずつでも年に1,2度集会をしたりするべきだと思います。名前は知っていても顔を知らなかったり、(今事件も多いですから)地域ですみやすい町づくりをするべきだと思いますが。そういう基盤があってこそ男女共同参画社会づくりへの関心へとつながると思う。まずは地域の人たちのコミュニケーションからではないでしょうか?	30代	女性
男女、結婚しない人が最近増加しているように思われます。出逢いの場や会を作ってくださいたら、少子化問題も解決するのではないのでしょうか。老婆心ながら一言申し上げます。	80歳以上	女性
男女共同参画社会づくりには基本的には賛成です。それには、男性の理解、協力が必要です。女性もただ参画するだけでなく、会合に出た場合は、正々堂々と自分の意見を発表できるよう、知識を高める必要があると思います。	70代	女性
主人の父母から、嫁は他人という気持ちを聞き、今すぐく毎日がいやです。人格を疑います。	40代	女性
子育てをしていくうえで母親まかせじゃなく、父親の協力も必要である。市や地域で育児(乳幼児)に関する教室、サークルや育児相談などを増やし、市や地域の施設を開設し育児をしている父母たちがいつでもいけるようにしてほしい。 乳幼児で受ける検診や予防接種の問診表で日時が書いていないので、いつ受けたらいいのかわからない。市の文書や検診・予防接種を受けたときに教えてほしい。連絡してほしい。 地元出身でない人を、最初の何年間かはよその人として区別する雰囲気があり、集落、公民館、市が中心として地域交流やサークル、教室を作って、よそから永住した人との区別をなくしてほしい。(老人の多い集落には区別をしている雰囲気がある) 地元出身でない人、地元の人より良く暮らせる町にしてほしい。 住宅地の近くにゴミや草木の野焼きをしている人を見る事があり、晴天の時や風のない時以外に野焼きをしてほしい。(夕方頃にしてほしい)洗濯物に煙のにおいがついたり、晴天の時は窓が開けられないことがある。	30代	女性
男性は男性としての、女性は女性としての性を持った個人として尊重されるべきだと思います。子どもを産むことは女性にしかできないことですから、これから女性が社会の中で仕事を続けながら子どもを産み育てるとなると、家事、育児の分担など男性の意識改革がもっと必要だと思います。子どもを産み育てることが仕事を続ける女性のハンディキャップにならないよう、社会全体で支えてほしい。	50代	女性
このアンケート企画、作成されました方、ご苦労様です。何の仕事も頑張ること、子育て夫婦生活。自分自身のことです。	40代	女性
とても良い企画だと思います。鹿児島は特に封建制度の名残故にか、男・女の上下関係が根強く、女性は生きにくいと思います。明治、大正の両親をいまだに持ち、育てられた夫・妻なら仕方ないとも思いますが、時代に合った観念を持ち、互いにスムーズに生活をしていけるよう、教育の場で徹底してほしい!!男、女の前に人間として。基本は男らしく、女らしくであるけど、人として高い人間性を持ってほしいと思っています。	50代	女性
私は伊豆にいて、嫁さんの方に来たのですが、良い土地柄ですが、独特のところもあり、オドロイてもいます。そのような所をなくさないと思ひます。	50代	男性
子どもが家にいてもできる仕事(内職)などの仕事をふやしてほしい	20代	女性
若い人が働ける企業の誘致 各地域にアイデア箱を置き色々な意見を集め市政に活かせば・・・と思います。	50代	男性
男女共同参画社会づくりについての講演会などを催してほしい	30代	女性
少し回答に困る質問内容があったけど、質問項目を拝見して、いろいろと考えさせられる事が多かった。	50代	男性
男女共同参画社会づくりについては賛成なのですが、子どもを産むことは女性しか出来ないのが難しいところがあると思う	40代	女性
(地域に役立ちたいかという問15に関連して)仕事、生活、介護等ゆとりができれば!と思いつつ必要な、そして自分が出来るささやかな手伝いをしています。	50代	女性
最初はこんなに沢山、と思いましたが、64歳になった今、自分を振り返る事が出来ました。ただ、今は元気で年金をもらいながら働いておりますが、仕事を辞め年金生活に入ったときの不安は隠せません。そのために健康と金銭はしっかりと蓄えないと、思っておりますが・・・なかなか。	60代	女性
よくわかりませんが、自然にそのような社会づくりができたなら良いとおもいます。	50代	女性
最近、子育て支援について考えるのですが、最近の若い母親に対しての本当の意味での支援になっているのだろうかと思う事がある。ある保育園では、リフレッシュのためといって	50代	女性

子どもを一時預かりする保育園もあるようだが、親はルンルンと楽しんできて、でも子どもは一日中泣き通し。これが子育てする人への本当の意味での支援にはならないと思います。子どもを育てるために本当に必要な支援は何なのか、子どもにとって必要なものは何なのか、どういふ事が足りないのか考えてみたいものだと思いますし、社会全体で考えるべきことだと思います。		
男性は仕事だけというのはナンセンス。家事も出来なければいけないと思う。女性はもっと社会にでるべき。お互いが自立できてこそ、本当の意味での平等だと思う。	30代	男性
この問題は永遠の問題だと思う。	50代	男性
小生、年齢60歳を超えた世代であります。 男女共同参画(社会)基本法が制定され、より多くの女性が社会に進出し、男女が協働し、尊重し合い、調和の取れた男女共同参画社会の形成に努めることは素晴らしいことと考えます。 今後、ジェンダー問題に対し、女性問題、男性問題、表裏一体の関係も視野に入れつつ、どう展開するか望むところです。今後の展開について、我々住民にとっての関心事は次の点に集中されると思ひ、希望、要望も含めて記してみました。 苦情、相談について ・一般、人権、法律、自助グループ支援について住民の悩みに対処してほしい。(男女雇用機会均等法、セクシュアルハラスメントの裁判例等の知識、理解、啓示) ・女性への人権侵害問題の解決策等 ジェンダー問題についての女性のポジティブアクションの具体化講座 ・家庭、家族、育児/教育/労働/男性学、女性学(らしさ、役割、能力)/制度・慣行、女性の地位/社会活動と家庭生活/福祉等々 男女協働の生活体験、紹介、刊行物による意識の高揚をはかる。 例)輝ける女性、ユニークな女性、企業・事業所・官公署の女性の活動の紹介。 ・民間企業等においては、看護師(男・女)/建設関係においては、建設機械女性ドライバー、女性の施行管理者等々の紹介 働く女性のためのキャリアアップ支援活動 ・情報技術講座、語学講座等々 ハローワークとの連携 就業支援活動 ・女性の建設関係への挑戦(重機・トラック運転、施行管理、測量等) ・クロス貼り(女性グループ現在多い)、型枠等 ・農業生産活動 ・フォトグラファー/創作工房/看護関係/福祉関係等々を指導紹介等 ハローワークとの連携 予算の組立て 思い切った予算も必要となろう。	60代	男性
以上走り書きしました。1つでも2つでも取り入れてもらえればうれしく思います。		
娘が二人居ますが、一人は遠くに住んで居ます。姉になる娘と二人で住んで居ますが、結婚もせずに僅かな給料で生活して居ます。自分(私)が身体障害者のため同居している次第です。	70代	女性
既婚生活の中で、亡き妻に助言されて充実した人生を経験した。現代社会の中でも女性の意見が機微を得た立派な考え方が多々あります。女性の声と行動力を活用する時代を目指すべきであります。	70代	男性
一応アンケートにお答えしましたが、明治生まれの親に育てられた私にとって「男女共同参画」の意味はあまり理解できないところがあります。ですから、すべての事に「共同」ということは賛同できません。	50代	女性
夫婦高齢のため、地域の高齢者への支援を特にお願ひします。	70代	女性
あまりに高齢のため、このような事を考えることはない。	70代	男性
男女共同参画とか男女平等とか女性の地位向上とかの言葉自体がなくなるようになってほしい	50代	男性
もう少し女性が仕事に就くのに協力がほしい。女性が仕事しやすい職場が少ない。働く場所が少ないと思います。	40代	女性
少しでも地域活動にお役に立てたらうれしいです。正直にまちがいのないようにと久しぶりに頭を使いました。昔は書くこともすきだったけど・・・。久しぶりにペンを取って字の汚いのはずかしくなりました。	70代	女性
とても良いことだと思いますが、私みたいな年では子育ても終わり、若者との考え方も違うと思います。今は、いや、ここ20年ぐらひは生活するために働くことで一生懸命です。でも子ども(よその)たちも道で会ったら、おはよう、こんにちば、より他の話までしたりする事が好きで、若者が平日に仕事をしていないように思ったら、「今日はどうしたの休み?」とか「頑張ってるね」とか色々友だちみたいに声を掛けることで、見られているんだと思うと良い大人になると思いませんか。	60代	女性
子どもの1,2年の担任は男の先生で男女別名簿でした。3年の担任は女性の先生で男女混合です。 子どもは無意識のうちに男女別があたりまえになっていますので、ぜひ学校全体(指宿市	30代	女性

の学校)で混合(名簿)にすると、これから先の男女共同参画社会づくりにも役立つのではないのでしょうか。大人の意識を変えるのは難しいですが、子どもはすんなりと受け入れると思います。だからその分、慎重に考えて行うことも大切なのですが・・・。		
指宿市に合併して社会的企画を、よりたくさん、社会環境に役立ててもらいたい。	30代	男性
私は地域活動に全く参加しておりません。理由は仕事や家庭事情もありますが、公民会費を支払うと役員・地域活動があるためです。 自分が住む地域のために役立ちたいですし、当然のことだと思うので、子どもが小学校に入るときには参加しようと思っていますが、もう少し気軽に参加できるようなシステムがあればと思います。	30代	男性
少子化をなくすために、育児費だの教育費だのをふやすよりも、まず両親が仕事が(職場との両立)できるようにお金を増やすのではなく、子どもを預かってくれるところがないと、共同参画の問題は語れないと思う。私の孫は病気のときは開聞保育園(福元医院)に預かってもらっている。そんなところをもっと増やすべきだと思う。いくら子育ての医療費や児童手当の年齢を上げて、まず初期の部分が出来ていなければ、子どもを産むことも、男女共同参画社会もできないと思う。	60代	女性
(地域に役立ちたいかという問15に関連して)子どもが手が離れて、ある程度の年齢になったら(やってみたい)	40代	女性
男女として生きて行くには、そこにはやっぱり差別的ものの考え方が生まれてくるのだと思います。 男も女も、性を意識して生きていくのではなく、人としてどうあるべきかを考えていったとき、差別などなくなるのでは・・・とつねに思っています。そして行動しています。女だからと泣き言を言ったり、男だからと強がったり、男と女の生き方自体がおかしいと思います。 人として人間として各自が生きていければ、つき合っていければ、良いことも悪いこともお互い生活していけると思う。世の中も変わっていけると思う。人々の意識を男と女にもっていかず、人間としてもっていけば、このようなナンセンスな話し合いなどなくて良いのではとつねに思っています。 暴力をふるうのが男だけとは決まっていないうし、食事の支度が女だけとは決まっていないうし、すべてにおいて一人ひとりの考え方を変えていかないと、自分自身が変わっていかないと、いつまでたっても男女平等はありえないと思います。人としてどうあるべきかを私は自分自身にも問い続けて生きていけたらと思っています。 差別は、まず、自分自身からなくしていかなければならないのではないのでしょうか？私は女だから・・・とか俺は男だから・・・とか、その気持ちをなくして、私は一人の人間だから・・・に意識を持っていけば、世の中変わっていけると私は思っています。	50代	女性
共同参画は賛成です。でも、ある程度は参画はよいが、どうしても女性は生理通とか力仕事とか、できない部分もあると思うので、どうかと思う。	50代	女性

## 2. 集計表

問1 ワーク/ライフ・バランスの満足度

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	180	19.7%	108	20.0%	66	19.0%
やや満足している	297	32.5%	168	31.1%	123	35.3%
どちらともいえない	167	18.3%	100	18.5%	61	17.5%
あまり満足していない	163	17.8%	101	18.7%	62	17.8%
満足していない	83	9.1%	52	9.6%	29	8.3%
無回答	24	2.6%	12	2.2%	7	2.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問2 家庭内での事柄の役割分担

	A 家事		B 育児		C 子どものしつけ、教育方針	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	11	1.8%	1	0.2%	21	3.4%
妻	471	76.8%	306	49.9%	123	20.1%
夫と妻が同程度	51	8.3%	113	18.4%	284	46.3%
夫・妻以外の家族	2	0.3%	4	0.7%	-	-
家族全員で分担	22	3.6%	11	1.8%	12	2.0%
家族以外の人	1	0.2%	1	0.2%	-	-
該当しない	6	1.0%	96	15.7%	92	15.0%
無回答	49	8.0%	81	13.2%	81	13.2%
合計	613	100.0%	613	100.0%	613	100.0%

	D 介護		E 集落・公民館など地域社会		F 高額な買い物の最終決定	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	10	1.6%	155	25.3%	269	43.9%
妻	157	25.6%	142	23.2%	27	4.4%
夫と妻が同程度	53	8.7%	199	32.5%	218	35.6%
夫・妻以外の家族	6	1.0%	6	1.0%	4	0.7%
家族全員で分担	20	3.3%	20	3.3%	2	0.3%
家族以外の人	7	1.1%	1	0.2%	2	0.3%
該当しない	275	44.9%	34	5.6%	33	5.4%
無回答	85	13.9%	56	9.1%	58	9.5%
合計	613	100.0%	613	100.0%	613	100.0%

問3 離婚に関する考え方

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
離婚すべきでない	186	20.4%	92	17.0%	86	24.7%
子どもがいなければ、事情によってはやむをえない	166	18.2%	99	18.3%	66	19.0%
子どもの有無にかかわらず、事情によってはやむをえない	429	46.9%	285	52.7%	137	39.4%
愛情がなくなれば、離婚すべき	46	5.0%	23	4.3%	22	6.3%
わからない	64	7.0%	34	6.3%	28	8.1%
無回答	23	2.5%	8	1.5%	9	2.6%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問4 自分らしくいきいきと暮らすために必要なこと(複数回答)

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
通念、慣習、しきたり改める	167	18.3%	96	17.7%	70	20.1%
仕事中心改める	106	11.6%	49	9.1%	56	16.1%
男性の家事参画抵抗感なくす	148	16.2%	90	16.6%	56	16.1%
男性・女性の生活・経済の自立	259	28.3%	162	29.9%	91	26.2%
家族で理解し、家事分担など話し合う	391	42.8%	248	45.8%	131	37.6%
家事を性別によらずできるように育て方	325	35.6%	231	42.7%	87	25.0%
男性の男女共同参画関心高める	70	7.7%	35	6.5%	34	9.8%
女性の男女共同参画関心高める	29	3.2%	14	2.6%	14	4.0%
学校・職場・社会で男女平等の理解・学習を増やす	136	14.9%	65	12.0%	66	19.0%
労働時間短縮・休暇制度普及	150	16.4%	83	15.3%	64	18.4%
在宅勤務などの普及させる	104	11.4%	71	13.1%	32	9.2%
育児・介護を社会で支える制度を充実	381	41.7%	236	43.6%	141	40.5%
わからない	39	4.3%	20	3.7%	18	5.2%
無回答	37	4.1%	14	2.6%	15	4.3%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問5 育児の社会支援に対する考え方

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
基本的には家族が行うもので、社会の支援は必要ない	66	7.2%	33	6.1%	30	8.6%
基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある	605	66.2%	363	67.1%	232	66.7%
家族だけでは負担が大きいため、社会が積極的に支援する必要がある	128	14.0%	80	14.8%	47	13.5%
家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである	31	3.4%	17	3.1%	12	3.5%
わからない	43	4.7%	31	5.7%	11	3.2%
無回答	41	4.5%	17	3.1%	16	4.6%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問6 子育ての不安・悩み（複数回答）

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
時間を十分にとれない	250	27.4%	137	25.3%	108	31.0%
接し方に自信がない	200	21.9%	129	23.8%	70	20.1%
子育てで配偶者・パートナーと意見が合わない	133	14.6%	94	17.4%	37	10.6%
受験・将来のことで配偶者・パートナーと意見が合わない	72	7.9%	47	8.7%	23	6.6%
周りの協力が得られない	95	10.4%	78	14.4%	17	4.9%
子育てで周りの目が気になる	74	8.1%	49	9.1%	24	6.9%
相談する人・場所がない	131	14.3%	87	16.1%	42	12.1%
急に預けられる場所がない	207	22.7%	135	25.0%	71	20.4%
問題がおこると自分のせいにされる	40	4.4%	31	5.7%	8	2.3%
急な病気のときの対応に困る	203	22.2%	117	21.6%	84	24.1%
特にない	131	14.3%	71	13.1%	56	16.1%
その他	71	7.8%	49	9.1%	20	5.8%
無回答	142	15.5%	70	12.9%	62	17.8%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問7 介護の社会支援に対する考え方

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
基本的には家族が行うもので、社会の支援は必要ない	23	2.5%	11	2.0%	9	2.6%
基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある	394	43.1%	231	42.7%	154	44.3%
家族だけでは負担が大きいため、社会が積極的に支援する必要がある	406	44.4%	249	46.0%	148	42.5%
家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである	58	6.4%	35	6.5%	23	6.6%
わからない	17	1.9%	10	1.9%	7	2.0%
無回答	16	1.8%	5	0.9%	7	2.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問8 有償労働、無償労働の状況

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
収入になる仕事をしている	507	55.5%	285	52.7%	217	62.4%
無給でも仕事をしている	72	7.9%	46	8.5%	22	6.3%
収入になる仕事をしていない	299	32.7%	188	34.8%	100	28.7%
無回答	36	3.9%	22	4.1%	9	2.6%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問9 仕事に就いている理由（複数回答）

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
生計を維持する	371	64.1%	184	55.6%	186	77.8%
家計の足しにする	184	31.8%	128	38.7%	54	22.6%
住宅ローンなど借返済	119	20.6%	61	18.4%	58	24.3%
教育資金を得る	98	16.9%	52	15.7%	46	19.3%
将来に備え貯蓄	243	42.0%	138	41.7%	103	43.1%
自由に使えるお金を得る	158	27.3%	97	29.3%	58	24.3%
生きがいを得る	184	31.8%	112	33.8%	70	29.3%
能力・資格・技術を活かす	109	18.8%	68	20.5%	41	17.2%
視野広げる・友人を得る	117	20.2%	74	22.4%	41	17.2%
社会に貢献する	79	13.6%	33	10.0%	46	19.3%
仕事が好き	124	21.4%	82	24.8%	41	17.2%
働くのが当然	201	34.7%	90	27.2%	108	45.2%
時間に余裕がある	47	8.1%	38	11.5%	9	3.8%
家業である	101	17.4%	58	17.5%	40	16.7%
仕事をしないと世間体が悪い	29	5.0%	18	5.4%	10	4.2%
その他	12	2.1%	9	2.7%	3	1.3%
特に理由はない	10	1.7%	5	1.5%	4	1.7%
わからない	1	0.2%	1	0.3%	-	-
無回答	13	2.3%	8	2.4%	5	2.1%
合計	579	100.0%	331	100.0%	239	100.0%

問10 働く場での性別による処遇の差（複数回答）

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
賃金に差	100	17.3%	55	16.6%	44	18.4%
昇進・昇格に差	51	8.8%	28	8.5%	22	9.2%
能力評価に差	42	7.3%	21	6.3%	20	8.4%
幹部登用に差	38	6.6%	22	6.7%	15	6.3%
女性を一人前に見ない	16	2.8%	10	3.0%	5	2.1%
男性は一人前に見ない	7	1.2%	1	0.3%	5	2.1%
女性は補助的な仕事	18	3.1%	8	2.4%	9	3.8%
男性は補助的な仕事	2	0.4%	-	-	1	0.4%
女性は育休・介護休取りにくい	46	7.9%	27	8.2%	18	7.5%
男性は育休・介護休取りにくい	82	14.2%	21	6.3%	59	24.7%
女性は結婚・出産により続けにくい	55	9.5%	33	10.0%	21	8.8%
男性は結婚・出産により続けにくい	2	0.4%	1	0.3%	1	0.4%
女性は定年まで続けにくい	26	4.5%	18	5.4%	6	2.5%
男性は定年まで続けにくい	8	1.4%	2	0.6%	6	2.5%
共働きは妻（または夫）が続けにくい	26	4.5%	15	4.5%	10	4.2%
女性は教育・訓練が少ない	27	4.7%	16	4.8%	9	3.8%
男性は教育・訓練が少ない	7	1.2%	-	-	7	2.9%
女性は経営方針に意見を言いにくい	57	9.8%	42	12.7%	14	5.9%
男性は経営方針に意見を言いにくい	8	1.4%	1	0.3%	7	2.9%
その他	50	8.6%	26	7.9%	23	9.6%
性別による差はない	220	38.0%	138	41.7%	81	33.9%
無回答	82	14.2%	47	14.2%	30	12.6%
合計	579	100.0%	331	100.0%	239	100.0%

問11 働く上での取り決めの有無

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
文章化された取り決めあり	226	39.0%	120	36.3%	105	43.9%
文章化していないが、合意の取り決めあり	88	15.2%	48	14.5%	40	16.7%
取り決めなし	137	23.7%	87	26.3%	49	20.5%
取り決めあるかわからない	36	6.2%	25	7.6%	11	4.6%
無回答	92	15.9%	51	15.4%	34	14.2%
合計	579	100.0%	331	100.0%	239	100.0%

問12 働く上での取り決めの実効性

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
守られている	149	47.5%	85	50.6%	63	43.5%
どちらかという守られている	128	40.8%	63	37.5%	65	44.8%
どちらかという守られていない	30	9.6%	15	8.9%	15	10.3%
守られていない	7	2.2%	5	3.0%	2	1.4%
無回答	-	-	-	-	-	-
合計	314	100.0%	168	100.0%	145	100.0%

問13 仕事に就いていない理由（複数回答）

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経済的に働く必要ない	34	11.4%	20	10.6%	13	13.0%
自分のやりたいことができる	9	3.0%	4	2.1%	5	5.0%
家事・育児に専念が当然	12	4.0%	11	5.9%	1	1.0%
家事負担が大きい	4	1.3%	3	1.6%	1	1.0%
育児負担が大きい	4	1.3%	4	2.1%	-	-
健康・体力に自信がない	82	27.4%	50	26.6%	31	31.0%
希望通りの仕事がない	23	7.7%	16	8.5%	6	6.0%
仕事の募集がない	26	8.7%	16	8.5%	10	10.0%
家族が望まない	5	1.7%	4	2.1%	1	1.0%
親・病気の家族の世話	21	7.0%	13	6.9%	8	8.0%
学校に通っている	5	1.7%	5	2.7%	-	-
高齢だから	170	56.9%	103	54.8%	59	59.0%
働くことに向いていない	-	-	-	-	-	-
働くことが好きではない	-	-	-	-	-	-
やりがいのある仕事がない	5	1.7%	2	1.1%	3	3.0%
配偶者の転職	2	0.7%	2	1.1%	-	-
その他	27	9.0%	18	9.6%	8	8.0%
特に理由はない	19	6.4%	11	5.9%	7	7.0%
わからない	5	1.7%	3	1.6%	2	2.0%
無回答	15	5.0%	6	3.2%	8	8.0%
合計	299	100.0%	188	100.0%	100	100.0%

問14 仕事に就いていない人の就業希望

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
すぐにも仕事をしたい	34	11.4%	23	12.2%	11	11.0%
将来的には仕事をしたい	38	12.7%	26	13.8%	11	11.0%
仕事をしたいと思わない	102	34.1%	58	30.9%	43	43.0%
わからない	54	18.1%	38	20.2%	14	14.0%
無回答	71	23.8%	43	22.9%	21	21.0%
合計	299	100.0%	188	100.0%	100	100.0%

問15 社会貢献の意欲

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常にそう思う	81	8.9%	37	6.8%	41	11.8%
かなりそう思う	163	17.8%	74	13.7%	86	24.7%
少しそう思う	468	51.2%	302	55.8%	158	45.4%
あまり思わない	148	16.2%	98	18.1%	48	13.8%
全く思わない	20	2.2%	15	2.8%	5	1.4%
無回答	34	3.7%	15	2.8%	10	2.9%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問16 地域の課題として重要だと思うこと

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
しっかりとした防災・災害対策	276	30.2%	150	27.7%	118	33.9%
集会施設の整備	46	5.0%	22	4.1%	24	6.9%
空き店舗・空家の活用	77	8.4%	41	7.6%	36	10.3%
安全な道路整備	190	20.8%	105	19.4%	81	23.3%
利用しやすい公園整備	91	10.0%	59	10.9%	32	9.2%
車椅子・ベビーカー・外出しやすいまちづくり	61	6.7%	44	8.1%	15	4.3%
ごみ分別・リサイクル推進	87	9.5%	56	10.4%	29	8.3%
祭り・イベント充実	41	4.5%	25	4.6%	14	4.0%
スポーツ・文化活動充実	37	4.1%	15	2.8%	22	6.3%
文化・史跡の保護・継承	25	2.7%	11	2.0%	14	4.0%
学習機会の充実	55	6.0%	37	6.8%	17	4.9%
高齢者の支援・見守り	235	25.7%	142	26.3%	89	25.6%
子どもの支援・見守り	163	17.8%	87	16.1%	74	21.3%
外国人の支援	-	-	-	-	-	-
介護支援	144	15.8%	92	17.0%	51	14.7%
子育て支援	89	9.7%	59	10.9%	29	8.3%
活動しやすい地域づくり	125	13.7%	63	11.7%	60	17.2%
参加しやすい地域活動の検討	222	24.3%	131	24.2%	89	25.6%
わからない	55	6.0%	42	7.8%	13	3.7%
無回答	70	7.7%	39	7.2%	21	6.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問17 地域の慣習・しきたりの現状

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
子どもがいない世帯、中高年の独居、若い独身者に期待していない	136	14.9%	74	13.7%	61	17.5%
地元出身でない人を「よその人」と区別する	110	12.0%	57	10.5%	53	15.2%
女性・若者は男性・年長者に従ったほうがよい(従うものだ)	139	15.2%	83	15.3%	54	15.5%
団体の長・代表には男性になるほうがよい(なるものだ)	235	25.7%	124	22.9%	107	30.8%
女性が自分の意見を発言することに批判的	46	5.0%	34	6.3%	12	3.5%
女性は役割や仕事の経験を積む機会から遠ざけられている	31	3.4%	19	3.5%	12	3.5%
責任者は男性、女性は補佐役が多い	167	18.3%	92	17.0%	71	20.4%
役員名簿は夫の名前、実際は妻が役割をはたしている	279	30.5%	175	32.4%	99	28.5%
湯茶・食事の準備・後片付けは女性の役割	411	45.0%	260	48.1%	146	42.0%
変革を求める人を煙たがる	95	10.4%	57	10.5%	38	10.9%
清掃作業などで、世帯の男性の代わりに女性が出ると負担金	26	2.8%	18	3.3%	6	1.7%
互いに助け合うために貢献しようという意識があまりない	145	15.9%	84	15.5%	58	16.7%
特にこのようなことはない	215	23.5%	137	25.3%	74	21.3%
無回答	67	7.3%	32	5.9%	24	6.9%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問18 さまざまな場での平等感

A 家庭生活

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常に平等	90	9.9%	56	10.4%	33	9.5%
かなり平等	279	30.5%	145	26.8%	131	37.6%
少し平等	249	27.2%	154	28.5%	90	25.9%
あまり平等でない	169	18.5%	110	20.3%	57	16.4%
全く平等でない	60	6.6%	43	8.0%	16	4.6%
無回答	67	7.3%	33	6.1%	21	6.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%
平均		3.2		3.1		3.3



B 働く場

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常に平等	58	6.4%	34	6.3%	24	6.9%
かなり平等	240	26.3%	131	24.2%	106	30.5%
少し平等	255	27.9%	153	28.3%	99	28.5%
あまり平等でない	190	20.8%	123	22.7%	65	18.7%
全く平等でない	35	3.8%	20	3.7%	15	4.3%
無回答	136	14.9%	80	14.8%	39	11.2%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%
平均	3.1		3.1		3.2	

C 地域社会

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常に平等	60	6.6%	31	5.7%	28	8.1%
かなり平等	211	23.1%	108	20.0%	98	28.2%
少し平等	322	35.2%	200	37.0%	118	33.9%
あまり平等でない	192	21.0%	127	23.5%	64	18.4%
全く平等でない	43	4.7%	28	5.2%	15	4.3%
無回答	86	9.4%	47	8.7%	25	7.2%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%
平均	3.1		3.0		3.2	

問19 固定的な性別役割分担意識

A 「男性は仕事、女性は家事・育児」と役割を分担するほうがよい

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	93	10.2%	48	8.9%	43	12.4%
どちらかといえば思う	223	24.4%	106	19.6%	111	31.9%
どちらともいえない	246	26.9%	168	31.1%	76	21.8%
どちらかといえば思わない	83	9.1%	56	10.4%	27	7.8%
そう思わない	214	23.4%	141	26.1%	71	20.4%
無回答	55	6.0%	22	4.1%	20	5.8%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

B 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	324	35.5%	160	29.6%	160	46.0%
どちらかといえば思う	264	28.9%	163	30.1%	95	27.3%
どちらともいえない	162	17.7%	121	22.4%	41	11.8%
どちらかといえば思わない	40	4.4%	27	5.0%	13	3.7%
そう思わない	70	7.7%	49	9.1%	21	6.0%
無回答	54	5.9%	21	3.9%	18	5.2%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

C 妻や子どもを養うのは、男性の責任である

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	336	36.8%	154	28.5%	179	51.4%
どちらかといえば思う	263	28.8%	173	32.0%	88	25.3%
どちらともいえない	146	16.0%	102	18.9%	38	10.9%
どちらかといえば思わない	34	3.7%	23	4.3%	11	3.2%
そう思わない	76	8.3%	63	11.7%	12	3.5%
無回答	59	6.5%	26	4.8%	20	5.8%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

D 女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	177	19.4%	118	21.8%	54	15.5%
どちらかといえば思う	263	28.8%	161	29.8%	100	28.7%
どちらともいえない	239	26.2%	130	24.0%	104	29.9%
どちらかといえば思わない	84	9.2%	49	9.1%	35	10.1%
そう思わない	90	9.9%	55	10.2%	34	9.8%
無回答	61	6.7%	28	5.2%	21	6.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

E 女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	272	29.8%	169	31.2%	96	27.6%
どちらかといえば思う	301	32.9%	175	32.4%	122	35.1%
どちらともいえない	176	19.3%	111	20.5%	64	18.4%
どちらかといえば思わない	70	7.7%	44	8.1%	26	7.5%
そう思わない	41	4.5%	22	4.1%	18	5.2%
無回答	54	5.9%	20	3.7%	22	6.3%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

F 結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	324	35.5%	184	34.0%	133	38.2%
どちらかといえば思う	162	17.7%	94	17.4%	66	19.0%
どちらともいえない	235	25.7%	152	28.1%	82	23.6%
どちらかといえば思わない	35	3.8%	27	5.0%	8	2.3%
そう思わない	102	11.2%	60	11.1%	41	11.8%
無回答	56	6.1%	24	4.4%	18	5.2%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

G 冠婚葬祭の「のし袋」などに、夫だけではなく妻の氏名も連名で書くほうがよい

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	97	10.6%	44	8.1%	52	14.9%
どちらかといえば思う	110	12.0%	60	11.1%	47	13.5%
どちらともいえない	294	32.2%	183	33.8%	106	30.5%
どちらかといえば思わない	91	10.0%	52	9.6%	39	11.2%
そう思わない	259	28.3%	174	32.2%	83	23.9%
無回答	63	6.9%	28	5.2%	21	6.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

H 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	202	22.1%	132	24.4%	67	19.3%
どちらかといえば思う	224	24.5%	118	21.8%	101	29.0%
どちらともいえない	271	29.7%	170	31.4%	97	27.9%
どちらかといえば思わない	59	6.5%	38	7.0%	21	6.0%
そう思わない	100	10.9%	62	11.5%	38	10.9%
無回答	58	6.4%	21	3.9%	24	6.9%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

I 男性の方が女性より、管理職としての素質がある

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	120	13.1%	77	14.2%	42	12.1%
どちらかといえば思う	163	17.8%	97	17.9%	64	18.4%
どちらともいえない	360	39.4%	222	41.0%	132	37.9%
どちらかといえば思わない	55	6.0%	32	5.9%	23	6.6%
そう思わない	152	16.6%	85	15.7%	64	18.4%
無回答	64	7.0%	28	5.2%	23	6.6%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

J 職場で来客にお茶を出すのは女性がしたほうがよい

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	289	31.6%	173	32.0%	108	31.0%
どちらかといえば思う	302	33.0%	174	32.2%	126	36.2%
どちらともいえない	157	17.2%	112	20.7%	43	12.4%
どちらかといえば思わない	32	3.5%	18	3.3%	14	4.0%
そう思わない	74	8.1%	40	7.4%	34	9.8%
無回答	60	6.6%	24	4.4%	23	6.6%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

K 育児休業は、男性より女性がとった方がよい

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	380	41.6%	224	41.4%	148	42.5%
どちらかといえば思う	263	28.8%	156	28.8%	105	30.2%
どちらともいえない	141	15.4%	93	17.2%	47	13.5%
どちらかといえば思わない	28	3.1%	17	3.1%	10	2.9%
そう思わない	45	4.9%	28	5.2%	17	4.9%
無回答	57	6.2%	23	4.3%	21	6.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

L 介護休業は、男性より女性がとった方がよい

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	207	22.7%	126	23.3%	77	22.1%
どちらかといえば思う	202	22.1%	108	20.0%	89	25.6%
どちらともいえない	331	36.2%	217	40.1%	112	32.2%
どちらかといえば思わない	45	4.9%	24	4.4%	20	5.8%
そう思わない	76	8.3%	47	8.7%	29	8.3%
無回答	53	5.8%	19	3.5%	21	6.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問20 学校教育における男女平等意識の醸成の妨げについて

A 性別により進路指導をすること

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常に思う	116	12.7%	67	12.4%	49	14.1%
かなり思う	141	15.4%	80	14.8%	59	17.0%
少し思う	150	16.4%	94	17.4%	55	15.8%
あまり思わない	249	27.2%	160	29.6%	86	24.7%
全く思わない	175	19.2%	102	18.9%	72	20.7%
無回答	83	9.1%	38	7.0%	27	7.8%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%
平均	2.7		2.7		2.8	

B 名簿、整列、点呼など男女別になっていること

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常に思う	43	4.7%	21	3.9%	22	6.3%
かなり思う	86	9.4%	49	9.1%	36	10.3%
少し思う	153	16.7%	89	16.5%	61	17.5%
あまり思わない	368	40.3%	240	44.4%	126	36.2%
全く思わない	178	19.5%	101	18.7%	76	21.8%
無回答	86	9.4%	41	7.6%	27	7.8%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%
平均	2.3		2.3		2.4	

C ランドセルや学習用具など、男女の色分けがされていること

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常に思う	65	7.1%	36	6.7%	29	8.3%
かなり思う	94	10.3%	52	9.6%	40	11.5%
少し思う	143	15.7%	89	16.5%	53	15.2%
あまり思わない	324	35.5%	204	37.7%	118	33.9%
全く思わない	197	21.6%	116	21.4%	80	23.0%
無回答	91	10.0%	44	8.1%	28	8.1%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%
平均	2.4		2.4		2.4	

D 生徒会や学級委員等の選出を性別により固定化していること

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常に思う	92	10.1%	40	7.4%	52	14.9%
かなり思う	142	15.5%	89	16.5%	51	14.7%
少し思う	184	20.1%	116	21.4%	66	19.0%
あまり思わない	246	26.9%	158	29.2%	86	24.7%
全く思わない	161	17.6%	95	17.6%	64	18.4%
無回答	89	9.7%	43	8.0%	29	8.3%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%
平均	2.7		2.6		2.8	

E 「男らしく」「女らしく」ふるまうように言うこと

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常に思う	117	12.8%	58	10.7%	59	17.0%
かなり思う	126	13.8%	73	13.5%	50	14.4%
少し思う	212	23.2%	143	26.4%	68	19.5%
あまり思わない	252	27.6%	156	28.8%	95	27.3%
全く思わない	131	14.3%	76	14.1%	53	15.2%
無回答	76	8.3%	35	6.5%	23	6.6%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%
平均	2.8		2.8		2.9	

問21 セクシュアル・ハラスメントの被害

A 容姿・年齢・結婚などについて、あれこれと話題にされた

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	165	18.1%	117	21.6%	48	13.8%
経験ない・見聞きしたことがある	354	38.7%	203	37.5%	147	42.2%
経験ない・見聞きしたこともない	283	31.0%	173	32.0%	107	30.8%
無回答	112	12.3%	48	8.9%	46	13.2%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

B からだをじろじろ見られた

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	102	11.2%	84	15.5%	18	5.2%
経験ない・見聞きしたことがある	262	28.7%	149	27.5%	113	32.5%
経験ない・見聞きしたこともない	424	46.4%	252	46.6%	167	48.0%
無回答	126	13.8%	56	10.4%	50	14.4%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

C 宴会などでお酌・デュエット・ダンスなどを強要された

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	131	14.3%	110	20.3%	21	6.0%
経験ない・見聞きしたことがある	271	29.7%	150	27.7%	121	34.8%
経験ない・見聞きしたこともない	378	41.4%	225	41.6%	148	42.5%
無回答	134	14.7%	56	10.4%	58	16.7%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

D 性的な冗談やひわいなことを話題にされた

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	134	14.7%	104	19.2%	29	8.3%
経験ない・見聞きしたことがある	294	32.2%	158	29.2%	134	38.5%
経験ない・見聞きしたこともない	359	39.3%	225	41.6%	132	37.9%
無回答	127	13.9%	54	10.0%	53	15.2%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

E 異性にわざと身体をさわられた

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	121	13.2%	101	18.7%	20	5.8%
経験ない・見聞きしたことがある	233	25.5%	133	24.6%	100	28.7%
経験ない・見聞きしたこともない	429	46.9%	252	46.6%	173	49.7%
無回答	131	14.3%	55	10.2%	55	15.8%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

F しつこく交際を求められた

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	49	5.4%	46	8.5%	3	0.9%
経験ない・見聞きしたことがある	210	23.0%	133	24.6%	76	21.8%
経験ない・見聞きしたこともない	521	57.0%	305	56.4%	212	60.9%
無回答	134	14.7%	57	10.5%	57	16.4%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

G 職場でヌードポスターなどを貼られた

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	3	0.3%	-	-	3	0.9%
経験ない・見聞きしたことがある	47	5.1%	24	4.4%	23	6.6%
経験ない・見聞きしたこともない	733	80.2%	461	85.2%	268	77.0%
無回答	131	14.3%	56	10.4%	54	15.5%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

H 地位を利用して性的な関係を迫られた

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	18	2.0%	17	3.1%	1	0.3%
経験ない・見聞きしたことがある	98	10.7%	54	10.0%	43	12.4%
経験ない・見聞きしたこともない	664	72.7%	413	76.3%	247	71.0%
無回答	134	14.7%	57	10.5%	57	16.4%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

I 性的なうわさを流された

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	28	3.1%	23	4.3%	5	1.4%
経験ない・見聞きしたことがある	125	13.7%	69	12.8%	56	16.1%
経験ない・見聞きしたこともない	631	69.0%	393	72.6%	233	67.0%
無回答	130	14.2%	56	10.4%	54	15.5%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問22 配偶者等からの暴力に対する認識

A 平手で打つ

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	438	47.9%	264	48.8%	172	49.4%
暴力の場合と、そうでない場合がある	378	41.4%	226	41.8%	145	41.7%
暴力にあたるとは思わない	26	2.8%	16	3.0%	10	2.9%
無回答	72	7.9%	35	6.5%	21	6.0%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

B 足でける

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	636	69.6%	387	71.5%	243	69.8%
暴力の場合と、そうでない場合がある	181	19.8%	102	18.9%	77	22.1%
暴力にあたるとは思わない	21	2.3%	16	3.0%	5	1.4%
無回答	76	8.3%	36	6.7%	23	6.6%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

C 身体を傷つける可能性のあるものでなくる

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	768	84.0%	462	85.4%	298	85.6%
暴力の場合と、そうでない場合がある	51	5.6%	30	5.6%	21	6.0%
暴力にあたるとは思わない	15	1.6%	10	1.9%	5	1.4%
無回答	80	8.8%	39	7.2%	24	6.9%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

D なくるふりをして、おどす

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	376	41.1%	230	42.5%	143	41.1%
暴力の場合と、そうでない場合がある	357	39.1%	214	39.6%	140	40.2%
暴力にあたるとは思わない	90	9.9%	56	10.4%	32	9.2%
無回答	91	10.0%	41	7.6%	33	9.5%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

E 刃物などを突きつけて、おどす

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	772	84.5%	462	85.4%	303	87.1%
暴力の場合と、そうでない場合がある	44	4.8%	27	5.0%	16	4.6%
暴力にあたるとは思わない	16	1.8%	13	2.4%	3	0.9%
無回答	82	9.0%	39	7.2%	26	7.5%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

F 嫌がっているのに性的な行為を強要する

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	639	69.9%	383	70.8%	250	71.8%
暴力の場合と、そうでない場合がある	158	17.3%	93	17.2%	63	18.1%
暴力にあたるとは思わない	33	3.6%	23	4.3%	10	2.9%
無回答	84	9.2%	42	7.8%	25	7.2%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

G 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	467	51.1%	273	50.5%	191	54.9%
暴力の場合と、そうでない場合がある	264	28.9%	162	29.9%	99	28.5%
暴力にあたるとは思わない	98	10.7%	62	11.5%	34	9.8%
無回答	85	9.3%	44	8.1%	24	6.9%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

H 何を言っても長期間無視し続ける

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	355	38.8%	220	40.7%	133	38.2%
暴力の場合と、そうでない場合がある	347	38.0%	201	37.2%	142	40.8%
暴力にあたるとは思わない	124	13.6%	78	14.4%	46	13.2%
無回答	88	9.6%	42	7.8%	27	7.8%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

I 交友関係や電話を細かく監視する

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	351	38.4%	207	38.3%	141	40.5%
暴力の場合と、そうでない場合がある	342	37.4%	207	38.3%	132	37.9%
暴力にあたるとは思わない	134	14.7%	85	15.7%	47	13.5%
無回答	87	9.5%	42	7.8%	28	8.1%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

J 「誰のおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」とか言う

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	466	51.0%	294	54.3%	171	49.1%
暴力の場合と、そうでない場合がある	281	30.7%	148	27.4%	126	36.2%
暴力にあたるとは思わない	86	9.4%	59	10.9%	27	7.8%
無回答	81	8.9%	40	7.4%	24	6.9%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

K 大声でどなる

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	326	35.7%	212	39.2%	112	32.2%
暴力の場合と、そうでない場合がある	400	43.8%	223	41.2%	172	49.4%
暴力にあたるとは思わない	111	12.1%	67	12.4%	42	12.1%
無回答	77	8.4%	39	7.2%	22	6.3%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

L 常に命令口調で話す

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	348	38.1%	220	40.7%	125	35.9%
暴力の場合と、そうでない場合がある	357	39.1%	205	37.9%	148	42.5%
暴力にあたるとは思わない	125	13.7%	74	13.7%	50	14.4%
無回答	84	9.2%	42	7.8%	25	7.2%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

M 家に生活費を入れない

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたる	529	57.9%	321	59.3%	203	58.3%
暴力の場合と、そうでない場合がある	185	20.2%	102	18.9%	81	23.3%
暴力にあたるとは思わない	118	12.9%	80	14.8%	38	10.9%
無回答	82	9.0%	38	7.0%	26	7.5%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問2 3 配偶者等からの暴力を受けた経験

A 身体的暴力

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1, 2度あった	150	16.4%	106	19.6%	42	12.1%
何度もあった	62	6.8%	57	10.5%	5	1.4%
まったくない	625	68.4%	345	63.8%	275	79.0%
無回答	77	8.4%	33	6.1%	26	7.5%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

B 精神的暴力

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1, 2度あった	102	11.2%	72	13.3%	30	8.6%
何度もあった	47	5.1%	40	7.4%	6	1.7%
まったくない	679	74.3%	391	72.3%	282	81.0%
無回答	86	9.4%	38	7.0%	30	8.6%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

C 性的暴力

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1, 2度あった	75	8.2%	63	11.7%	12	3.5%
何度もあった	40	4.4%	37	6.8%	3	0.9%
まったくない	710	77.7%	403	74.5%	301	86.5%
無回答	89	9.7%	38	7.0%	32	9.2%
合計	914	100.0%	541	100.0%	348	100.0%

問2 4 配偶者等からの暴力を受けたときの相談先

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
配偶者暴力相談支援センター	4	1.5%	3	1.5%	1	1.5%
警察	5	1.9%	3	1.5%	1	1.5%
法務局・地方法務局、人権擁護委員	4	1.5%	2	1.0%	2	3.1%
県男女共同参画センター	-	-	-	-	-	-
市の婦人相談員	2	0.8%	2	1.0%	-	-
他の市町村の相談窓口	-	-	-	-	-	-
1～6以外の公的機関	2	0.8%	2	1.0%	-	-
民間の専門家・専門機関	7	2.6%	4	2.0%	3	4.6%
医療関係者	3	1.1%	3	1.5%	-	-
学校関係者	1	0.4%	1	0.5%	-	-
家族や親戚	74	27.8%	66	33.3%	8	12.3%
友人、知人	70	26.3%	58	29.3%	12	18.5%
その他	5	1.9%	5	2.5%	-	-
相談しなかった	119	44.7%	81	40.9%	36	55.4%
無回答	23	8.7%	13	6.6%	10	15.4%
合計	266	100.0%	198	100.0%	65	100.0%

問2 5 配偶者等からの暴力を受けたときに相談しなかった(できなかった)理由

	合計		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どこ(だれ)に相談してよいかわからなかった	9	7.6%	7	8.6%	2	5.6%
恥ずかしくて誰にもいえなかった	20	16.8%	17	21.0%	3	8.3%
相談しても無駄だと思った	25	21.0%	17	21.0%	8	22.2%
相談が分かると返し・もっとひどい暴力を受けるといった	5	4.2%	5	6.2%	-	-
加害者に「誰にも言うな」と脅された	1	0.8%	1	1.2%	-	-
相談相手の言動に不快な思いをさせられると思った	2	1.7%	1	1.2%	1	2.8%
自分さえがまんすればよいと思った	29	24.4%	27	33.3%	2	5.6%
世間体が悪い	8	6.7%	8	9.9%	-	-
他人を巻き込みたくなかった	9	7.6%	7	8.6%	2	5.6%
他人に知られるとこれまでどおりのつきあいができなくなるといった	5	4.2%	5	6.2%	-	-
思い出しただけでよかった	12	10.1%	9	11.1%	3	8.3%
自分にも悪いところがあると思った	42	35.3%	28	34.6%	13	36.1%
相手の行為は愛情表現だと思った	12	10.1%	5	6.2%	7	19.4%
相談するほどのことではないと思った	66	55.5%	42	51.9%	23	63.9%
その他	4	3.4%	2	2.5%	2	5.6%
無回答	-	-	-	-	-	-
合計	119	100.0%	81	100.0%	36	100.0%

# 男女共同参画社会についての市民意識調査

～あなたのご意見をお聴かせください～

## 調査の趣旨とご協力のお願い

平素より、市政の推進につきましては、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、男女共同参画社会の実現によって、誰もが「個」として尊重され、自分らしく暮らすことができるまちをめざして、旧指宿市の「指宿市男女共同参画基本計画」を見直し、新しい指宿市の基本計画の策定を予定しています。このため、市民のみなさんのご意見や実態を把握し、基本計画の見直しと今後の施策に反映させる重要な基礎資料とするために、今回の調査を実施いたします。

この調査は、20歳以上の市民2000名を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いしております。回答は無記名で、結果はすべて統計数字として処理いたしますので個人を特定されることはありません。プライバシー保護には細心の配慮をいたしますので、あなたご自身のお考えや現状をお答えください。

ご多忙のところお手数をおかけいたしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成18年 9月 指宿市長 田原迫 要

## ～ご記入にあたって～

- 1 この調査のご記入は、封筒のあて名の方ご本人にお願いします。
- 2 回答は、調査票に直接ご記入ください。
- 3 回答は、調査票のあてはまる項目の番号に直接（まる）をつけてください。
- 4 質問によっては、ある条件に該当する方だけにご回答いただくものがありますので、説明にしたがって最後までおすすみください。
- 5 すべてのご記入が終わりましたら、お手数ですが、記入もれがないかお確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は要りません）に入れ、9月14日（木）までに郵便ポストへ投函してください。

<問い合わせ先>

指宿市役所 企画財政部企画課 男女共同参画推進係  
〒891-0497 指宿市十町2424番地  
電話22-2111（内線225）

暮らし・生き方について

問1 あなたは、ご自分の暮らしを振り返ったときに、仕事（家事専業の方は、家事労働）・家庭生活・趣味・社会活動・余暇などのバランス（使っている時間など）について満足していますか。あてはまる番号を1つお選びください。

満足 している	やや満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足して いない
1	2	3	4	5

問2 〔現在結婚している方、届け出を出してなくても一緒に暮らしている事実婚の方におたずねします。それ以外の方は問3へお進みください。〕あなたの家では、現在、次にあげる家庭内での事柄を主に誰が行っていますか。A～Fのそれぞれについて、右欄の1～7のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。（育児・介護については、現在該当していなくても、過去に経験があればそれをもとにお答えください。該当しない場合は、7にをつけてください。）

	夫	妻	夫と妻が同程度	夫・妻以外の家族	家族全員で分担	家族以外の人	該当しない
A 家事	1	2	3	4	5	6	7
B 育児（子どもの世話，用事）	1	2	3	4	5	6	7
C 子どものしつけ，教育方針	1	2	3	4	5	6	7
D 介護	1	2	3	4	5	6	7
E 集落や公民館などの地域活動への参加	1	2	3	4	5	6	7
F 高額な商品や土地・家屋の購入の最終決定	1	2	3	4	5	6	7

問3 あなたは、離婚についてどうお考えですか。あなたのお考えにもっとも近い番号を1つお選びください。

1 いったん結婚したら、いかなる理由があっても離婚すべきではない
2 子どもがいれば離婚すべきではないが、いなければ事情によってはやむをえない
3 子どもの有無にかかわらず、事情によっては離婚もやむをえない
4 互いに愛情がなくなれば、離婚すべきである
5 わからない



問4 今後、男性も女性も、家事・子育て・介護・地域活動・仕事などに、自分の意思で積極的に関わり、いきいきと暮らすことができるようになるためには、どのようなことが必要だと思われますか。特に必要と思われる事項の番号を3つ以内でお選びください。

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 仕事に生活を合わせるという、仕事中心の社会全体の仕組みを改めること
- 3 男性が家事に参画するライフスタイルについて抵抗感をなくすこと
- 4 男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること
- 5 家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分に話し合うこと
- 6 家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること
- 7 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 8 女性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 9 学校・職場・社会などさまざまな場で男女平等や相互理解についての学習機会を増やすこと
- 10 労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させること
- 11 自宅でも仕事ができるように在宅勤務などを普及させること
- 12 育児や介護支援の充実など、育児や介護を社会で支える制度を充実させること
- 13 わからない

問5 育児に対する社会の支援などについて、あなたのご意見をお伺いします。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 基本的に家族が行うもので、社会の支援は必要ない
- 2 基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある
- 3 家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある
- 4 家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである
- 5 わからない

問6 子育てをする上での不安や悩みはどこにあると思われますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。(現在子育て中の方は、実際のお気持ちをお答えください。)

- 1 子どもとの時間を十分にとれない
- 2 子どもとの接し方に自信がなくなることがある
- 3 子育てについて、配偶者・パートナーと意見が合わない
- 4 子どもの受験や将来のことなどについて、配偶者・パートナーと意見が合わない
- 5 配偶者・パートナーなど周りの協力が得られない
- 6 自分の子育てについて、祖父母・親族や近隣の人、職場などまわりの見目が気になる
- 7 子育てについて相談できる人や場所がない
- 8 急な用事で子どもを預けられる場所がない
- 9 子どもの病気など何か問題がおこったとき、自分のせいにされる
- 10 急な子どもの病気などのときの対応に困る
- 11 特に悩みや不安はない
- 12 その他( )

問7 介護に対する社会の支援などについて、あなたのご意見をお伺いします。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 基本的に家族が行うもので、社会の支援は必要ない
- 2 基本的には家族が行うものだが、社会が支援する必要がある
- 3 家族だけでは負担が大きいため、社会が積極的に支援する必要がある
- 4 家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである
- 5 わからない

## 働くことについて

---

問8 あなたはふだん(1年間に30日以上)何か収入になる仕事をしていますか。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 収入になる仕事をしている(出産休暇、育児または介護休業中の方を含む) 問9へ
- 2 無給であるが、仕事をしている(家業を手伝っているなど) 問9へ
- 3 収入になる仕事をしていない 問13へ

問9 [問8で1, 2を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問13へお進みください。]  
あなたが仕事を持っているのは、どのような理由からですか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 生計を維持するため
- 2 家計の足しにするため
- 3 住宅ローンなどの借金返済のため
- 4 教育資金を得るため
- 5 将来に備えて貯蓄するため
- 6 自分で自由に使えるお金を得るため
- 7 生きがいを得るため
- 8 自分の能力、資格や技術を活かしたいから
- 9 視野を広げたり、友人を得るため
- 10 社会に貢献するため
- 11 仕事をするのが好きだから
- 12 働くのが当然だから
- 13 時間的に余裕があるから
- 14 家業であるから
- 15 仕事をしていないと世間体が悪いから
- 16 その他( )
- 17 特に理由はない
- 18 わからない

問10 〔問8で1, 2を選んだ方におたずねします。〕あなたが働いている場では, 仕事の内容などについて, 次にあげるような性別による処遇の差がありますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 性別によって賃金に差がある
- 2 性別によって昇進, 昇格に差がある
- 3 性別によって能力の評価に差がある
- 4 性別によって幹部職員への登用に差がある
- 5 女性を一人前の社員, 従業員, 職員として見ていない
- 6 男性を一人前の社員, 従業員, 職員として見ていない
- 7 女性には補助的な仕事しかやさせない
- 8 男性には補助的な仕事しかやさせない
- 9 女性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある
- 10 男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある
- 11 女性は結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある
- 12 男性は結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある
- 13 女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 14 男性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 15 同じ職場で夫と妻が共に働いている場合, 妻(または夫)のほうが働き続けにくい雰囲気がある
- 16 女性は教育・訓練を受ける機会が少ない
- 17 男性は教育・訓練を受ける機会が少ない
- 18 女性は経営方針に対して意見を言いにくい雰囲気がある
- 19 男性は経営方針に対して意見を言いにくい雰囲気がある
- 20 その他( )
- 21 性別による処遇の差はない

問11 〔問8で1, 2を選んだ方におたずねします。〕あなたが働いている場では, 働く時間, 給料, 休業日や休暇, 仕事の分担などについての取り決め(会社の就業規則, 農業の家族経営協定などに類するもの)がありますか。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 文章化された取り決めがある 問12へ
- 2 文章化されていないが, 合意している取り決めがある(口約束, 暗黙の了解も含む) 問12へ
- 3 取り決めはない 問15へ
- 4 取り決めがあるかどうかわからない 問15へ

問12 〔問11で1, 2を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問15へお進みください。〕その取り決めは守られていますか。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 守られている
- 2 どちらかというと守られている
- 3 どちらかというと守られていない
- 4 守られていない

問13 〔問8で3を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問15へお進みください。〕  
あなたが、現在、仕事をしていないのはどのような理由からですか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 経済的に働く必要がないから
- 2 職業を持たない方が自分のやりたいことができるから
- 3 家庭で家事・育児に専念するのが当然だから
- 4 家事の負担が大きいから
- 5 育児の負担が大きいから
- 6 健康や体力に自信がないから
- 7 希望通りの仕事を得られないから
- 8 仕事の募集そのものがないから
- 9 配偶者や子どもなど家族が望まないから
- 10 親や病気の家族の世話をするため
- 11 現在、学校に通っているから
- 12 高齢だから
- 13 働くことに向いていないから
- 14 働くことが好きでないから
- 15 やりがいのある仕事がないから
- 16 配偶者が数年おきに転勤するから
- 17 その他（）
- 18 特に理由はない
- 19 わからない

問14 〔問8で3を選んだ方におたずねします。〕あなたは収入になる仕事をしたいと思われ  
ますか。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 すぐにでも仕事をしたい
- 2 将来的には仕事をしたい
- 3 仕事をしたいとは思わない
- 4 わからない

#### 地域参画・地域づくりについて

\*すべての方におたずねします。

問15 あなたは、日ごろ、何か地域のために役立ちたいと思われ  
ますか。あてはまる番号を1つお  
選びください。

- 1 非常にそう思っている
- 2 かなりそう思っている
- 3 少しそう思っている
- 4 あまりそうは思わない
- 5 全くそうは思わない

問16 あなたが住んでいる地域で、取組みが必要なことはどのようなことでしょうか。特に必要だと思われる事項の番号を3つ以内でお選びください。

- 1 地震、台風、火災などへのしっかりとした防災・災害復興対策
- 2 集会施設の整備
- 3 空き店舗・空き家などの活用
- 4 安全な道路の整備
- 5 利用しやすい公園の整備
- 6 車椅子やベビーカーで外出しやすいまちづくり
- 7 ごみの分別・リサイクルの推進
- 8 祭りやイベントの充実
- 9 スポーツ・文化活動の充実
- 10 文化や史跡の保護・継承
- 11 生涯学習など学習機会の充実
- 12 地域の高齢者への支援や見守り
- 13 地域の子どもたちへの支援や見守り
- 14 地域内の外国人への支援
- 15 介護をしている人への支援
- 16 子育てをしている人への支援
- 17 地域に役立ちたい人が自由に活動しやすい地域づくり
- 18 誰もが参加しやすい地域活動の検討
- 19 わからない

問17 あなたが住んでいる地域では、次のような雰囲気や慣習がありますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 地域活動をするときに、子どもがいない世帯や、中高年の一人住まいの世帯、若い独身者を活動の一員として初めから期待していないような雰囲気がある
- 2 地元（市内）出身でない人を何年経っても「よその人」として区別する雰囲気がある
- 3 女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい（従うものだ）という雰囲気がある
- 4 団体の長や代表などには男性になるほうがよい（なるものだ）という雰囲気がある
- 5 会議等で女性が自分の意見を発言することに対して批判的な雰囲気がある
- 6 女性は様々な役割や仕事の経験を積む機会から遠ざけられている雰囲気がある
- 7 様々な役割分担の責任者には男性が就き、女性は補佐役に就くことが多い
- 8 集落・公民館・PTAなどの役員名簿には夫の名前を載せるが、実際には妻が役割を果たしていることが多い
- 9 会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある
- 10 地域のために慣習を見直すなど、変革を求める人を煙たがる雰囲気がある
- 11 地域の清掃作業などで、世帯の男性ではなく女性が参加すると負担金を払う慣習がある
- 12 地域での生活に関わる事柄について、互いに助け合うために、自分ができることで貢献しようとする意識があまりない
- 13 特にこのようなことはない

人権について

\*すべての方におたずねします。

問18 あなたは次のような場で男女は平等になっていると思われませんか。次のA~Cのそれぞれについて、右欄の1~5のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。

	非常に平等に なっている	かなり平等に なっている	少し平等にな っている	あまり平等に なっていない	全く平等にな っていない
A 家庭生活	1	2	3	4	5
B 働く場	1	2	3	4	5
C 集落、公民館などの地域社会	1	2	3	4	5

問19 あなたは、次のようなことについてどう思われますか。次のA~Lのそれぞれについて、右欄の1~5のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。

	そう思う	どちらか と思えば そう	どちらとも いえない	どちらか と思えば そう	い そう 思わな
A 「男性は仕事、女性は家事・育児」と役割を分担するほうがよい	1	2	3	4	5
B 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい	1	2	3	4	5
C 妻や子どもを養うのは、男性の責任である	1	2	3	4	5
D 女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである	1	2	3	4	5
E 女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである	1	2	3	4	5
F 結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う	1	2	3	4	5
G 冠婚葬祭の「のし袋」などに、夫だけではなく妻の氏名も連名で書くほうがよい	1	2	3	4	5
H 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う	1	2	3	4	5
I 男性の方が女性より、管理職としての素質がある	1	2	3	4	5
J 職場で来客にお茶を出すのは女性がしたほうがよい	1	2	3	4	5
K 育児休業は、男性より女性がとったほうがよい	1	2	3	4	5
L 介護休業は、男性より女性がとったほうがよい	1	2	3	4	5

問20 あなたは、次にあげるようなことが、学校教育での男女平等意識の醸成を妨げることになると思いますか。次にあげるA～Eについて、右欄の1～5のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。

	思う 非常にそう	思う かなりそう	う 少しそう思	は あまりそう は思わない	全くそうは 思わない
A 性別により進路指導をすること〔例：男子は理系，女子は文系，就職指導で女子の職種を限定するなど〕	1	2	3	4	5
B 名簿，整列，点呼など男女別になっていること（例：男子が先，女子が後）	1	2	3	4	5
C ランドセルや学習用具など，男女の色分けがされていること	1	2	3	4	5
D 生徒会や学級委員等の選出を性別により固定化していること（例：委員長は男子，副委員長は女子）	1	2	3	4	5
E 「男らしく」「女らしく」ふるまうように言うこと	1	2	3	4	5

問21 近年，セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）が問題となっています。職場や学校，地域で次のようなことをされた経験はありますか。またそうしたことを見聞きしたことがありますか。次にあげるA～Iのそれぞれについて，右欄の1～3のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。

	経験がある	経験はないが，見聞きしたことがある	経験も，見聞きしたこともない
A 容姿・年齢・結婚などについて，あれこれと話題にされた	1	2	3
B からだをじろじろ見られた	1	2	3
C 宴会などでお酌・デュエット・ダンスなどを強要された	1	2	3
D 性的な冗談やひわいなことを話題にされた	1	2	3
E 異性にわざと体をさわられた	1	2	3
F しつこく交際を求められた	1	2	3
G 職場でヌードポスターなどを貼られた	1	2	3
H 地位を利用して性的な関係を迫られた	1	2	3
I 性的なうわさを流された	1	2	3

問2 2 あなたは次のようなことが親しい男女(夫・妻, 事実婚のパートナー, 恋人, 元配偶者, 元パートナー, 元恋人)の間で行われた場合, それを暴力だと思われませんか。A ~ Mのそれぞれについて, 右欄の1 ~ 3のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。

	どんな場合も暴力にあたると思う	暴力にあたる場合と, そうでない場合があると思う	暴力にあたるとは思わない
A 平手で打つ	1	2	3
B 足でける	1	2	3
C 身体を傷つける可能性のあるものでなく	1	2	3
D なくるふりをして, おどす	1	2	3
E 刃物などを突きつけて, おどす	1	2	3
F 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
G 見たくないのに, ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
H 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3
I 交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3
J 「誰のおかげで生活できるんだ」とか, 「かいしょうなし」とか言う	1	2	3
K 大声でどなる	1	2	3
L 常に命令口調で話す	1	2	3
M 家に生活費を入れない	1	2	3

問2 3 あなたはこれまでに, あなたの配偶者・パートナー・恋人(元配偶者・元パートナー・元恋人も含む)から次のようなことをされたことがありますか。次のA ~ Cのそれぞれについて, 右欄の1 ~ 3のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。

	1 2度あつた	何度もあつた	まったくない
A なくったり, けったり, 物を投げつけたり, 突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
B 人格を否定するような暴言, 交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた, あるいは, あなたもしくはあなたの家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
C 嫌がっているのに性的な行為を強要された	1	2	3



問2 4 〔問2 3でひとつでも，1，2を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問2 6へお進みください。〕**あなたはそのことを，だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。あてはまる番号をいくつかもお選びください。**

- |   |       |
|---|-------|
| 1 配偶者暴力相談支援センター（県婦人相談所，その他の施設）に相談した                     |       |
| 2 警察に連絡・相談した  |       |
| 3 法務局・地方法務局，人権擁護委員に相談した                                 |       |
| 4 県男女共同参画センターに相談した                                      |       |
| 5 指宿市の婦人相談員などに相談した                                      |       |
| 6 他の市町村の相談窓口（女性相談など）に相談した                               |       |
| 7 1～6以外の公的な機関に相談した                                      |       |
| 8 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会，カウンセラー・カウンセリング機関，民間シェルターなど）に相談した |       |
| 9 医療関係者（医師，看護師，助産師など）に相談した                              |       |
| 10 学校関係者（教員，養護教員，スクールカウンセラーなど）に相談した                     |       |
| 11 家族や親戚に相談した   |       |
| 12 友人，知人に相談した   |       |
| 13 その他（   | ）     |
| 14 どこにも，だれにも相談しなかった（できなかった）                             | 問2 5へ |

問2 5 〔問2 4で1 4を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問2 6へお進みください。〕**どこにも，誰にも相談しなかった（できなかった）のはなぜですか。あてはまる番号をいくつかもお選びください。**

- |  |   |
|--|---|
| 1 どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから                             |   |
| 2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから                                   |   |
| 3 相談してもむだだと思ったから                                       |   |
| 4 相談したことがわかると，仕返しを受けたり，もっとひどい暴力を受けると思ったから              |   |
| 5 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから                                 |   |
| 6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから                         |   |
| 7 自分さえがまんすれば，なんとかこのままやっていけると思ったから                      |   |
| 8 世間体が悪いから   |   |
| 9 他人を巻き込みたくなかったから                                      |   |
| 10 他人に知られると，これまでどおりのつきあい（仕事や学校，地域などの人間関係）ができなくなると思ったから |   |
| 11 そのことについて思い出したくなかったから                                |   |
| 12 自分にも悪いところがあると思ったから                                  |   |
| 13 相手の行為は愛情の表現だと思ったから                                  |   |
| 14 相談するほどのことではないと思ったから                                 |   |
| 15 その他（  | ） |

最後に、あなたご自身のことについておうかがいします。【すべての方におたずねします。】

それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選び、      で囲んでください。

問26 (F1) あなたの性別を教えてください。

女性	男性
----	----

問27 (F2) あなたの年齢を教えてください。

1 20～29歳	2 30～39歳	3 40～49歳	4 50～59歳
5 60～69歳	6 70～79歳	7 80歳以上	

問28 (F3) あなたの職業などを教えてください。

1 常勤の勤め（正社員，正職員，会社役員，従業員など）	問29へ
2 非常勤の勤め（臨時職員，パート，アルバイト，嘱託など）	問30へ
3 農業・林業・漁業等の自営業（経営者，家業の手伝い，内職など）	問29へ
4 商業，工業，建設業，サービス業，その他自由業等の自営業（経営者，家業の手伝い，内職など）	問29へ
5 その他の職業	問29へ
6 主婦・主夫（家事専業）	問30へ
7 学生	問30へ
8 無職	問30へ

問29 (F4) [問28で1，3，4，5を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問30へお進みください。] あなたの職業上の区分を教えてください。

1 管理職（企業，工場，各種法人，組合等の経営者・役員・課長以上の管理職など）
2 雇用者（管理職以外の正社員・正職員・従業員など）
3 自営業主（事業の経営主）
4 家族従業者（家業の手伝いなど）
5 その他

問30 (F5) あなたは現在結婚していますか。

1 結婚している（届出は出していないが一緒に暮らしている事実婚も含む）	問31へ
2 結婚していたが，離別した	問32へ
3 結婚していたが，死別した	問32へ
4 結婚していない	問32へ

問3 1 (F6) 〔問3 0で1と回答した方におたずねします。それ以外の方は問3 2へお進みください。〕**ご夫妻のお仕事の状況について教えてください。**

- 1 どちらも仕事をしている(パートタイム, 内職を含む)
- 2 自分のみ仕事をしている
- 3 配偶者(事実婚の方を含む)のみ仕事をしている
- 4 どちらも仕事をしていない

問3 2 (F7) **あなたの世帯の構成は次のどれにあてはまりますか。**

- 1 一人暮らしの世帯
- 2 夫と妻のみの世帯
- 3 親と子などの世帯
- 4 親と子と孫などの世帯
- 5 その他

問3 3 (F8) **あなたには子どもさんがいらっしゃいますか。**

- 1 いない 問3 6へ
- 2 いる 問3 4へ

問3 4 (F9) 〔問3 3で2と回答した方におたずねします。それ以外の方は問3 6へお進みください。〕**あなたのお子さんは何人ですか。**

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人以上

問3 5 (F10) 〔問3 3で2と回答した方におたずねします。〕**あなたの一番下のお子さん(一人の場合は当人)は次のどれにあてはまりますか。**

- 1 乳児(1歳未満)
- 2 幼児(1歳以上)
- 3 小学生
- 4 中学生
- 5 高校, 専門学校, 高専, 短大, 大学, 大学院生
- 6 学校は卒業した(中退も含む)

問3 6 (F11) **あなたは, 現在, 何か地域活動等に参加していますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。**

- 1 公民館, 自治会, 女性団体, 老人会などの地域団体活動
- 2 青少年グループ, 子ども会, PTAなどの活動
- 3 社会福祉にかかわる活動
- 4 地域づくり, まちづくりなどの活動
- 5 スポーツ振興や文化振興に関する活動(体育指導員や文化協会委員など)
- 6 消費者運動, 環境保護運動などの住民運動
- 7 民生委員などの公的な委員活動
- 8 趣味のサークル活動
- 9 その他( )
- 10 特に何もしていない

問3 7 (F12) **あなたは, どちらの地域にお住まいですか。**

- 1 指宿地域
- 2 山川地域
- 3 開聞地域

